

—加東四国霊場の里— —議会改革の一年—

◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

—加東四国八十八ヶ所霊場祈りの里—

◆議員活動ブログ「百聞百見」より

—議会改革と副議長一年の歩み—



日本一弘法大師木像（大師殿：持寶院内）

県政資料

ふるさと加東の歴史再発見シリーズ IV

—加東四国霊場の里— —議会改革の一年—

◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

—加東四国八十八ヶ所霊場祈りの里—

◆議員活動ブログ「百聞百見」より

—議会改革と副議長一年の歩み—



日本一弘法大師木像（大師殿：持寶院内）

兵庫県議会議員 藤 本 百 男

目次

I 郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より 加東四国八十八ヶ所霊場祈りの里	1
---	---

II 議員活動ブログ「百聞百見」より 議会改革と副議長一年の歩み	95
---	----

まえがき

この「県政資料」は、私の議員活動ブログ「百聞百見」、郷土の歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」に投稿してきた記事の中から、テーマに沿って、選び、まとめたものです。

第Ⅳ集は、「加東四国八十八ヶ所霊場祈りの里」をテーマに、ふるさと加東の霊場巡りと先人の祈りの継承について考えてみました。

ふるさと加東には多くの神社や寺院があり、人々の信仰を集め、祭りが営まれ、貴重な文化・伝統が継承されてきました。

そこには、人生や家族の幸せを願う人々の思いや感謝の気持ちが込められています。私たちはそうしたふるさと加東の風土、文化歴史環境の中で、人間としての生き方を身に付け、暮らしを営んでいます。

わが国は、人口減少・超少子高齢社会に入っていますが、そんな時代・社会だからこそ、今を生きる私達にとって、ふるさと加東の歴史、伝統、文化と先人の足跡を知るとともに、未来にどう伝えていくかが大きな課題であるといえます。

地域創生の取り組みが本格化する平成29年度。わが加東の宝を見直す資料の一つとして活用していただければ幸いです。

また、第124代副議長として東奔西走したこの一年間の活動記録から主なものを議員活動ブログ「百聞百見」から抜粋しました。特に「選挙期日と議員任期のずれ解消」、「県議会障害者アート展の開催」、「若者との意見交換や県議会サテライトゼミ」、「常任委員会の地域開催」などの議会改革の取り組みについてもその歩みを紹介しています。

平成30年7月12日に兵庫県は県設置150年を迎えます。先人の歩みに思いをいたしながら、新たな兵庫県の歩みを力強く踏み出す節目としていかなければなりません。この県政資料がそのお役に立てば幸いです。

平成29年7月吉日

兵庫県議会議員

藤 本 百 男

郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

加東四国八十八ヶ所霊場祈りの里

(八十八ヶ所霊場のうち、加東市内の霊場を掲載)

1. 根本道場 大師殿の寺—慈眼寺持寶院

2006年07月11日



加東市社の関西電力社営業所から50メートルほど北に歩くと、八坂神社があります。隣接してあるのが持寶院です。山門の手前に「第八十八番霊場涌羅野山慈眼寺持寶院」と刻まれた石柱が立っています。

これは、持寶院が「加東四国八十八カ所」霊場巡りの仕上げの寺であることを示しています。

「加東四国八十八カ所霊場」とは、四国八十八か所霊場を加東郡内（旧の加東郡で現在の加東市と小野市域）に写したもので、大正7年につくられました。江戸時代にもあったようですが、明治維新の頃に消滅し、新たにつくられたものです。

第一番は光明寺（滝野・五峰山）で、加東郡内の真言宗の寺院を中心に121か所（番外を含めて）が結ばれ、その全行程は140キロメートルにもおよびました。写真は持寶院の大師殿です（平成18年）。

涌羅野山慈眼寺の名前の由来

昔、今の社の市街地の商店街の西側は赤岸の御霊山から松尾あたりまで一帯の松林で、涌羅野（ゆらの）山とよばれていました。

慈眼寺（じげんじ）は、この辺り一帯の院や坊の総称だったようですが、今は持寶院、善龍院の二院になっています（明治維新の頃、持寶院の西隣にあった一乗院が廃寺となり持寶院に合併された）。

持寶院大師殿—日本一の木像大師

2006年07月12日



持寶院の西側に寺の駐車場があり、その正面に大師殿が建っています。堂内には大きな弘法大師さんの木像がありますが、加東四国八十八カ所霊場巡礼の仕上げがこの大師殿ということになっています。

大師殿は、大正14年（1925）に建てられました。設計は武田五一京都大学名誉教授によるものです。大師殿は現在文化庁の登録有形文化財に指定されています。

大師殿ができる前は、廃寺になった一乗院の跡に、一時期、飾

磨県の出張所や税務署、加東郡役所などの役所が置かれていました。駐車場の入口の石柱は役所時代の門柱の名残ではないでしょうか。

大師殿に入ると、正面の大きな弘法大師像に圧倒されます。その高さは一丈六尺（約4・8メートル）とされ、木像の大師像では日本一といわれています。

仏様の身長が一丈六尺と伝えられていることから、この大師像の高さもこれにちなんで、一丈六尺にしたものではないでしょうか。

この木像の大師像が日本一であるという証明はできませんが、愛知県武豊町の岡川寺の木像大師像も日本一といわれています。ちなみにその高さは3・6メートルとなっているので、持寶院の大師像はやはり日本一といえるかもしれません。

大師殿の由来

2010年04月07日



4日（日）は、絶好の花見日和になり、市内各地で花見を楽しむ光景がみられました。まさに春爛漫の日曜日となり、加東市社の持寶院大師堂の前の庭でも桜の花の下で地元社一区の皆さんが集ってお弁当

を開いて春の一日を楽しみました。

さて、会話が弾むなかで、大師堂や加東四国霊場について知りたいということになり、日本一木像大師像や霊場について話をさせてもらいました。

持寶院に伝わる大師像のエピソードを紹介しましょう。

この大師像は名古屋の仏師が作ったもので、仏師はこの大師像をどこかの寺に納めたいと願っていました。その話を大阪に出て商売をしていた社の人が知り、持寶院に持ち込んだのです。先々代の住職はこれに応じ、木像を持寶院に安置することになったということです。

寺では木像を安置するための大師堂を建てる計画を進めました。木像は7つか8つの部分に分けられ、はるばると鉄道で運ばれてきました。そして、播鉄の社駅から持寶院までは、丸太を並べたコロの上を滑らせ、稚児行列を仕立てて引いてきたそうです。

大師堂ができるまでは、庫裏の奥座敷に仮安置されました。しかし、何せ巨大な木像だったので、床をはずして地面に安置しようやく入るという状況だったようです。

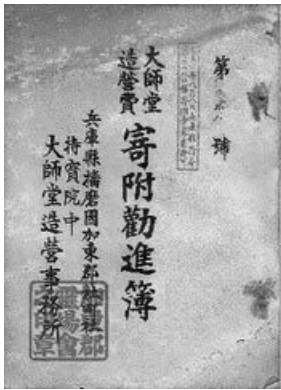
大師堂の建築は、実際に木像を見てから始められました。用材が集められ、境内に置かれていました。

その頃、持寶院の前に、社自動車運輸株式会社の車庫があったのですが、これが火事になり、自動車の燃料なども置いてあったために人々はその火が用材に燃えうつたらたいへんたいそう心配しました。しかし、大火にもかかわらず、とうとう火は燃えうつりませんでした。

用材置場の四隅の御幣が燃えなかったために、これはやはりお大師さんの力だと信じられました。それ以降、このお大師さんは「鎮火のお大師さん」として知られるようになったということです。

持寶院大師堂の造営

2007年05月04日



▲昭和10年代の大師堂と持寶院境内

「大師堂造営費寄付勸進簿」

大師堂は大正14年（1925）に造営されました。ここにその造営費寄付勸進簿があります（写真）。

表紙に「第参式八号」と番号が打たれていることから、たくさん印刷されたうちの一冊なのでしょう。また、朱文字で「大正十年八月八日兵庫県指令第三〇八〇号寄付金募集許可」と印刷されています。左下に勸進元である加東郡霊場会の印と持寶院に置かれた大師堂造営事務所の名があります。

中には、大師堂の設計図と解説、大師堂造営浄財勸進疏（趣意書）が印刷されています。今日はその趣意書を紹介しましょう。

大師堂造営浄財勸進疏

嗚呼大師、あゝ大師、あゝ弘法大師、大師の前に大師なく、大師の後に大師なし、大師は実に釈尊以来の大導師なる哉、其御慈悲は廣大にして、其功績は比類なし、仮令百非を馳せて之を毀り

得ず、千是を飛ばして之を誉むるも、誉め尽す可からず、今や御入定後一千百年に垂んたるも、其余光は昭昭たり其遺澤は泱泱として、時と所とに应じて愈増す旺んなり、是を以て帰敬渴仰するもの、年々歳々其類を増し、貴賤老幼の別なく其慈悲に縋らざるものなし、本郡の信者向きに八十八箇の霊場を設けしより、賽客年を逐つて盛んに、優に他の霊場巡拝を凌がんとす、然り而して大阪市の篤信家藤井栄吉氏は此偉業を協賛して、茲に五の紀念即ち一には聖徳皇太子一千三百年御遠忌紀念、二には弘法大師御降誕一千百五十年紀念、三には 明治天皇御十年祭紀念、四には皇太子殿下本年御外遊紀念、五には加東郡霊場開創五周年を紀念し奉る為め、本年より明年に涉りて、全国唯一の弘法大師尊像彫刻の大願を起され、尊像を本霊場会へ寄進せらるゝに当り、一大堂宇を社町に建立し以て本霊場会の根本道場として之を奉安せむと欲す、然るに事は大にして我等の力は劣れり、十方深信の助力に依らずんば焉んぞ此浄業を遂ぐるを得んや、伏して乞う世の志あり信ある善男善女、多生を論せず、共に応分の浄財を投じて此の大願を賛襄し玉え、其善根や己に報い現当二世共に大師の加持力を蒙りて、常住無上の快樂を享けんこと一毫疑を容れざるなり、謹んで廣大無辺不可思議の功德を勧め奉ると云うこと爾り

大正十年十月

加東郡霊場会

加東郡社町社持寶院中

大師堂造営事務所

持寶院本堂—第八十八番霊場



持寶院の大師殿と位牌堂の間に本堂があります。ご本尊は阿弥陀如来。建物は大師殿よりも小さいのですが、本堂で、八十八番霊場となっています。

御詠歌は「涌羅山や由来久しき今に猶 持つや無価の法のみ宝」(ゆらさんやゆらいひさしきいまになお もつやむげののりのみたから)です。住職の話では、この場所は元一乗院の敷地だったところで、百年ほどまえにこの場所に移築されたということです。

大師殿の御詠歌は「諸人よ大師は此処におわすれば 千代に八千代にねがいかなえん」(もろびとよだいしはここにおわすれば ちよにやちよにねがいかなえん)です。

2. 加東四国八十八ヶ所霊場巡りの納め札 —昭和10年代



2017年02月21日

写真の2枚の札は、加東四国八十八ヶ所の納め札です。

加東四国霊場とは、四国八十八ヶ所霊場を加東郡内(旧加東郡、現在の加東市と小野市域)に写したもので、大正7年(1918)につくられました。もとは、江戸

時代に行われていたようですが、明治維新の頃に消滅し、新たに
つくられたものです。

第一番は光明寺（加東市・五峰山）で、加東郡内の真言宗の
寺院を中心に121か所（番外を含めて）が結ばれ、仕上げは
八十八番持寶院の大師堂（加東市社）となっており、全行程は
140キロメートルにもおよんでいます。

納め札は、昭和十年、昭和十三年のもので、それぞれ、揖保郡
網干町、川辺郡六瀬村槻並の人の名が印刷、書かれています。今
の姫路市や猪名川町の人が霊場巡りのために用意したものだった
のでしょう。大きさはタテ15、16cm、ヨコ5cmです。

3. 加東四国八十八ヶ所霊場巡拝帳

2015年10月23日



写真は（一般社団法人）加東市観光協会が今年（平成27年）
発行した「平成の加東四国八十八箇所巡拝帳」です。

和讃、御詠歌が印刷されています。2000円で発売され、す
でにこの巡拝帳を持って八十八箇所を全部回った人もおられると
聞きました。巡拝帳は加東市河高の県道沿いの河高交流プラザの

観光協会で購入できます。

4. 加東四国八十八ヶ所霊場巡拝図

2017年04月23日

左の写真は、加東四国八十八ヶ所霊場の巡拝図です。

加東四国霊場とは、四国八十八か所霊場を加東郡内（旧加東郡、現在の加東市と小野市域）に写した

もので、大正7年（1918）につくられました。もとは、江戸時代に行われていたようですが、明治維新の頃に消滅し、新たに作られたものです。

第一番は光明寺（加東市・五峰山）で、加東郡内の真言宗の寺院を中心に121か所（番外を含めて）が結ばれ、仕上りは八十八番持寶院の大師堂（加東市社）となっており、全行程は140キロメートルにもおよんでいます。

その巡拝図の複写です。著者は加東郡福田村上田 横山隆暢（加東郡福田村第八十九番屋敷）、発行所は正覚会、大正九年改正とあります。実価金参銭。図には一番光明寺から八十八番大師殿までのおおよその地図と地名が記されています。大正時代には、こうした巡拝図を持って多くの人が霊場巡りをしたのでしょう。



5. 播磨高野の五峰山光明寺本堂で花まつり法要 加東四国霊場第一番

2014年05月05日



5月3日（土）、新緑がまぶしい五峰山光明寺で花まつり法要が営まれ、多くの人が訪れました。五峰山には4ヶ寺の塔頭寺院

があり、それぞれの寺院で甘茶の接待や寺宝の公開などが行われ、訪れた人々はお釈迦様に甘茶をかけて祈りました。



昨年からはじめの法要を山頂の光明寺本堂でも行うようになり、この一年間に亡くなられた方の家族や縁者が出席しました。檀家総代の方が今日の花まつりの意義や歴史を簡単に説明されましたが、元は「花まつり」は4月8日に行われていました。しかし、太陽暦の普及する中、昭和17年から5月8日開催に変更され、さらに社会状況の変化に対応して5月3日に行われるようになった、ということです。

〔駐車場から本堂まで〕

中腹の駐車場から急坂を歩いて登り、最初の寺院が多聞院。毘沙門堂にお参りし、お釈迦様に甘茶をかけ、そのあと甘茶をいただきました。足の疲れと喉の渇きを甘茶が癒してくれます。

さらに坂を登って、遍照院へ。ここでは、国の重要文化財に指定されている「銅造如来坐像」が公開され、その姿を間近に拝することができました。この仏像は昭和55年（1980）に遍照院の蔵で発見され、翌年、国の重要文化財に指定されたものです。高さ24.2センチメートル、重さは6 kilogramsの銅造りで、平安時代中期の作とされています。

次は大慈院。大慈院では、日本に一つしかない善導大師の自画像があります。善導大師は7世紀の唐の高僧で、生涯に3幅の自画像を描き、その一幅が当時唐に留学していた僧によって日本に伝えられ、光明寺に納められたと伝えられています。あとの2幅は、インドと唐の長安の光明寺に納められたそうです。

一番上は華蔵院。境内の苔、白壁の塀、緑の若葉が美しい寺院です。華蔵院を過ぎると、山門が目の前に現れます。光明寺の境内には神社や常行堂があり、さらに階段を上ると本堂に着きます。

数年前から花はじめの法要を山頂のこの本堂で行うようになり、この一年間に亡くなられた方の家族や縁者が出席しました。

いつもは、山上は静寂と緑に包まれ、読経の声と虚無僧の吹く尺八の音が響き、心が安まるのですが、今日は黒い雲が流れ、激しい風の音が轟いていました。本堂のさらに裏には光明寺合戦の本陣跡になっており、南北朝時代の戦乱の舞台があります。

御詠歌は「十方の国土も照破光明寺 一目千里見晴らしのよさ」（じっぽうのこくどもしょうは こうみょうじ ひとめせんり みはらしのよさ）です。

6. 加東四国八十八ヶ所霊場第二番 —上滝野の薬師庵と道標

2017年05月03日



加東市上滝野の旧道、姫滝公園の向かい側にお堂の屋根が見えます。ここが加東四国八十八ヶ所霊場の第二番、上滝野の薬師庵だと聞いてきました。塀の外からでしたが、お堂を見ることがで

きました。

旧道から庵への曲がり角に道標が立っていました。この歴史ブログでも紹介したことがある小さな「ど根性道標」です。指を差した手と「加東四国」の文字と「二番」の文字が刻まれているのが読めますが、下部はアスファルトに埋まっています。

第一番の光明寺から二番の薬師庵への巡拝路を示す道標です。

御詠歌は「かねてより願いしあれば薬師庵 庭草をだに踏むもたのしき」（かねてよりねがいしあればやくしあん にわくさをだにふむもたのしき）です。

7. 下滝野の阿弥陀堂春のご開帳 —加東四国第三番霊場

2015年02月16日



久しぶりに日射しが戻った2月15日の午後、加東市下滝野の神結酒造の「蔵出まつり」をのぞいてみようとして公民館に車を置いて旧道を歩いていると、阿弥陀堂へお参りしている人が見えました。「そうだ、今日は春

のご開帳の日か」と思い出し、堂に上がらせていただきました。

お堂には地区の役員さんやお年寄りが居られました。今日は「春の涅槃図のご開帳の日」で、堂内には大きな涅槃の図の掛け軸が披露されていました。中央に横たわったお釈迦様、それを悲しみの表情で見る弟子や人々、動物などが細かく描かれています。年代は分からないそうですが、古いもののようです（写真）。

お堂は、享保年間（18世紀前半）の將軍吉宗の頃に建てられたものだそうです。堂内には、正面に阿弥陀如来仏、脇に、役行者、不動明王、弘法大師像が安置されていました。



阿弥陀堂は加東四国八十八ヶ所霊場の第三番霊場でもあります。一番は光明寺、二番は上滝野の薬師庵で、三番が阿弥陀堂、次の四番は北野の東光寺になっています。

阿弥陀堂で地域の伝統文化を守り続ける地域の方々の厚い信仰心と温かな人情を感じました。

御詠歌は「鬨龍の瀧の流れの音冴えて 摂取弘度の声かとも聞く」（とうりゅうの たきのながれのおとさえて せっしゅこうどのこえかともきく）です。

8. 加東四国霊場第四番—北野の東光寺

2017年06月05日



加東四国八十八ヶ所霊場の第四番は北野の東光寺です。一番の光明寺から上滝野の薬師庵、そして、下滝野の阿弥陀堂を巡って、この東光寺。次は新町の遍照寺へと巡拝します。

東光寺の向かいには旧175号（現県道）をはさんで北野天満宮があります。元は一つの境内だったそうですが、境内の真ん中

に道路がついて今の配置になったということです。

東光寺には、阿弥陀如来坐像と薬師如来坐像があり、加東市の指定文化財になっています。すぐ前の県道はひっきりなしに車が走りますが、境内は静かで心がやすらぎます。天神祭では境内の東光寺会館で男の子が相撲のまわしを着けて天満宮境内で相撲をとり、一方東光寺の境内では女の子が腕相撲などをして賑やかでした。

御詠歌は「打連れて詣りてきたのの東光寺 輝く法の影なつかしみ」（うちつれてまいりてきたののとうこうじ かがやくのりのかげなつかしみ）です。

9. 加東四国五番霊場—新町の遍照院

2017年05月07日



加東市新町の旧道沿いには古い街並みが続いています。そのほぼ中心に旧加茂村の役場の建物があります。その横の道を入っていくと、遍照院があり、阿弥陀堂、地藏堂が建っています。

阿弥陀堂には「遍照寺」の額と「加東郡霊場第五番 御本尊阿弥陀如来」と書かれた板が掲げられていました。この阿弥陀堂が加東四国八十八ヶ所第五番霊場の遍照寺です。

遍照寺のある新町は、江戸時代のはじめ、約400年余前に加古川舟運の川港の町としてつくられた町です。播磨内陸の米が加古川の港に集められ高瀬舟で河口の高砂まで運ばれたのです。

新町には今も大正時代のはじめまで使われた舟着場の跡が残っています。

毎年8月23日には集落の中心にある交流会館前の広場で盆踊りが盛大に行われます。遍照寺では、地藏堂の周囲にわが子の健やかな成長を祈って名前の入った多くの提灯が下げられ、地区の人がお参りをします。

御詠歌は「南無大師遍照金剛あなかしこ 故きをたずねよ新町の庵」（なむだいしへんじょうこんごうあなかしこ ふるきをたずねよしんまちのいお）です。

10. 多井田のお薬師さん—加東四国六番霊場

2007年03月28日



加東市多井田の集落のほぼ中心、高台に「多井田のお薬師さん」と呼ばれ親しまれている薬師堂があり、薬師如来像が安置されています。お堂は、平成17年に約300年ぶりに再建され、ぶしいぐら

いまっさらです（写真）。

このお薬師さんは、皮膚病によく効くとして知られています。地元のお年寄りはお参りをし、線香の灰を持ち帰ってイボに塗るとイボがとれると話しておられました。また、多井田にはこのお薬師さんのおかげで大病をする人がなかったともいわれ、地域の方が熱心に守ってこられたということでした。

多井田のお薬師さんは、蝮除けに効く加東市田中のお薬師さん、

眼病に効く多可町加美区金蔵山のご本尊とあわせて三薬師として有名です。この三薬師の本尊は役の行者が笠形山の霊木で刻んだ「一木三体薬師」だといわれているそうです。

お薬師さんのある境内には、公民館、お宮さんがあり、地域の人々の交流の広場そのものといった感じがあります。

御詠歌は「山を面に川をうしろに多井田や ここ百福の荘厳としれ」（やまをもち かわをうしろに おいだや ここひやくふくの しょうこんとしれ）です。

11. 吉馬の阿弥陀堂と北向き地蔵 加東四国第七番霊場

2011年08月24日



23日（火）、加東市吉馬地区の阿弥陀堂の前の広場で盆踊りが行われました。夕方の激しい雨で一時開催が危ぶまれましたが、夜には雨も上がり、阿弥陀堂前には地区の老若男女が集まり、にぎやかに盆踊りが行われました。

この阿弥陀堂は加東四国八十八ヶ所の第七番霊場で、「三草ふれあい広場」の「わたしの村の自慢マップ」には次のように紹介されています。

阿弥陀堂と北向き地蔵

集落の中央にある阿弥陀堂には、高瀬吉兵衛翁の記念碑があり、吉馬の開発由来が刻まれています。境内には北向き地蔵が祀られ



ており、毎月二十一日には村人がお参りし、お堂はふれあいの場となっています。九月の彼岸には念仏講の高齢者と子供たちによる大数珠繰りが行われています。

このように地区の歴史、人々の心の拠り所となっている阿弥陀堂の前のそう広くない広場で行われた盆踊りは、懐かしさと

ともに地区の皆さんの絆を感じさせてくれました。

御詠歌は「不可思議や無量寿仏の名の下に 里はよろずよ富み
栄ゆかん」（ふかしぎやむりょうじゅぶつの なのもとに さと
はよろずよとみさかゆかん）です。

12. 上三草の観音堂—加東四国第八番霊場

2012年06月02日



加東市上三草、三草小学校へと上る県道が大きくカーブする手前で左手の山の中にお堂が見えます。これが観音堂です。

竹藪に囲まれた境内は静寂に包まれており、殉国碑、お大師さんの像などが並んでいます。お堂には「加東郡霊場八番 本尊観世音菩薩 観音堂」と墨書された額が掛かっていました。

加東郡誌の霊場一覧には「第八番 観世音菩薩 延命寺」とありました。吉馬の阿弥陀堂からこの上三草の観音堂、そして次の下三草の薬師堂へと巡っていくのです。

御詠歌は「延命の名には限らず願うこと 皆かなえんの誓いなるらん」（えんめいのなにはかぎらずねがうこと みなかなえんのちかいなるらん）」です。

13. 下三草薬師堂の五輪塔 —加東四国第九番霊場

2013年01月09日



加東四国八十八ヶ所霊場の第九番は下三草の薬師堂です。下三草の集落の東を走る国道372号線の東側の山の中にあります。国道から山の方へ農道を上り、少し入った林の中に古びたお堂が見えてきま

した。

お堂の正面に高さ1メートルほどの石が立っており、また、脇に五輪の塔が数基並んで建てられています。相当古い塔のように見えました。伝え聞くとところでは、源平合戦の三草山合戦で戦死した平家の供養に建立されたものがあるということです。三草ふれあい広場の作成した「わたしの村の自慢マップ」には、永正18年（1521）に集落や丹波道を通行する人々の安寧、安全を祈願して建てられたようだ、とも書かれていました。約500年も前に建立されたとは。

下三草の薬師堂

2013年01月10日



昨日は加東市下三草の薬師堂にある古い五輪塔を紹介しましたが、今日はその薬師堂を紹介します。といっても木立の中に息をひそめるように佇んでいる古びたお堂の姿を写真で見ていただだけですが。

下三草について、『加東郡誌』には次のように記されています。

「此の地は三草川の下流沿岸地方に位置したるを以て大字名を下三草と称す。当地は有名なる源平の古戦場なりしを以て諸所にその遺跡を存せり。

平家戦死者供養塔、当地旧阿弥陀堂に苔むしたる五輪の塔あり。伝え云ふ、平家の侍彌平兵衛宗清平家一門の戦死者の為に建立せりと。今阿弥陀堂は前記供養塔と共に現薬師堂に合併せられたり。

悲池、旧阿弥陀堂の地を去る西方約一町許字北カチにあり。源平合戦の時平資盛の一門郎党西の谷より逃れて八島に落ち延びんとして此の池の辺に來りしが侍女の輩西の谷の要塞を顧み、はかなくも源氏の為に没落せしを悲しみ一掬の水にのんどをうるほして落ち延びたりといふ。

其の他馬の首塚、戦野等尚多し。今、茶屋条、北かち、下条、東条の四垣内あり。」

御詠歌は「三草やかつて二木のへだてなく いよよ法雨の普なかるらん」（さんそうや かつてにぼくのへだてなく いよよほ

ううの あまねかるらん) です。

14. 加東四国霊場第十番—馬瀬の安養寺庵

2017年05月24日



加東四国八十八ヶ所霊場の第十番は、加東市馬瀬にある安養寺庵です。下三草の薬師堂から下鴨川の中之坊への巡拝路にあたります。

国道372号を鴨川方面に向けて走ると、ゆるやかな坂を上ったところに馬瀬地区の公民館がありますが、その手前の坂の右手の山の斜面に階段があります。このブログでも紹介したことがある桜橋の手前です。

公民館に車を止めて、国道を歩き、階段を上るとそこにはコンクリート造りのお堂がありました。そう広くない堂前はきれいに草が刈られていました。ここが安養寺庵だと思いながら手を合わせました。

ご本尊は阿弥陀如来。御詠歌は「鳥歌い花咲き紫雲たなびけり
ここ安養の浄土そのまま」(とりうたいはなさきしうんたなびけり
ここあんようのじょうどそのまま) です。

15. 加東四国霊場第十一番 —下鴨川中之坊薬師堂

2017年05月16日

加東四国八十八ヶ所霊場の第十一番は下鴨川の薬師堂です。県



道から加東市下鴨川の集落を通る旧道へ入り、しばらく行くと、川がゆるやかに曲がる辺りに薬師堂があります。道から少し細い道を歩いていくと、薬師堂と墓地がありました。

正面の柱に「中之坊 薬師堂」の金文字が刻まれた額と、御詠歌が書かれた板が掲げられています。

「かたよらず かたよらずして
なかのぼう たいらかによをみそな
はすらん」

お堂の背後には山がせまっており、静寂そのものでした。ウグイスがきれいに鳴いてみせてくれました。十番馬瀬の安養寺からこの中之坊、そ

して十二番の平木の清水寺への巡拝路になっています。

16. 播州清水寺春景色—加東四国十二番霊場

2017年04月18日

清水寺は標高約530メートルの御嶽山の山頂にあります。朱色が鮮やかな仁王門（昭和54年再建）、推古天皇勅願所として創建された根本中堂（大正6年再建）。西国三十三か所観音霊場第二十五番の札所の大講堂（大正6年再建）、そして、平清盛の継母である池禅尼創建と伝えられる薬師堂（昭和59年再建）。堂内には薬師如来の眷属である12神将の彫刻があります。地藏

堂（昭和５７年再建）が木立の中に建っています。

清水寺は大正２年の全山大火事で堂塔が消失し、その後再建されています。しかし、その歴史は古く、山内に残る石垣などにはかつて１８もあった塔頭寺院の面影をしのぶことができます。

桜まつりは雨のイメージが強いのですが、今年は本当にまぶしいくらいの光溢れた一日でした。

清水寺は加東四国八十八ヶ所霊場の第十二番霊場になっており、御詠歌は「賢不肖洩らさですくう誓いとて 普き庭にしみずたたゆる」（けんふしょうもらさですくうちかいとて あまねきにわにしみずたたゆる）です。



清水寺桜まつり

2009年04月20日

４月１９日、新緑がまぶしい播州清水寺（加東市平木）で「桜まつり」が開かれました。

根本中堂西側の広場にはステージが設けられ、地元鴨川小学校の児童による和太鼓の演奏や御嶽太鼓の演奏などが披露されました。また、根本中堂東側ではお茶席も設けられ、社茶道協会の皆さんのお手前でお茶をいただきました。

講堂西側の本坊では、木彫仏像展も開催されていました。寺宝の「銅造菩薩立像」（県指定文化財）も間近に拝むことができましたが、仏師の宮沢博さんから仏像を彫るようになったきっかけをお聞きしてその機縁の不思議さに驚きました。宮沢さんは社町に進出した工場の工場長として造成された敷地を歩いていて足元にある小さな金銅仏を発見。その後鑑定してもらったところ鎌倉時代のものとわかり、仏像の厨子を自分で作ったのが仏像を彫るきっかけになったということでした。その金銅仏も展示されていましたが、本当に小さな仏像でした。

清水寺には懐かしい思い出があります。まだ大塔があった頃、その大塔から瀬戸内海の光る海が見えたこと、草深い山道をかきわけて南朝忠臣赤松氏範の墓に案内してもらったこと、ボーイスカウトで講堂に宿泊した夜、空ではなく同じ高さで稲光を見たこと、夜の登山道で大きなヒキガエルに躓いたこと等々何とも懐かしい思い出になって今もよみがえってきます。

播州清水寺の薬師堂の十二神将像

2017年04月21日

16日（日）に行われた播州清水寺の鴨川桜まつりは好天に恵まれ、多くの人出で賑わいました。そのようすはこのブログでも紹介しましたが、今日は、境内の薬師堂について紹介します。

仁王門から石垣の続く参道を行くと、薬師堂があります。この

お堂は昭和 59 年に再建されていますが、創建は平清盛の継母の池禅尼によるものと伝えられています。

堂内に入ると、木造薬師如来像が安置され、天井の周囲には十二神将像がぐると取り



り巻くように掲げられています。これらの神将像は干支の動物の姿をしており、ユニークな彫刻で参拝者の人気を呼んでいます。

彫刻の制作者は「奈良県のマスコット「せんとかん」のデザインで知られる彫刻家藪内佐斗司さん（63）＝東京芸術大大学院教授」（神戸新聞記事）です。うさぎや猿、鳥の姿の神将像の姿や表情に見入ってしまいました。

17. 加東四国第十三番霊場—古家の阿弥陀堂

2017年05月14日



加東四国八十八ヶ所霊場の第十三番は古家（加東市秋津）の阿弥陀堂です。田圃の中の一段高くなっている所にお堂が見えます。爽やかな風と緑、古い石段を登ると、お堂が建っていました。

堂正面の柱に掲げられた板には、「加東四国第十三番霊場 阿弥陀堂 加東市古家 御本尊 阿弥陀如来 御真言 おんあみりたていせいからうん」と書かれていました。



御詠歌は「たづぬるやみ堂の起
縁ふるけれど 日に新たなりみ仏
の慈悲」(たづぬるやみどうのき
えんふるけれど ひにあらたなり
みほとけのじひ)。

この阿弥陀堂は、かつて古家にあつた玉泉寺という大きな寺の末寺の坊だったといわれているようです(『東条の道標巡覧記』)。境内に立ち、周囲を見渡してみると、そんなイメージが浮かんできます。

18. 秋津の薬師堂―室町時代の姿を伝える

2011年05月16日



加東市秋津(常田地区)の
県道沿いに草葺きのいかにも
古いお堂があります。

この前に紹介した秋津百石
踊りが行われた住吉神社のす
ぐ近くに 있습니다。このお堂
が秋津の薬師堂で、兵庫県の

重要有形文化財に指定されています。

説明板の解説によると、室町時代末期の辻堂建築として貴重な建物だとされています。また、お堂の本尊である木彫薬師如来坐像は市指定文化財になっており、胎内の墨書に造立の経緯などが書かれているということです。

加東四国八十八ヶ所霊場の十三番古家の阿弥陀堂から十四番今

寺の間にあり霊地奥の院となっています。

この道を走るとき、家並みの中に突然目に入ってくるこのお堂。
400年余り前の姿そのままに今の時代に伝わっていることに感動します。

19. 加東四国第十四番霊場 —西戸の吉祥寺（今寺）

2017年06月11日



加東四国八十八ヶ所霊場の第十四番は西戸の吉祥寺（今寺）です。清水寺の末寺で法道仙人の開基と伝えられています。

平成27年の秋、加東市西戸の集落の東端辺りの県道を走っていると、左の山側の道沿いに一本の道標が立っているのが目に飛び込んできました。ここから先は道幅も狭くなり、大川瀬溪谷を右の崖下に見ながら三田市境へと入っていくところです。

加東四国八十八ヶ所霊場の第十四番、今寺への道を示す道標でした。

上部に仏の坐像、下部に「四国八十八ヶ所巡拝」「右 相野」「左 今寺」と刻まれていました。側面には明治三十八年八月二十八日の建立年が刻まれています。

「本郡鬼門の守護の神 今寺毘沙門十四番」と加東郡霊場和讃に詠われる今寺（吉祥寺）への道を示しています。

その後、一度今寺に行ってみたいと思っていましたがなかなか



その機会がなく、ようやく6月10日（土）にゴルフ場からの山道を歩いて今寺に行くことができました。

本堂はまだ新しい感じがしました。ご本尊は毘沙門天。明治の初年には毘沙門天の信者の参拝が盛んだったようです（『加東郡誌』）。本堂へ上る80数段の石段の上に日の光に輝いていました。

御詠歌は「今寺や今もむかしに変わりなく 朝夕涼し松風の音」（いまでらやいまもむかしにかわりなく あさゆうすずしまつかぜのおと）です。一人境内に佇んでいると風の音、竹がこすれて鳴る音だけが聞こえてきます。いのししが掘り返したようなあともありました。賽銭箱の上に置いてあるノートに記帳して下山しました。

20. 加東四国第十五番霊場—少分谷の延寿庵

2017年05月17日



加東市少分谷の集落に入った辺り、東条花園の向かいにお堂があります。ここが加東四国八十八ヶ所霊場の第十五番、少分谷の延寿庵です。

入口には立派な石柱が建てられ、「加東四国八十八所第

十五番 大日如来 平松山 延寿庵」
と刻まれています。石碑には御詠歌も
刻まれていました。

「本尊は大日如来名は延寿 誰か言
ひ初めて少分谷とは」(ほんぞんはだ
いにちによらいなはえんじゅ だれか
いいそめて しょうぶだにとは)



庵は白壁の美しい建物で、境内は広くないものの美しく保たれていました。そして、なによりも西方に向かって東条川の谷筋の田園と集落が広々と見渡せる景色が素晴らしく感じました。十四番の今寺(西戸)から十六番の貞守の薬師堂への巡拝路にあります。

21. 加東四国霊場第十六番—貞守の薬師堂

2017年05月15日



加東四国八十八ヶ所霊場の第十六番は、加東市貞守の薬師堂です。地区を抜ける道路沿い、東条川にかかる橋の手前にあり、大きなえんじ色の屋根が目立ちます。

正面に掲げられている板の字が薄くなってよく読めませんが、「加東郡霊場第十六番 本尊 薬師如来 薬師堂」と書かれているのがかろうじて判ります。

御詠歌は「あなとうふと宝珠荘厳紫の 藤浪高くしげる貞森」(あなとうふとほうじゅしょうごんむらさきの ふじなみたかくしげるさだもり)です。

このお堂では、毎年2月6日には堂の禱（とう）といわれる行事が行われ、豊作や地区の安全や住民の健康が祈願されるということです（『東条の道標巡覧記』）。

22. 長井の薬師堂—加東四国第十七番霊場

2010年02月03日



加東市長井の集落を西に見ながら旧道を走っていると、左手に大木とお堂が目に入ってきます。これは長井の薬師堂です。ちょうど境内に地元の方が居られたのでいろいろとお話を聞くこと

ができました。

薬師堂は、長泉寺という寺だったそうです。加東四国八十八ヶ所霊場の第十七番霊場になっています。境内のむくの木の大木が歴史の古さを感じさせます。お堂はコンクリート造りですが、ご本尊は60年に一度のご開帳があるそうです。また、毎年年の始めに南蔵院の住職を迎えてお堂で行事が行われるということも教えていただきました。

お堂の前の木の元には、いくつかの石造物が並んでいました。どれも古いもののように見えましたが、年代などはわかりません。

御詠歌は「薬王のみまもり玉うみかげには 煩いなが井人としてはなし」（やくおうのみまもりたまう みかげには わずらいながい ひととしてはなし）です。

23. 岩屋の薬師堂—加東四国第十八番霊場

2012年06月30日



田植えが終わり、山の緑と田圃の緑が日に日に濃くなっていく今日この頃です。東条川にそって県道小野藍本線の岩屋地区を天神地区に向かって走っていると、左手山際に屹立する大杉が目につきます。

そして、そこに神社とお堂が見えます。このお社は八幡神社、お堂は岩屋の薬師堂で、加東四国霊場第十八番にあたります。

境内に立って、大杉の太い幹の間から広々とした水田風景を眺めていると心が落ち着きます。

薬師堂はかつて巡礼の人々で賑わったそうです。この山際には大きな岩がところどころにごろんと横たわっています。ふと、岩屋の地名の由来に関係があるの难道うかと思いました。

御詠歌は「老杉の梢にしげる白雲を 種智円満の花かとも見つ」(おいすぎの こずえにしげるしらくもを しゅちえんまんの はなかともみつ) です。

24. 長谷地藏堂の道標 —加東四国第十九番霊場

2014年02月05日

加東市長谷を走る県道が大きくカーブするあたりの右手の高い所に地藏堂が見えます。カーブから少し行ったらところから山の向かって細い道路があり、ゆっくり車を走らせると、お堂の下に出



ました。

お堂からは街道と集落を見下ろすことができ、桜の木が数本植わっています。石段や石灯籠などの石造品が境内のあちこちに見られます。灯籠には天保十年の建立年が刻ま

れていました。石段の下に一本の石柱がありました。よく見ると道標です。「右 十九番おくのいん 左 全立江寺」と刻まれていました。側面には施主の名も刻まれています。そうです、ここは長谷の地藏堂。加東四国八十八ヶ所霊場の第十九番です。この道標は元はどこにあったのかはわかりませんが、この場所に移されたものでしょう。あとで調べてみると、立江寺はこの地藏堂で、「おくのいん（奥の院）」はこの地藏堂の裏山にある小さなお堂だそうです。

御詠歌は「長谷のいやながかれと祈るかな 慈悲のみまえに手を合わせつつ」（ながたにのいやながかれといのるかな じひのみまえにてをあわせつつ）です。

春になると、地面の草も芽を出して柔らかい絨毯になり、お花見には絶好の場所になるんだろうな思いました。

25. 加東四国霊場第十九番番外 —横谷の地藏堂

2017年06月03日

加東市横谷の公民館の隣に真新しいお堂が建っています。地藏堂です。この地藏堂は加東四国八十八ヶ所霊場の第十九番長谷の

地蔵堂の奥の院になっています。

地蔵盆の日には、地区の皆さんが地蔵堂で般若心経をあげ、先祖の供養と地区の繁栄を祈り、下のグラウンドで盆踊りが行われています。建て



替えられる前の古い地蔵堂の姿をこのブログで紹介したことがあります（2010年1月25日付投稿）。数百年の古い伝統があると聞きました。

御詠歌は「紅いを縦紫に横谷や 錦織り出すこれ機業所」（くれないをたてむらさきによこたにや にしきおりだすこれはたばしょ）です。

横谷の地蔵堂で供養

2015年08月23日



22日（土）、加東市横谷地区の盆踊りが行われました。日が沈む頃には地区の地蔵堂、グラウンドに役員さんや子供の姿が見られ、澄んだ空気の中、涼しい風が吹きわたる心地良い夜になりました。

横谷の地蔵盆の供養は毎年24日に行われていたのですが、現在ではその前の土曜日に行うようになったということです。午後7時30分、地蔵堂に地区の皆さんが集まり、般若心経をあげま

す。そこには先祖供養と横谷の繁栄を祈願する大切な伝統行事を守り伝えている横谷の皆さんの姿がありました。

8時から下のグラウンドでやぐらを囲んでの盆踊りが始まりました。太鼓は地元東条を拠点に活動する夢工房の2人。先週の黒谷若宮八幡宮の盆踊りでも太鼓をたたいて盛り上げておられました。グラウンドには消防団員がたこ焼きやボールすくい、婦人会がアイスクリームなどの店を出し賑わいを盛り上げました。

まだグラウンドがなかった頃は地藏堂前の狭い広場で踊りをしていたそうで、多くの人出で混み合ったそうです。また、踊りを盛り上げようとかつての消防団員らが中心となってこうした夜店も出すようになった、とのことでした。そうした地区住民のまつりを大切にしたいふるさとのにぎわいづくりの歴史があったことを知りました。その横谷地区も人口減少、少子高齢化が進み、今では小学生が5人、保育園児はいないという状況になっています。

26. 加東四国霊場第二十番一森の観音堂

2017年05月19日



加東市森の中国自動車道を南北に抜けるボックスの南、ゆるやかなカーブの東側にお堂があります。公民館の向かいで消防団の詰所の隣です。

このお堂が加東四国八十八ヶ所霊場の第二十番、森の観音堂です。お堂の横には水路があり水が流れていました。お堂の前はきれいに草が刈られ、涼しげな木陰に心が安まるようでした。

御詠歌は「思う哉誰しも慈悲のみめぐみと森の下かげ雨やどりしつ」（おもうかなだれしもじひのみめぐみと もりのしたかげあまやどりしつ）です。

27. 加東四国霊場二十一番一天神の薬師堂

2017年05月09日



加東市天神の薬師堂は、天神の市街にある日新信用金庫天神支店の向かいの家と家の間の細い道を少し歩いて、ゆるい坂をのぼって視界が広がるその中にぽつんと建っていました。

周辺は高台になっており田圃が広がっています。近くの田圃の畦では草刈り作業が行われていました。この辺りは古代寺院の掬鹿寺のあったとされるところで、近くに廃寺址の三重の塔の心礎と考えられている石などもあります。

この薬師堂は加東四国八十八ヶ所霊場の第二十一番霊場で薬師如来が祀られ、森の観音堂から掬鹿寺への順路の間になっています。爽やかな五月の風と広々とした田園風景の中で心が和らぎました。御詠歌は次のとおりです。

「天神もあま下り来て奉持すと はじめの喜見後の薬王」（てんじんも あまくだりきて ほうじすと はじめのきけん のちのやくおう）です。

28. 加東四国霊場二十二番霊場掬鹿寺 —古寺と義経道—

2012年06月29日



加東市天神の一之宮神社の前の道をさらに山の方に向かって緩やかな坂道を上っていくと、掬鹿寺（はしか）にたどり着きます。

掬鹿寺は、伝えられるところでは、推古帝2年（594）

に聖徳太子によって創立されたとされています。聖徳太子が諸国を巡り仏教の講義を行うために当地に立ち寄られたとき、傷を負って死にそうになっていた白い鹿を救うために薬師如来に祈られたところ、たちどころに傷は癒え元気になって感謝しながら立ち去ったことから、薬師如来の霊威に感じて太子自ら如来像を彫って安置され、これが掬鹿寺のもとになったとされています。のちに僧行基が堂塔を修復し、山号を白鹿山、寺号を掬鹿寺として栄えました。

また、掬鹿寺の脇から山中に通じる道は、源平合戦の三草山合戦の折りに、平氏を破った義経らが一ノ谷に向かって駆け抜けた道で「義経道」と呼ばれています。深閑とした境内、そして、古道に立つと時空を超えて古代の信仰のこころ、兵士の息づかいが聞こえてきそうです。

掬鹿寺は加東四国八十八ヶ所霊場の第二十二番霊場で、御詠歌は「是をしも度生の声と聞きまおし はしか谷間を渡る鹿の音」（これをしもどしょうのこえとききまおし はしかたにまをわたるし

かのね)です。

29. 廻り淵のお堂—加東四国二十二番番外霊場

2012年01月17日



加東市廻り淵の朝光寺へ向かう道と東条おもちゃ王国へ向かう道と分かれ道の北側の山の中腹に真新しいお堂が見えます。

これは阿弥陀堂ですが、地元の人「お大師さん」と呼



んでいます。昨年の秋に少し下からこの場所に新築移転されたとのこと。お堂には阿弥陀如来とお大師様が祀られ、加東四国八十八ヶ所霊場の番外の霊場になっています。第二十二番倚鹿寺から廻り淵の阿弥陀堂、畑の大師堂を経て、二十三番朝光寺へと巡る途中の霊場になっているのです。

地区の人の話では、かつてこのお堂の建てられた場所には、村の保育園があったということでした。お堂の入口の傾斜のところに道標が建てられています。上部に仏像が刻まれ、その下に「左 □□□・・・」と文字が刻まれているのですがよく分かりませんが、霊場巡礼の道案内の道標だったのでしょう。

上の写真は、阿弥陀堂への坂道にあり、「加東霊場 大峰山出

張所」と刻まれています。御詠歌は「法の道踏みなば安し幾廻り
淵瀬にかかる浮世なりとも」（のりのみちふみなばやすいいくま
わり ふちせにかかるうきよなりとも）です。

30. 朝光寺—新緑光る中、伝統の鬼踊り法会 —加東四国二十三番霊場

2015年05月06日



今年はこどもの日にふさわしく、空は青く晴れわたり、朝光寺はまぶしいほどの新緑の光に包まれていました。空気も爽やかでおいしい空気を胸一杯に吸い込んでしまいます。

境内には多くの人が訪れ、加東市観光ボランティアの皆さんが多宝塔の前で説明をしておられました。本堂の正面には仮設舞台が設けられ、その周囲には早くから多くのカメラマンが場所取りをして鬼踊りの始まりを待ちかまえています。

午後1時、本堂で大般若経転読法要が始まりました。檀家の女性による御詠歌の歌声と鉦の音、僧侶による転読の大音声が堂内に響きわたります。

いよいよ舞台で鬼踊りが始まりました。まず翁が舞い、次ぎに鬼が登場します。鬼は4匹。翁は法道仙人にこの地を紹介した





住吉の神様、鬼は顔や姿こそ恐ろしいのですが仏の化身だそうです。松明、剣、斧、錫を持ち、鐘の音に合わせて単調ですが、時に力強く地面を踏みたて、飛び上がりながら踊ります。鬼の顔は色が違うだけでなく、表情も豊か

で楽しめました。

踊りは至極単調で、五穀豊穡、疫病退散などの願いが込められています。この踊りの起源はよく分かっていないそうですが、鎌倉時代か室町時代ではないかといわれています。

地元の畑地区の保存会の人によって踊りが継承されていますが、若い人の姿も見え、しっかりと伝統が受け継がれていました。



境内には国宝の本堂をはじめ、国重要文化財の鐘楼、そして多宝塔、山門、さらにはつくばねの滝もあり、境内の神社も再建され、銅板の屋根や白木の柱が雨に濡れた新緑に映えていました。

御詠歌は「其のむかし朝日の光る如かりし 勅願の跡踏むもとうとし」（そのむかしあさひのひかる ごとかりしちよくがんのあとふむもとうとし）です。

31. 加東四国霊場第二十四番 下久米の浄泉寺

2017年05月22日

加東市下久米の県道、下久米交差点の近くに浄泉寺の看板があ



ります。細い道を入ると、正面に石垣、白壁、石段が見える駐車場。ここが白國山浄泉寺です。

階段の脇に道標が立っていました。上部に仏像が刻まれ、その下に「加東四国 第廿四番札所」と刻まれています。道標の側面には大正八年十二月建立と刻まれています。

木の向こうに朱と白壁の本堂が見えました。

本尊は阿弥陀如来。御詠歌は「きよらかに泉湧くなり南無大師 いざ詣できて汲めや世の人」（きよらかにいずみわくなりなむだいし いざもうできてくめやよのひと）です。



40. 上久米東光寺で大日祭 —加東四国霊場第二十五番

2011年02月13日

2月11日（金）、建国記念の日は、加東市の東西で伝統の祭りが行われました。今日は上久米の東光寺で行われた大日如来祭を紹介します。

大日祭は「大日さん」「大日ったん」とよばれて昔から人々に親しまれてきました。かつては参道に植木や露店が立ち並び、多

くの人出で賑わったという話をよく聞きます。今年もそんな昔の賑わいを懐かしみながら祭を楽しむ参詣の人々でした。

社町の広報に掲載された大日さんの紹介文を掲載します。



「郷土の探究」(8)「広報やしろ」第10号(昭和35年3月5日発行)

社町にも北播三大祭の一つとかぞえられるものに、上久米部落にある東光寺の恒例祭とされている「大日如来祭」がある。昔から牛馬の守り仏として有名で毎年二月二十八日には播州一円の農家が参拝し、境内せましと思わせる。この日北播一帯の青年有志大相撲が展開されるとともに参道に列をなす植木をはじめ農機具などの多くの露店は、まさに社町のなかでの最大の祭りでもあり、北播三大祭の一つでもある。

本堂の正面には牛の草鞋がたくさん吊してありました。もう牛を飼っている農家はありませんが、往時の賑わいを伝えてくれます。

祭の楽しみは寺の前の田圃で行われる護摩焚と火渡りの行事です。山伏問答から始ま



り、四方へ矢が放たれ結界が結ばれます。本堂で採火された火がつけられるともうもうと煙があがり、強い風にあおられて炎が燃え上がります。火が小さくなると、護摩檀が崩され、火渡りの道がこしらえられます。その頃になると、多くの参拝者が田の中に素足になって並び始めます。孫の手を引いたお祖父さん、子どもさんと一緒に若いお父さん、警備の消防団員など、山伏さんに背中に何やら指で字を書いていただいてから一気に渡ります。まだ火がところどころ出ているのですが熱くないのです。今年もこうして無事に火渡りを終えることができました。



(2014年) 毎年この日は寒い。寒くなければならないように寒くなる。今年も白いものが散らつきましたが、護摩焚きの頃になると冷たい強風が吹いて、もうもうと立ち上る煙がまるで龍が天に

昇るように渦を巻き、方向を回転しました。

火渡りでは、今年も無病息災を願って、まだ火がいこるなかを多くの人が素足になって渡っていきました。もちろん私も渡りました。これで8回目です。

東光寺は加東四国霊場の第二十五番霊場です。御詠歌は「東雲の光さすなりこの里は 夢路に迷う人なかるらん」(しののめのひかりさすなりこのさとは ゆめじにまようひとなかるらん)です。

41. 藤田の小山寺—加東四国第二十六番霊場

2009年01月13日



加東市藤田の県道西脇三田線沿を東に向かって走っていると、木梨神社の鳥居を過ぎ、しばらくして左手に小高い丘がせり出しているところ

があります。

春には桜がまぶしく、夏にはグラウンドでゲートボールや盆踊りが開かれます。この辺り一帯に岩が露出しているところが見られ、この丘そのものが大きな岩盤なのかもしれません。

この丘の上は小山寺（小山庵『加東郡誌』）があり、加東四国八十八ヶ所霊場の第二十六番霊場になっています。お寺というよりは集会所のようなたたずまいの建物です。

コンクリートの階段をのぼったところに墓石のように立てられている石柱がありました。正面に「加東四国 二十六番霊（その下には場という字が刻まれているのかもしれませんが）」と刻まれた石柱が二本。一本には大正八年秋吉日 施主當村念仏講中」、もう一本は大正九年建立のものでした。

御詠歌は「菴立つ小山は



瑠璃の所成にて 紫匂う藤田ゆかしも」(いおりたつおやまはるりのしょじょうにて むらさきにおうふじたゆかしも)です。

42. 加東四国霊場第二十七番 一木梨北山の地藏庵

2017年05月25日



加東四国八十八ヶ所霊場の第二十七番は、加東市木梨の地蔵庵です。木梨の集落の北西、山側にあり、すぐ北側を中国自動車道が通っています。南側はと田圃が広がり、集落を見通すことができます。

以前に三草ふれあい広場のワクワク探検で訪れたことがありました。墓地や祠もあり、この地が霊地であることが感じられます。お堂には、「昭和六十三年八月改修、木梨老人会」と刻まれた板と、「享保十七年 念佛講」と刻まれた板が吊されていました。

お堂正面には、薄くなって読みにくくなっていますが、加東郡
 霊場第二十七番 本尊地藏菩薩と書かれた板が掲げられていまし
 た。

藤田の小山庵から喜田の阿弥陀堂への巡拝路の間にこの地藏庵があります。御詠歌は「朝つとめなすや木魚の音すなり 東もしらむ北山の菴（いお）」（あさつとめなすやもくぎょのおとすなり ひがしもしらむきたやまのいお）です。

43. 喜田の阿弥陀堂

—加東四国第二十八番霊場

2010年02月09日



加東市喜田の公民館の西隣にお堂があります。まだ新しい公民館と古いお堂が隣合せて建っており、昔からの集落と新しく開発され住宅やアパートが増えている喜田地区を象徴しているかのようです。

このお堂は阿弥陀堂で、加東四国八十八ヶ所霊場の第二十八番にあたります。公民館、住宅に囲まれて、お堂と墓地、大師像、石碑などが狭しと並び、この地が村の歴史の一端を伝える大切な場所であることを感じます。

源平合戦の古戦場である三草山合戦についてその伝承を調べていたときに、敗れた平氏が三草から逃げてこの喜田にあった大寺に逃げ込んで隠れたがやがて見つかり滅ぼされたという話を聞いたことを覚えています。その大寺は今はありませんが、このお堂がその名残ではないかといわれている、ということでした。もちろん、私の記憶も、そして伝承の内容、さらに伝承そのものもはっきりしていませんが、そんなことを思い出しながらしばらくの間お堂の前に佇んでいました。

御詠歌は「暁の鐘の音遠く聞ゆなり きた山伝え晴るる村雲」(あかつきのかねのねとおくきこゆなり きたやまつたえはるるむらくも)です。

44. 加東四国霊場第二十九番 —上中の阿弥陀堂

2017年05月20日



加東市上中にある加東消防署の東に隣接してお堂が建っています。このお堂は阿弥陀堂。加東四国八十八ヶ所霊場の第二十九番霊場です。第二十八番、喜田の阿弥陀堂からこの上中の阿弥陀堂、そして、

三十番の穂積の阿弥陀堂へと巡拝します。

目印は加東消防署、そして、天を衝くような巨木です。樹齢は分かりませんが、社町時代に保護木に指定されています。きっと霊場巡拝の人々にとっては、道標とこうした巨木が目印になったのではないのでしょうか。

御詠歌は「四方より路もしげけく開けたり 参るにやすし中村の堂」（しほうよりみちもしげけくひらけたり まいるにやすしなかむらのどう）です。上中は中村と呼ばれ、昔から主要道が通過するこの地方の中心として栄えてきた地域です。

45. 加東四国霊場第三十番—穂積の阿弥陀堂

加東四国八十八ヶ所霊場の第三十番は穂積の阿弥陀堂です。穂積地区の集落の中に墓地と阿弥陀堂が建っています。

穂積の地名は、播磨風土記に記された賀毛郡の穂積の里に由来する古い地名です。今の穂積地区よりもっと広い地域だったよう

です。江戸時代には旗本八木氏の領地で陣屋がありました。阿弥陀堂の裏には八木氏の奥方の墓碑があります。

穂積地区には、神功皇后にまつわる乳池さんの祠や神戸石とよばれる力石があり伝説



に満ちています。



阿弥陀堂には「加東郡霊場第三十番 本尊阿弥陀如来 阿弥陀堂」と書かれた板額と墨がうすくなって読みにくくなっていますが、御詠歌が書かれた額が掲げられています。御詠歌は「山の如く刈田の稲穂つまれたり 南無阿弥陀仏里のゆたけさ」（やまのごとくかりやのいなほ

つまれたり なむあみだぶつさとのゆたけさ）です。

46. 家原の毘沙門堂

一 加東四国第三十一番霊場

2012年08月12日

加東市家原、国道175号交差点のそばに立派なお堂があります（写真は今年1月撮影のもの）。これは毘沙門堂です。加東四国八十八ヶ所霊場の三十一番霊場になっています。

家原はイエハラと読みますが、エーバラと発音されていたようです。加古川の支流、千鳥川のほとりにある家原は、古代、中世の古くから川港、船着場として人々が住んでいたと聞いています。



お堂の辺りの字名は堂ノ元。
この一帯は弥生時代の住居跡
も発掘され、後期には環濠集
落が形成されていたというぐ
らい古い地です。そこにある
のが毘沙門堂で、昨日11日
には家原地区の夏まつりが開

かれ、隣接の公民館の前の広場ではやぐらを囲んで盆踊りの輪が
でき、大勢の人が集まって楽しみました。

御詠歌は「住むやここ我が家原と定めては 花の都路なとて慕
わん」（すむやここわがいえはらとさだめては はなのみやこじ
なとてしたわん）です。

47. 鳥居の観音堂—加東四国霊場三十二番

2012年01月15日



加東市鳥居。佐保神社の西
の鳥居に由来する名のつく集
落です。姫路と京都を結ぶ旧
街道に沿って集落がありま
す。そのほぼ中央にお堂があ
り、公民館も隣接して建てら
れ、まさに鳥居地区の中心に

なっています。

さて、このお堂は加東四国霊場の第三十二番霊場の観音堂です。
地区の人は「お堂」とよんでいます、額には涌羅野山長福寺と
いう寺号が書かれています。

とんどの準備で来ておられた地区の方のご案内でお堂の中に入らせてもらうことができました。外観にもまして内部は古さが感じられました。堂内には文化七年転読大般若經、文化十年再建、昭和四十七年大補修の文字が書かれた板が置かれていました。文化10年といえば西暦1813年ですから今から約300前のこと。それ以前から鳥居の人々によって大事に守られ継承されてきたことがわかります。

涌羅野山の名称は社の持寶院も同じですが、加古川の東に広がる広い平野一帯の呼び名だと聞いています。社の市街地からさらに東の一帯は広野と呼ばれていました。今もその名が寺号や町名、名字などに残っています。

御詠歌は「ありがたや普き慈悲のみ光に とりいれまくと立たせますなり」（ありがたやあまねきじひのみひかりに とりいれまくとたたせますなり）です。

48. 貝原の薬師堂—加東四国霊場第三十三番

2012年01月08日



国道372号の河高野村バイパスが工事中です。加古川には加東大橋が架かり、現在、河高側のJR加古川線の跨線橋の工事が行われています。一方、東詰の野村側は一部歩道などを残してほぼ出来

上がっています。

加東大橋を渡りきって下ったところに大きなムクの木があり、そこにお堂が建っています。これが貝原の薬師堂です。加東四国八十八ヶ所霊場の第三十三番霊場です。鳥居の観音堂からこの貝原の薬師堂、そして、次は川向こうの河高の高蔵寺庵へと巡礼道は続いています。境内のもう一本の大木の根元にはかつて道標も置いてあります。貝原が京街道の、そして巡礼道で賑わった名残りです。今は、加東大橋の東詰の交差点で新たな目印に生まれ変わろうとしています。

御詠歌は「身につもる宿世の病疾く癒えぬ 参る貝原たのもしの世や」（みにつもるすくせのやまいとくいえぬ まいるかいはらたのもしのよや）です。

49. 河高の高蔵寺庵—加東四国三十四番霊場

2017年06月12日



加東四国八十八ヶ所霊場の第三十四番は河高の高蔵寺庵です。河高地区の集落の中、旧道沿いを行くと、河高農業部1班構造改革センターがあり、その駐車場の北側に南向きで建っています。

現在の加東大橋の東詰め交差点にある三十三番の貝原の薬師堂から西岸の河高に渡り、この高蔵寺庵を経て、高岡の三十五番観音堂に巡拝したのです。

御本尊は薬師如来。御詠歌は「滝の川渡る朝霧すきもれて 高

蔵寺庵鉦（かね）ひびくなり」（たきのがわわたるあさぎりすきもれて こうぞうじあんかねひびくなり）です。

50. 高岡の観音堂—加東四国三十五番霊場

2012年01月11日



加東市高岡の旧街道を走っていると、石碑や大師像などが立っている一画があります。石柱には「加東四国 第三十五番 霊場」と刻まれています。その奥には大師の石像が建っています。それだけで、建物はありませんが、おそらくここに観音堂があったのでしょう。今は石像と石柱があるだけですが、旧京街道に面しており、西国巡礼の道

でもあり、往時は多くの巡礼者が往来したことでしょう。この旧道に並行して国道372号が走り、トラックをはじめ多くの車が走っています。

御詠歌は「いとどしく梅も微妙の香を高み 月影淡し岡の上の夜半」（いとどしくうめもみみょうのかをたかみ つきかげあわしおかへのよわ）です。

51. 加東四国霊場の霊地—高岡の庚申堂

2017年05月08日

加東市と加西市の市境に近い高岡地区の旧道、西端に庚申堂が建っています。以前、この歴史ブログで、この庚申堂の前に立つ道標を紹介したことがあります（平成20年・2008年8月



16日投稿参照)。立派な道標で、西国霊場巡礼道を往来する人々の目印になっていたことでしょう。

さて、この庚申堂は加東四国八十八ヶ所霊場の三十五番高岡の観音堂と



三十六番上田の正覚院の順路の間にある霊地として「市之瀬 眞然庵 庚申堂」となっています。

昨年、地区によって庚申堂が改修され、護摩焚きも行われました。御本尊は青面金剛、庚申さんです。お堂の賽銭箱が変わっているなどよく見てみると、風呂桶の形をしています。施主は武庫郡西宮町（現西宮市）の桶□□鶴見熊市と書かれていました。



きれいに草が刈られた境内に立つと、5月の爽やかな風が吹き抜けていきました。

御詠歌は「怪しみし一の瀬乃字梢々解けぬ そは松涛の音の流れて」（あやしみしいちのせのあざ ややとけぬ そはまつなみの おとのながれて）です。

52. 加東四国霊場第三十六番—上田の正覚院

2017年06月02日



加東四国八十八ヶ所霊場の第三十六番は上田の正覚院です。正覚院には本堂で行われるコンサートや正覚坊こども園の行事などで訪れることがあります。こども園は道路をはさんで向かいにありますが、かつては寺の境内にあり、その当時の写真をこのブログで紹介したこともあります。

由緒は古く、法道仙人の開基と伝えられ、教王院とともに歓喜山阿弥陀寺の塔頭寺院だったそうですが、天正年間に兵火で焼け、慶長の時代に再建されたとのこと（『加東郡誌』）。

境内には天満宮があります。以前に紹介したこともありますが、この天満宮は、菅原道真公の自画像をお祀りするお宮さんです。石鳥居のそばに「御自画像天満宮」と刻まれた石柱が立っています。菅原道真公が九州太宰府に左遷されるときに書かれた自画像で、その後数奇な運命を辿ってこの上田の正覚院の境内に宮を建て祀られているということです。天神祭では、上田地区の子供達が天満宮の拝殿で正覚院や教王院の僧侶による祈祷を受けます。

ご本尊は不動明王です。御詠歌は「娘生の其身そのまま正覚の

位を得るはここのみ寺ぞ」（じょうしょうのそのみそのまましようがくの　くらいをうるはここのみてらぞ）です。楼門の前には、「加東郡八十八ヶ所　第三十六番霊場」と刻まれた石碑があり、爽やかな初夏の日ざしに光っていました。

53. 野村のお堂―加東四国第三十七番霊場

2011年12月28日



加東四国霊場三十七番は野村の極楽堂です。ご本尊は阿弥如来。野村のお堂と呼ばれ親しまれています。かつては境内を取り巻くように廊下があったそうです。北播磨一円からのお参りの人も多く、賑

わったといえます。

お堂に掲げられた額には、「本尊阿弥陀佛　延寿山極楽寺」の寺号と「四国三十七番霊場岩本寺」の御詠歌が書かれていました。「徐ろに福田橋をぞ渡りけり　極楽堂に詣るもろ人」（おもむろにふくだばしをぞわたりけり　ごくらくどうにまいるもろびと）。

四国八十八ヶ所霊場をうつした加東四国霊場らしい額です。冬の真っ青な空の色とお堂の壁の白い色が美しく感じられました。

加東四国霊場成立記念碑―野村のお堂

2011年12月26日

昨日に続いて加東市野村の「お堂」の境内にある記念碑を紹介します。

石碑には「加東四国成立記念」と刻まれています。建立されたのは大正7年（1918）で、この極楽堂が加東四国八十八ヶ所霊場の三十七番霊場として多くの巡礼者のお参りがあったことを物語っています。台石に木が生えて石碑は少し傾いています。



「加東四国霊場」とは、四国八十八ヶ所霊場を加東郡内（旧の加東郡で現在の加東市と小野市域）に写したもので、大正7年につくられました。江戸時代にもあったようですが、明治維新の頃に消滅し、新たに作られたものです。

54. 加東四国霊場第三十八番—上田の教王院

2017年05月30日



加東四国八十八ヶ所霊場の第三十八番は上田の教王院です。上田地区の公民館から西へ少し行ったところにあります。

法道仙人の開基と伝えられ、大日如来を御本尊として、大いに栄えたようですが、天正年間（安土・桃山時代）に兵火にあい、堂宇、古文書はことごとく灰燼となった、と『加東郡誌』に記されています。その後、17世紀のはじめに再建され、現在に至っています。



入口には「歓喜山教王院」と刻まれた石柱と「第三十八番霊場」と刻まれた石柱の2本が門柱のように立っています。境内に入ると、本堂、大師堂、北面観音菩薩像などの建物が並び、そして、その奥に2本の門柱のような石柱と大きな石碑が建てられていました。

門柱の脇の石碑には、「木戸孝允（桂小五郎）碑」と刻まれており、奥の石碑には、「内閣顧問前参議木戸公碑」と刻まれています。この碑は教王院の住職だった松本宥愉と旧識のために来遊した木戸孝允を偲んで、大門村の蓬萊元堂らが明治16年に建立したものです。『社町史こぼれ話』（吉田省三著）によれば、家原の観音寺に赤穂義士の墓碑を建立した山口県出身の僧明範との関係があったのでは、としています。

御詠歌は「教王や院のとなえの尊さに また立戻りして伏し拝むかな」（きょうおうやいんのとなえのとうとさに またたちもどりしてふしおがむかな）です。

55. 野村の西之堂—加東四国霊場第三十九番

2011年12月29日

加東四国霊場第三十九番は野村（小部野：おべの）の西之堂です。本尊は阿弥陀如来。

小部野は今から千二百五十年以上前に編纂された播磨風土記の穂積里に出てくる「小目野」に由来する古い地名です。かつては国土地理院の地形図にも小部野の地名がありました。

風土記には、播磨国を巡行した応神天皇が小目野（現在社町野村字小部野）にお泊まりになった時に歌を詠まれ、その歌の中に小目野の地名があるのです。加東市社の関西電力社営業所の玄関庭にはその歌を刻んだ歌碑があります。



歌 愛くしき小目野の小竹葉に
霞ふり霜ふるとも
な枯れそね小目の小竹葉

訳 美しい小目の笹葉に霞が降り霜が降っても
枯れないで小目の笹葉

その小部野の田圃の中にボツンと西之堂が建っています。御詠歌は「清涼の月影すめり野の末の 西の堂下に匂う蓮の香」（せいろのつきかげすめりののすえの にしのどうげににおうはすのか）です。

56. 福吉の阿弥陀堂—四十番霊場

2012年01月05日

“加東の新年は福吉から”とは、加東市で一番早く元旦の9時から地区初集會が開催されることから私が勝手に言っているのですが、その初集會の前に福吉の阿弥陀堂を訪れました。

集落の西に阿弥陀堂があり、墓地になっています。加東四国霊



場第四十番の霊場ですが、それを示すものは見当たりません。ひょっとしたら違うのかなと思ったりしましたが、小部野（野村）の三十九番西之堂からこの福吉阿弥陀堂、そして四十一番出水の施薬寺庵（薬師如来）へ

の道筋にあり間違いはないはずです。

御詠歌は「み堂には富寿無量仏南無大師 二種円かなり福よしの里」（みどうにはふくじゅむりょうぶなむだいし にしゅまどかなりふくよしのさと）です。

57. 出水の施薬寺—加東四国四十一番

2012年02月27日



加東市出水の入口にお堂とお墓があります。これが施薬寺です。以前にこの歴史ブログで境内の宝篋印塔や殉国碑、石燈籠などを紹介しました。享保年間のものもあり、その

古さに驚きます。

さて、このお堂には涌泉山施薬寺の額が掲げられています。加東四国八十八ヶ所の第四十一番になっており、福吉の阿弥陀堂から出水、次は沢部の観音堂へと続きます。

御詠歌は「東方の瑠璃界よりや湧くならん 霊験するし此処の出水」（とうほうのるりかいよりやわくならん れいけんするし

このいでみず) です。

58. 加東四国霊場四十二番一沢部の観音堂

2012年01月10日



加東市沢部の集落の北西に周囲の冬枯れの景色の中に一際目立つ朱と白の建物が見えます。これが加東四国八十八ヶ所霊場の第四十二番霊場の観音堂です。

コンクリート造りになっていますが、石段や内部の造りは元の木材がそのまま使われているようです。

堂の前は沢部地区の墓地になっており、その入口に立派な石柱が立っています。「加東四国 第四拾二番霊場 観音堂」と刻まれています。そして、お堂には御詠歌の額が掲げられていました。「かびりきの いたらぬすみぞ なかるらん ねがひのかずは さわべなれども」(加被力のいたらぬ隅ぞなかるらん 願いの数は沢部なれども)です。

沢部の小さなお百度石

2012年01月14日

加東市沢部の観音堂のある墓地の入口に、加東四国第四拾二番霊場観音堂の石柱があります。そのすぐそばに小さな石が置かれており、石の前には正月の飾りもされています。

何の石かとよく見てみると、その一部は欠けたように見えますが、



表面に「百度」の文字が刻まれていました。この小さな石柱は百度石だったのです。こんなに小さな百度石との出会いは滅多にないでしょう。

59. 大門の南無典堂—加東四国四十三番霊場

2012年01月09日



8日(日)、加東市内の各集落では初集會が開催されました。加東市大門では公民館で初集會が行われましたが、その東隣にお堂があります。大門の南無典堂です。お堂の前には立派な石柱が建てられて

ており、「第四十三蕃霊場 南無典堂」と大きく刻まれています。

加東四国八十八ヶ所霊場の第四十三番です。沢部の観音堂から南無典堂を経て、川向こうの慶徳寺(小野市河合中)へと巡礼の道は続きます。

大門はかつて加古川の舟運で繁栄し、大門橋が架設され、播州鉄道が開通して大門駅が設けられると再び繁栄した町場でした(『加東郡誌』)。そのほぼ中央にこの南無典堂があります。お堂には地蔵菩薩が祀られています。

御詠歌は「浅野家の古霊も今に併祀せり ああ徳に入る大門やここに」(あさのけのこれいもいまにへいしせり ああとくにいるだいもんやここに)です。

60. 西古瀬の毘沙門堂 —加東四国第四十五番霊場

2009年01月08日



加東市西古瀬の大歳神社の北に毘沙門堂があります。その入口左手に4本の石柱が立てられており、そこに彫られた文字を読んでもみると、加東四国霊場の道標であることが分かりました。

1本には「右 第四拾五番 左 第四拾六番 霊場貳丁」「大正拾参年三月建立 當村 友藤又吉」と彫られています。短い1本には、「第四十五番霊」（下部は土中）と太く大きな文字が彫られていました。もう1本には「右 志ん」「左 やど」（その下は表面が剥がれている）と彫られており、新町と屋度への分かれ道に立てられていた道標だろうということが分かります。

加東四国八十八ヶ所霊場の四十五番は福田村西古瀬の毘沙門堂、四十六番は同じ西古瀬の大日堂になっています（『加東郡誌』）。

御詠歌は「ぬかずくや毘沙門天に祈ること 世の太平と五穀豊穡と」（ぬかずくやびしゃもんてんにいのること よのたいへいとどこくぶじょうと）です。

61. 西古瀬の大日堂 —加東四国第四十六番霊場

2009年01月11日

加東四国霊場のうち、加東市福田地区の古瀬（東、中、西）の



霊場を紹介してきましたが、もう一つ西古瀬の大日堂を紹介しましょう。

西古瀬の集落の西端辺りに大日堂があります。加東四国第四十六番霊場で、同じ西古瀬の毘沙門堂（第四十五番）から、この大日堂を経て中古瀬の薬師堂へと巡礼の道は続きます。写真は四十六番霊場の石柱とお堂です。

御詠歌は「いかにして如何に報いん涯しなく 隅なく照らす日々の恵みに」（いかにしていかにむくいんはてしなく くまなくてらすひびのめぐみに）です。

62. 中古瀬の薬師堂-加東四国第四十七番霊場

2009年01月09日



加東四国八十八ヶ所霊場の四十七番は中古瀬（加東市中古瀬）の薬師堂です。

国道175号のすぐ西側、旧道沿いに堂があります。説明板が立てられていたので読んでみると、加東市指定文化財（昭和

56年5月22日指定）、木造増長天立像と仏像群と記してありました。木造増長天立像は平安時代後期のものと考えられるとあり、昭和44年3月31日に社町指定文化財に指定されています。

また、お堂の入口には、加東四国八十八ヶ所霊場巡りの四十七

番霊場の石柱が立っていました。西古瀬の毘沙門堂から大日堂を経て、その次の霊場が中古瀬の薬師堂に巡拝します。

御詠歌は「人知れぬ心の中の煩いも 癒しけるらん悲願尊し」(ひとしれぬこころのなかのわずらいも なおしけるらんひがんとおとし) です。

63. 東古瀬の地藏堂

—加東四国第四十八番霊場

2009年01月10日



加東市東古瀬の集落の東端に近いところに八坂神社と地藏堂があります。

1月3日、その地藏堂の隣の公民館では東古瀬の新年初総会が開かれていました。一

方、地藏堂では当番の引き継ぎが行われているところで、堂内に安置されている地藏菩薩像を拝することができました。この木造地藏菩薩立像は平安時代の中期頃に造られたものと考えられており、昭和56年に社町指定文化財に指定されています（今は加東市指定文化財）。

境内の入口には「加東四国四十八番霊場」と彫られた石柱が立っています。そして、側面には「大正十年十一月 施主 内藤善太郎」と刻まれていました。昨日紹介した中古瀬の四十七番の薬師堂、その前の西古瀬の四十六番大日堂、同じく四十五番毘沙門堂から続く霊場巡りの道は古瀬を西から東へと向かっていますので、順番からいくと次は屋度（加東市屋度）かなと思うのですが、

四十九番は東古瀬から東条川を渡って久保木（小野市久保木）へと続いていくのです。

御詠歌は「ありがたや諸願に応ずしるしとて 如意宝珠をも示しますなり」（ありがたやしょがんにおうずしるしとて によいほうじゅをもしめしましなり）です。写真は地藏堂と石柱で、奥の水色の建物は公民館です。

64. 加東四国霊場第六十六番 —大畑の阿弥陀堂

2017年06月01日



加東四国八十八ヶ所霊場の第六十六番は大畑の阿弥陀堂です。県道神戸加東線から東垂水へ抜ける市道の山側の高い所にお堂が建っています。県道からもよく見えます。市道から歩いて坂を上り、お堂

まで上がると、西側に大畑の集落、その向こうに小野市にかけて田圃の景色が広がっています。おそらくここから見る夕日は雄大で、まさに西方浄土から阿弥陀様が現れそうな気分になります。六十五番は萬勝寺（小野市万勝寺町）、次の六十七番は豊地町の観音堂です。

ご本尊は阿弥陀如来。御詠歌は「詫びぬべき科はたあらじ南無阿弥陀 六八の願に洩れぬ身なれば」（わびぬべき とがはたあらじ なむあみだ ろくはのがんに もれぬみなれば）です。

65. 加東四国霊場第六十八番 —東垂水の薬師堂

2017年05月13日



加東四国八十八ヶ所霊場の第六十八番は、加東市東垂水の薬師堂です。東垂水の集落の中、公民館の近くに道路に面してお堂が建っており、霊場を示す石柱と古そうな石碑が並んで立っています。

石柱には、「加東四国 第六十八番霊場」と刻まれています。隣の石は道標なのかと思いながら見ましたが、表面が剥がれており分かりません。

お堂の正面には、「加東郡第六十八番霊場 本尊薬師如来 東垂水薬師堂」と墨書された板額が掲げられていました。狭い堂前の広場には地区のゴミステーションがあり、生活の場の感じがします。

御詠歌は「忘れても国の皇親に尽くさなん 已に臣たり子たる身なれば」（わすれても くにのみおやに つくさなん すでにしんたり こたるみなれば）です。

66. 加東四国霊場第六十九番—新定の安国寺 加東遺産—安国寺と足利義教

2008年06月30日



6月中旬、梅雨の合間の晴れた朝、安国寺（加東市新定）へ行ってみました。

平日のまだ朝だというのに駐車場にはバスが一台止まっていた。加東市（旧東条町）の友好都市シェラン市（米

国ワシントン州）からの訪問団一行が見学に訪れていたのです。山門をくぐり庭に入ると、ちょうど一行が本堂の拝観を終えて出てきたところでした。

私は寺の裏にある「足利義教の首塚」に向かいました。本堂の裏には蓮池があり、その畔のこんもりと一段高いところに「首塚」があります。階段を上っていくと塀で囲まれた一画があり、苔で覆われたその中央に宝篋印塔（ほうきょういんとう）が祀られています。宝篋印塔とは鎌倉時代から造られるようになった供養塔のことです。

そこへシェラン市の一行がやってきました。引率の方からここに將軍の首が埋められて祀られていると説明されると、目を丸くして驚きながら、「ではボディは？」という質問を返していました。引率の方もこの質問には少し戸惑っているように見えました。これも文化の違いでしょうか。首を切ってその首だけを京都からこの離れた地に運んできて祀るということがよく理解できていないようでした。

一行の若者は「ショーゲン」の首塚よりも蓮池のカエルに興味があったようで、蓮の葉の上のカエルを見つけてははしゃいでいました。足利義教も自分の死後550余年もあとに青い目の少年少女がこうして自分の供養塔を訪れるとは夢にも思わなかったでしょう。

さて、安国寺は「加東遺産10選」の一つに選ばれています。加東遺産のキャッチフレーズは「世界に一つ！」ですが、「安国寺」はよく知られているように室町幕府を開いた足利尊氏が名僧夢窓国師の勧めによって、北条氏を弔い国の安定を祈って一ヶ国一寺、全国60余州に建立しようとした寺の一つです。寺名は臨済宗東溪山安国寺。開祖は京都東福寺管長、固山一翬禪師で、暦応2年（1339）に建立されたと伝えられています。開山当時は安国寺の付近に24の搭頭があったといいます。現在の本堂は明治29年（1896）に再建されています。

加東四国八十八ヶ所霊場の第六十九番霊場で、御詠歌は次の通りです。「是やその二世安国寺將軍の 遠望やそも動かざりけり」（これやそのにせあんこくじしょうぐんの おんぼうやそもうごかざりけり）です。

足利義教の首塚

2008年07月01日

安国寺には、室町幕府の六代将軍、「足利義教の首塚」があります。首塚と呼ばれているのは、昨日のブログで紹介した宝篋印塔（ほうきょういんとう）です（写真）。

将軍足利義教の「首塚」がなぜ安国寺にあるのでしょうか。

足利義教は三代将軍足利義満の子で、兄の義持が四代将軍に



なったために、当時の慣例で仏門に入り天台座主になっていました。しかし、五代將軍義量（義持の子）が早く死に、そのあとしばらく將軍代行として政治を取り

り仕切っていた義持も跡継ぎを決めないまま死んでしまったので、幕府の有力な大名が集まって、くじ引きで六代將軍を決め、その結果、義円（義教の当時の名）に決まったのです。こうして義円は還俗し、六代將軍義教になったというわけです。

六代將軍義教は、幕府の権力を強めるために有力守護大名の家督相続に強引に介入したり比叡山と対立したりして独裁的強権的な政治を行いました。幕府の有力守護大名だった赤松満祐はこうした義教の動きを警戒して、嘉吉元年（1441）6月24日、京の自邸に義教を招いて宴を開き、ころあいをみて突然襲いかかって首をはねてしまったのです。赤松満祐は自害するつもりでしたが、幕府の動きがなかったので邸に火をつけ、領国の播磨に引き上げてしまいました。これが「嘉吉の乱」です。

赤松満祐は將軍義教の首を持って播磨へ引き上げ、その途中、加東郡河合郷新部村堀殿城（現在の小野市）で葬送の準備をして、東条川をさかのぼって安国寺に向かいました。

7月4日、安国寺では播州から僧侶百人が集められ、武士数百人が警護するなか法要が営まれたそうです。

赤松満祐はそののち、城山城（現たつの市新宮町）にたてこもり、幕府の山名軍と戦いましたが9月10日に切腹しました。

「首塚」とよばれていますが、足利義教の首が葬られているわ

けではないので、首塚という呼び名はどうかという話を聞きました。

67. 加東四国霊場第七十番—吉井の薬師堂

2017年05月12日



加東市吉井の集落の中、見晴らしのよい所にお堂が建っています。新緑のまぶしい光にお堂の白い壁が目立ちます。

このお堂は吉井の薬師堂で、堂の前の石碑に刻まれた再建記によれば、平成6年に再建

されたとありました。ご本尊は薬師如来。新定の安国寺から小沢の大日堂への順路にあります。

御詠歌は「此際や悪魔魔民も窺わし 吉井は水に威霊あらばぞ」（このきわや あくまみんも うかがわし よしいはみずに いれいあらばぞ）です。吉井という地名の由来は「古昔良水の出づる名井ありしを以て名づけしもの」（『加東郡誌』）とあり、御詠歌にも詠われています。

68. 小沢大日堂—加東四国第七十一番霊場

2012年01月07日

加東市の社から嬉野台地を通り、東条の栄枝、厚利へと抜ける県道を走っていて、いつも気になるお堂がありました。台地から長い坂道を下り、左手に小沢城址のある小高い丘を見ながら緩い傾斜地に重なる田圃の向こうに小さなお堂が見えます。

このお堂が小沢の大日堂です（写真）。加東四国八十八ヶ所霊



場の第七十一番霊場になっています。圃場整備された田圃の細い道をたどっていくとお堂に着きました。

御本尊は大日如来で、この木彫坐像は昭和60年に東条町の文化財に指定されています。

平安後期から鎌倉初期の作ということですからその古さに驚きます。巡礼の人々は吉井から小沢を通り、栄枝へと抜けていったのでしょう。

御詠歌は「旭さす小沢のあしま水温み 長閑に田鶴のあさる音する」（あさひさすおざわのあしまみずぬくみ のどかにつるのあさるおとする）です。

69. 加東四国霊場第七十二番 栄枝の薬師堂

2017年05月23日



加東四国八十八ヶ所霊場の第72番霊場は栄枝の薬師堂です。小沢の大日堂から県道を渡り、栄枝地区の小高い所にある広杉神社の境内に本殿と並んで薬師堂があります。県道脇には道標（へんろみち）

も立っています。

堂の正面には板の額が掲げられていますが、墨が薄くなって読み取れません。写真に撮って解像すると、加東四国霊場七十二番

や薬師の文字がうっすらと読み取れました。

栄枝は明治6年に旧国依村（くにより）と神谷村（こうだに）が合併して生まれた村です。

『東条の道標巡覧記』によれば、広杉神社の祭神である武太神、すなわち牛頭天皇の本地仏として薬師如来を祀る薬師堂が境内に建てられたのであろう、ということでした。

御詠歌は「あやかりて里は萬代栄えなん 吉祥草の奇しき由縁に」（あやかりて さとはよろずよ さかえなん きちじょうくさの くしきゆえんに）です。

境内から南には広々とした田園風景が広がり、心も和らぎました。

70. 加東四国霊場第七十三番—栄枝の禅瀧寺

2017年05月28日



加東四国八十八ヶ所霊場の七十三番は栄枝の神谷山禅瀧寺（こうだにざんぜんりゅうじ）です。同じ栄枝にある七十二番薬師堂からこの禅瀧寺への巡拝路となります。

禅瀧寺は法道仙人の開基と伝えられる古刹で、本尊の薬師如来

は行基の作と伝えられています。かつて寺が栄えた頃には50を超える塔頭寺院があったそうですが、仁王門から本堂までの参道に金蔵院、持明院があります。

本堂は元和6年（1620）の再建ですが、密教寺院の古い形式を伝えているようです。市指定文化財の解説板があります。

石段を上り、振り返ると、両側の山に囲まれ、その谷の真ん中をまっすぐ延びてくる道が見渡せます。境内は広く正面に本堂、向かって左手に不動堂があります。かつては鐘楼もあったそうです。

高く伸びた杉の蔭に立つと、五月の心地よい風が吹いてきました。御詠歌は「参るべき重き四恩に報うべき 効だに立たば何か 祈らん」（まいるべきおもきしおんにこたうべき こうだにたたばなにかいのらん）です。

71. 加東四国霊場第八十一番一屋度の薬師堂

2017年05月29日



加東四国八十八ヶ所霊場の第八十一番は屋度の薬師堂です。以前にこの歴史ブログで紹介したことがありますが、堂の前には屋度地区の戦没兵士の名を刻んだ英霊碑があり、また、入口には「加東四国第八十一番霊場 右八十番 左八十二番」と刻まれた道標

型の石柱が立っています。

また、入口のところにやしろ歴史民俗研究会の研修会で取り上げられた「筆子墓」「門弟墓」があり、また、じっくり調べてみたいと思いました。

御詠歌は「雨降らば此の木の本を宿とせん 濡るも法の恵みと思えば」(あめふらばこのきのもとをやどとせん ぬるるもののりめぐみとおもえば)です。この日の薬師堂は初夏のまぶしい日の光と緑の中にありました。

72. 加東四国霊場第八十二番 —東古瀬の神咒寺

2017年05月31日



加東四国八十八ヶ所霊場の第八十二番は東古瀬の神咒寺（じんしゅうじ）です。寺号は東實山神咒寺。福田小学校の東、加東警察署の福田駐在所の交差点に位置しています。高台にあり、南側には平池はじめ、福田地区の豊かな田園が開けています。

加東郡誌、新修加東郡誌によれば、創建の由緒は古く、行基菩薩が勅令により霊地をひらかんと各地を巡っているとき、この地方で稲虫による不作で農民が苦しんでいるのを知り、阿伽水を求

めて神呪の力をもってまじないをするとたちまちに虫は去り、稲が順調に生育したということで、これぞ仏の加護であると寺院を建立し、稲の実山神咒寺と号したと伝えられています。東實山、加東郡誌には稲實山とありました。

階段を上り、山門をくぐって境内に入ると、爽やかな心地よい風が吹き抜け、その眺望に心が自然と開けていきました。ご本尊は阿弥陀如来。御詠歌は「摩訶般若南無秘密神咒諸人の 祈るまにまに効しあらなん」（まかはんにやなむひみつじんしゅもろびとの いのるまにまにしるしあらなん）です。

73. 加東四国八十三番霊場—東実の阿弥陀堂

2009年12月19日



17日（木）、加東ライオンズクラブのクリスマス訪問例会で市立福田幼稚園を訪問しました。会員が分担してサンタクロースになって市内の保育園幼稚園を訪れる恒例の行事です。その途中、東実（と

うじつ）の南端にあるお堂の入口に立っている石柱を撮影しました。

これは、加東四国八十八ヶ所霊場の第八十三番、東実の阿弥陀堂の標柱です。冬の朝日に照らされて、今も道行く人に霊場であることを示しています。御詠歌は「唱うるや遍照金剛南無阿弥陀得生彼園うたがいぞなき」（となうるやへんじょうこんごうなむあみだ とくしょうひえんうたがいぞなき）です。

74. 松尾の毘沙門さん

2012年01月12日



加東市松尾は社の南に位置する集落です。

松尾にはかつて寶塚とよばれる古墳があり、古代、この地方を治めた豪族の墓ではないかといわれています。また古墳の濠は田圃になって、そ

の形が円形のために田植えなどではどこまで植えても端がないので「嫁泣き田」と呼ばれたなどと聞いたことがあります。松尾は母の実家があるので、小さい頃からそんな話をよく聞かされました。

その松尾には八幡神社、毘沙門堂があります。写真は毘沙門堂です。平成20年に改築されています。毘沙門堂は加東四国霊場の八十四番山国の妙仙寺から八十五番田中の薬師堂へと続く間にあり、霊地とされています。

75. 加東四国霊場第八十四番—山国の妙仙寺

2017年05月27日

加東四国八十八ヶ所霊場の第八十四番は山国の妙仙寺です。県道神戸加東線が山国の集落を抜けて大きくカーブしながら坂を下る途中に寺への階段があります。

写真の石柱はその階段のところに建てられており、「本尊 聖観世音 加東郡第八十四番霊場 □□□ 妙仙禅」と刻まれています。

落ち葉で埋まった階段を上ると、寺の塀が見え、門へとまわり



込みます。妙仙寺は三草藩丹羽家の菩提寺でした。境内にはお堂などの建物があり、歴史を感じます。寺の東側には隣接して椿山保育園が営まれ、子供達の声が聞こえてきます。

御詠歌は「花も香も八千代に匂う椿山 国の栄えを祈る他なき」
(はなもかもやちよににおうつばきやま くのにのさかえをいのるほかなき)です。

76. 田中の薬師堂―ハメよけ薬師 加東四国第八十五番霊場

2010年08月25日



加東市田中に薬師堂があります。ジャスコや県総合庁舎の南側の道路を西向きに走っていると、広々とした田の向こうにお堂が見えます。これが田中の薬師さんです。

このお薬師さんは昔から「ハメよけ薬師」として知られています。お堂の床の下砂をいただ

いて、ハメ（蝮：マムシ）の出そうな田圃の畦などにまいておくとハメが出ないということで、多くの人が砂をいただきにお参りしたということです。

ハメはこの地域にはたくさんいました。山裾の水のあるところや田圃の畦などに巣があって、草刈りなどをしているとよく噛まれたと聞いていました。自分も田圃で草刈りをしていたときにハメに出くわし、冷や汗が出た経験があります。

お堂の床下を覗いてみると、掲示板が結びつけられていて、砂については地図に印のしてある家に連絡して下さい、と書いてありました。

この薬師さんは加東四国八十八ヶ所霊場の第八十五番霊場になっています。西向きのお堂の入口に立派な石柱が建てられており、加東四国八拾五番と刻まれています。

ご本尊は大日如来で、木造大日如来坐像は平成3年に兵庫県指定文化財に指定されています。また、手水場の石には、寛政十二年と刻まれています。ちょうど西暦1800年ですから、210年もの間、お堂にお参りする人々を迎えてきたのですね。

御詠歌は「砂白く松みどりなりさながらの 莊嚴土など風かおる庭」（すなしろくまつみどりなりさながらの そうごんどなり かげかおるにわ）です。

77. 赤岸の観音寺—義士の寺— 加東四国霊場第八十六番

2006年07月04日

社小学校の前の環状道路を西向きに下っていくと、旧国道175号線との交差点に出ます。この辺りは「赤岸」とよばれて



います。そして、この交差点のすぐそばに観音寺があります。

観音寺は大悲山観音寺、古くは湯谷山観音寺ともよんでいたそうです。地名は加東市家原字御霊（ごりょう）ですが、「赤岸」（アカギシ）の地名の方がなじんでいます。「アカギシ」というのは、「赤穂義士」が訛ったものだといわれています。赤穂義士とこの地、そして観音寺はいったいどんな関係があるのでしょうか。

今から約350年ほど前、江戸時代のはじめの頃（1645年）に、播磨国赤穂（兵庫県赤穂市）に浅野氏が大名として入ってきました。赤穂浅野藩は赤穂をはじめ、佐用郡や加西郡、加東郡に領地を持っていました。加東郡の領地のうち、旧社町内では、垂水（今の西垂水）、窪田、中村（今の上中）、北村（今の喜田）、梶原、家原、鳥居、田中、貝原、福吉、沢部、上三草、下三草、木梨、野村、上田、大門の各村が浅野領でした。加東郡の領地には郡代がおかれ、赤穂義士の一人、吉田忠左衛門が郡代を務めていました。（文中の垂水から沢部まで村は、のちの家原浅野氏の領地）

1671年、浅野長賢（ながかた）に加東郡内の領地三千五百石が分けられ、旗本・家原浅野氏がつくられました。家原には陣屋（役所）もつくられ、その後、家原浅野氏は明治維新の廃藩までの七代、約200年続きました。

さて、観音寺はいつ建てられたかははっきりしませんが、家原浅野氏がつくられた頃だと考えられています。浅野氏の祈願所・香華所であったようです。社の市街地の北端にある善龍院は家原浅野氏の菩提所とされ、住職が観音寺の住職を兼ねていました。

元禄14年（1701）3月14日、江戸城内で赤穂藩主浅野内匠頭長矩（あさのたくみのかみながのり）が吉良上野介義央（きらこうづけのすけよしなか）に斬りつけ、けがを負わせました（松の廊下の刃傷事件）。長矩はその日のうちに切腹。領地は没収、お家は断絶というきびしい裁きが行われました。しかし、吉良はおとがめなしでした。

主君の恨みをはらそうと、翌15年12月14日（15日の早朝にかけて）、家老大石内蔵助をはじめ四十七人の家臣が江戸の吉良のやしきに討ち入り、ついに仇を討ったのです。人々はこの赤穂藩の家臣らの忠義をたたえました。今でも時代劇「忠臣蔵」として人気が高い話です。

その討ち入りから約150年後の弘化4年（1847）、善龍院の住職だった明範は、領主の家原浅野氏と相談して、観音寺の境内に赤穂藩浅野氏四代の藩主と四十七義士の石碑を建て、義士の忠義をたたえました。それが、観音寺の「四十七士の墓」とよばれているものです。

観音寺の門の前に「加東四国第八十六番霊場」と刻まれた背の高い石柱が立っています。御詠歌には義士のことが詠まれています。「赤穂義士や忠義塚にも掛けり 悲願普き霊場の札」（あかぎしやちゅうぎづかにもかかりけり ひがんあまねきれいじょうのふだ）と。

義士の墓碑—吉田忠左衛門

2010年12月22日



加東市家原赤岸の観音寺境内にある赤穂義士の菩提所には四十七義士の墓碑が主君を取り巻くようにコの字に並んでいます。菩提所の入口右手前には寺坂吉右衛門ら3人の墓碑があり、折れて南側の列の一番最初にあるが、四十七義士の参謀として知られる吉田忠左衛門兼亮（よしだちゅうざえもんかねすけ）の墓碑です。

墓碑には 吉田忠左衛門の名と法名「刃仲光劔信士、年六十三」が刻まれています。吉田忠左衛門は加東市（旧加東郡）にゆかりの深い人で、加東郡奉行として穂積陣屋（加東市穂積）にあって、加東郡内の赤穂藩領地を治めていました。加東市立社中学校の前の状ヶ池、加東市多井田の聖神池などの普請を指揮したことで知られています。江戸城で主君、浅野内匠頭長矩が刃傷事件を起こしたときも穂積陣屋にいたということです。寺坂吉右衛門は吉田忠左衛門に従っていました。

辞世 君がため思ぞつもる白雪を散らすは今朝の嶺の松風

観音寺と赤穂義士

2006年07月05日

赤穂義士の墓は、東京高輪の泉岳寺、赤穂の花岳寺が知られていますが、観音寺の墓碑はそれらに劣らない立派なものです。

毎年、討ち入りの行われた12月14日には義士祭が行われて

います。この日には、加東郡中学校駅伝大会が開かれています。これは長矩刃傷の知らせを江戸から赤穂に伝えた早籠にちなんだものとされています。

私は学生時代に東京で開催された中央義士会の法要に先輩に連れられて出席したことがあります。赤穂義士の子孫が集まり、法要を営んだあとの小宴で、「君はどなたかな?」と問われ、ふるさと社の観音寺と四十七士の墓の話が披露しました。ところが、誰も観音寺のことも墓碑のこともご存知なく、残念な思いをしたことがありました。

もう一つ、思い出話を。観音寺に庵主さんが居られた頃、不思議なお話を聞いたことがあります。

観音寺の南側の林の中の高い木の枝の上に浅野内匠頭の霊が現れるという話でした。庵主さんによれば、観音寺は浅野内匠頭が切腹する一年前に建立したもので、一番思いのこもった寺だったとのことでした。



▲ 上の写真は、昭和10年代のものだと思われます。浅野内匠頭長矩の墓碑と大石父子の墓碑を囲むように義士の墓碑が並んでいます。その風景は今も変わらないのですが、堀の向こうに見える風景が今とはずいぶん違ってきます。

写真には松林が写っており、当時の御霊山一帯が松林だったことが分かります。



観音寺では、毎年12月14日に義士祭が催されています。中心になっているのは、地元の家原地区と社連合区、社町観光協会による義士奉賛会です。法要のほか、剣道

大会や中学駅伝大会、甘

酒接待、くじ引きなどが開かれにぎわいます。
義士祭は、本家赤穂のものが有名ですが、社の義士祭も昭和のはじめ頃から始まったと聞いています。写真はその頃、青年が四十七士に扮装して勢揃いしたところを撮影したものです。大高源吾に扮した父藤本豊治（右端）の姿も見え、当時の青年の義士を讃える気概が伝わってきます。

※赤穂の義士祭は明治36年（1903）、社の義士祭は昭和2年（1927）年にはじまったとされています。

観音寺の薦誠碑

2010年12月18日



赤穂義士の寺として知られる観音寺（加東市家原）境内の四十七士の菩提所の入口脇に大きな石碑があります。近寄ってその表を見ると、漢字がびっしりと刻まれています。これが「薦誠碑」です。

この碑文は、弘化4年（1858）に観音寺に150回忌に合わせて赤穂義士の墓碑が

建立されましたが、その寄付を募った善龍院の僧、明範の依頼で家原浅野氏の当主である浅野長祚（あさのながよし）が書いたものです。

家原浅野氏は赤穂浅野家の分家（3500石）ですが、赤穂藩は滅びた後もそのまま残り、明治維新まで7代、200年続きました。善龍院（加東市社）は家原浅野氏の菩提寺でした。

碑文には四十七士の墓碑建立の経緯、明範の呼びかけで、義士を偲びその忠義を讃える人々の寄付によって建立されたことなどが書かれているようですが、何分漢文ですので難しくて読解できません。碑文を書いた浅野長祚は江戸に生まれて、幕府の要職を務めています。鉄砲頭、浦賀奉行、京都町奉行、江戸町奉行などを歴任し、京都では、火事にあった皇居の造営を指揮しています。また、学問にすぐれ、多くの著書を残しています。明治13年65歳で亡くなっています。

義士の墓をお参りされるときは、入口の階段手前左手にあるこの「薦誠碑」を見て下さい。

義士を称える幕末の歌碑

2010年12月14日



観音寺の菩提所へと通じる通路の右手にある石碑は、野之口正武の歌碑で、四十七義士を称える歌が刻まれています。

嘉永三年と刻まれていますから、西暦1850年のこと、義士の墓碑が建立されてから3年後のこと、この菩提所を訪れた野之口正武が詠んだ歌が刻まれているの

です。

野之口正武は小野藩の藩校の教授だと聞いていますが、義士の忠義こそ「やまところ」の発するところであると称えています。

志貴しまのやまところはひもかね名付てしに尊かりけり

義士の祭—家原観音寺で法要

2008年12月16日



12月14日（日）、加東市家原の観音寺で義士祭が行われました。「世界に一つ」加東遺産10選にも選ばれている観音寺の義士菩提所には、日曜日ということもあって多くの人々が訪

れ、義士の墓碑に線香をあげたり、地元家原地区の皆さんによる甘酒の接待などを受けていました。この日の主な催しは次の通りです。

8：30～ 甘酒の接待（観音寺境内の義士菩提所入口附近）
福引き（観音寺本堂隣、1回60円で清酒、みかん箱、バケツ等）

10：00～ 義士奉賛加東市中学校駅伝大会
※浅野内匠頭刃傷を赤穂に知らせる早籠にちなんでの駅伝

今年は加東市民病院前からのコースで開催

- 11:00～ 追善法要（観音寺本堂）
14:00～ 義士祭奉納少年剣道大会（観音寺）
16:00～ 赤穂義士の講談会（社市街地にある明治館）
※社地区地域づくり協議会が主催して昨年に続き
2回目。
旭堂南陵、旭堂南半球、旭堂小二三が出演

旭堂南半球さんは今年初めての出演でしたが、12月14日の討ち入りの日に、東京泉岳寺でも赤穂の花岳寺でもない、この地方都市、加東市でこのように盛大に義士祭が開かれていることに驚くとともにとても嬉しい、ということをお話していました。そうなんです。四十七士の討ち入りから150年回忌に観音寺に義士の菩提所がつくられ、300年余り経った今もこうして義士の忠義、武士道を称える行事が行われる、このことが私も素晴らしいことだと思うのです。

78. 360年の伝統—善龍院で初庚申祭り— —加東四国八十七番霊場

2015年01月22日



21日（水）、加東市社にある善龍院で360年の伝統を持つ初庚申祭りが行われました。予報に反して、朝から日も差して穏やかな天気の下、寺の境内には9時前から参詣の人が次々と訪れていました。

善龍院は、涌羅野山慈眼寺善龍院の寺号をもつ真言宗のお寺で、赤穂の浅野氏の分家である家原浅野氏の菩提所として代々の領主の位牌が納められていることや、初庚申（年始の庚申日）には多くの人々が参詣し、庚申寺として知られる由緒ある寺院です。

庚申とは、「庚（かのえ）申（さる）」十干十二支の組み合わせで60日に一度めぐってきます。庚申堂の本尊の青面金剛大明王（しょうめんこんごうざう）、すなわち庚申さまは、開運、厄除け、五穀豊穰、無病の守り本尊として昔から信じられています。

庚申堂にお参りし、「庚申お猿」をいただきます。布でつくられた猿のお守りですが、「災難を去る（猿）」ということで、このお守りをいただき、翌年奉納すると、ご利益があり念願がかなうといわれています。お参りしたあと、よもぎ団子と昆布茶の御接待を受けます。甘さと昆布茶の味が格別です。

昼前には大般若経が奉読され、開運厄除、七難即滅、七福即生、福寿円満、風雨順時、五穀豊穰、交通安全、家内安全が祈念されます。庚申堂の内部正面にはよく神社に祀られている鏡がありました。あれっと思いましたが、善龍院は明治維新までは佐保神社の社僧を務めていた関係ではないか、というお話を聞きました。その奥の秘仏は60年に一回の御開帳です。

善龍院は加東四国八十七番霊場でもあります。御詠歌は「開けゆく広野に高くあらわれて 活躍たりな善龍の窟」（ひらけゆくひろのにたかくあらわれて かつやくたりなぜんりゅうのくつ）です。

79. 冬の朝の蟲除守護名号堂 加東四国第八十八番奥の院

2012年01月24日



加東市西垂水の集落の北の
広々とした田圃の中にお堂が
あります。境内はきれいに掃
除されており、境内の真ん中
に一本の背の高い石柱が立っ
ています。

石柱には「加東郡霊場
八十八番奥之院 蟲除守護名号堂 大正七年三月十五日 願主
上月宗兵衛」と刻まれています。大正7年3月15日は、加東四
国八十八番霊場の開創された日です。 冬の朝、ピンと張り詰め
た冷たい空気をほぐすように朝日が差してきました。

補1. 社町道路元標が明治館前庭に 一元の三階交差点近く

2017年01月29日



社町（旧社町）の道路元標を明治館の庭に設置したとの報せを受け、さっそく見に行きました。

明治館（加東市社）の前庭の一角、旧加東郡公民館時代の門が建てられている横に設置されていました。

正面には「社町道路元標」と刻まれています。表面はきれいに洗われているようでした。この道路元標は、元は明治館から北へ50メートルほどにある交差点、通称「三階交差点」に建てられていたのですが、道路の拡張のために撤去され、その後、邸内に保管されていたものを今回新たな場所に再建することになったものです。「三階」は佐保神社の門前、旧郡公会堂や社町役場などに近く、県道の通る交通の要でした。

道路元標は、大正8年（1919）の「道路法施行令」で、国道や府県道、各市町村の道路の基点となる目印（石碑）として設置されたものです。加東市内の道路元標は現在確認されているのは、滝野町、加茂村、上福田村、福田村、鴨川村、上東条村の6基でした。それらはこの歴史ブログで紹介してきましたが、社町、米田村、中東条村の3基の行方が分かりませんでした。今回、社町の道路元標が由緒ある旧加東郡公会堂の明治館の庭に再設置され、加東市の貴重な歴史遺産がまた一つ増えました。保管されて



いた方や教育委員会関係者に感謝します。ぜひ、多くの方に見ていただきたい。

このブログでは市内の道路元標を紹介しています。また、各地を訪れた際に出会った道路元標も紹介してきました。

それらには歴史的な由来を記した銘板なども付けられて大切に保存されていることが分かります。市内の道路元標も未来に伝えたい歴史遺産として保存し、市民に伝える工夫が必要だと思っています。



加東市内の道標・道路元標については、県政資料シリーズⅢ「ふるさと加東の歴史再発見―道標・道路元標」（28年3月刊）に記載しています。残部あります。

補2. 東条川疏水ネットワーク博物館を讃える歌

2016年02月16日

14日（日）に東条湖畔で開かれた県庁加東クラブ総会のオープニングで東条川疏水讃歌「東条川疏水の物語」が披露されました。

この歌は、昨年11月23日に行われた東条川疏水ネットワーク博物館のオープン式典で初披露されましたが、今回は静岡県の歌謡グループ「オレンチェ」が歌いました。

東条川疏水は全国疏水百選に選ばれており、その選定10周年を記念して、東条川疏水の起点でもある鴨川ダムの竣工した昭和26年11月23日を記念して同日を「東条川疏水の日」に制定しました。

讃歌はネットワーク博物館の活動に参画している土肥芳郎さんの作詞によるものです。鴨川ダムや昭和池とその水路網、山田錦の里を潤す豊かな疏水を謳っています。優しい清らかなメロディの歌です。3月にはCDが完成すると聞いています。

東条川疏水の歌—土肥芳郎さん作詞のCD完成—

2016年04月22日



ブログ「百聞百見」にも紹介しましたが、東条川疏水の歌、「東条川疏水の物語」、「東条川よ ありがとう」の2曲などが収録されたCDができました。

この歌は、昨年11月23日に行われた東条川疏水ネットワーク博物館のオープン式典で初披露され、今年の2月14日に行われた県庁加東クラブのオープニングでも静岡県の歌謡グループ「オレンチェ」によって歌われました。この歴史ブログでも歌詞を紹介しましたが、今回は念願のCDが完成したということで、重ねて紹介します。

東条川疏水は全国疏水百選に選ばれており、選定10周年を記念して、東条川疏水の起点でもある鴨川ダムの竣工した昭和26年11月23日が「東条川疏水の日」として正式に制定されました。

この「疏水讃歌」はネットワーク博物館の活動に参画している土肥芳郎さん（釣針製造「土肥富」会長）の作詞によるものです。鴨川ダムや昭和池とその水路網、山田錦の里を潤す豊かな疏水を謳っています。優しい清らかなメロディの歌です。

この疏水の歌がふるさとの人々、とりわけ若い人、子供達が口ずさんでくれることを願っています。

歌詞は次の通りです。

東条川疏水の物語（疏水ネットワーク博物館讃歌）

桜（さくら） 紫陽花（あじさい） 向日葵（ひまわり） 紅葉（もみじ）

四季を彩る（いろどる） 川端まつり
鴨川ダムから 生まれた疏水（みず）は
育む命 清き水
ただひたすらに たゆたゆと
流れ続ける 東条川疏水の物語

曾根（そね）のサイフォン 船木（ふなき）の池と
三草山麓（みくささんろく） 昭和の池よ
田畑に恵みを 注いだ疏水（みず）は
未来に向けて 語る水
山田錦（やまだにしき）は 酒となり
癒し続ける 東条川疏水の物語

六ヶ井円筒（ろっかいえんとう） 分水堰（ぶんすいせき）は
今に輝く 先人叡智
北播磨路（きたはりまじ）を 流れる疏水（みず）は
青空屋根の ミュージアム
明日へ未来へ 感謝して
讃えて止まぬ 東条川疏水の物語

東条川と疏水のあるふるさとをこよなく愛する作者の気持ちが
歌詞に溢れています。多くの人が口ずさむ歌になってほしいと思

います。

東条川疏水の講演—うれしの歴史探訪倶楽部

2016年09月06日



5日（月）、加東市黒谷の東条湖畔のグランド赤坂で、東条川疏水に関する講演を行った。主催は「うれしの歴史探訪倶楽部」（県立嬉野台生涯教育センターの高齢者大学であるうれしの学園生涯大学のクラブ）。

予定を超える約50人の参加者があり、「鴨川ダムができるまで」を中心に約1時間講演した。湖底に沈んだ土井部落の語り部だった故藤原栄さんや教材づくりのために詳しい調査をされた、故藤井喜明先生のこと、35年前に私自身が教材づくりのために調査をしたときの写真や工事の記録写真、東条川疏水ネットワーク博物館の取り組みなどを紹介しながら話した。

昼前には雨が降り出したが、講演後、日本最長クラスの曾根サイフォンなどを見学した。初めて見たという女性はその壮大さに驚いておられた。

東条川疏水の日シンポジウム

2016年11月24日

23日（水）、今日は勤労感謝の日、新嘗祭の日だ。そして、「東条川疏水の日」でもある。

午後1時、小野市下東条のコミセンで行われた「東条川疏水の日シンポジウム」に出席した。

昨年、東条川疏水が全国疏水百選に選ばれてから10周年を記念して開催された東条



川疏水ネットワーク博物館のオープンシンポジウムで、11月23日が「東条川疏水の日」として制定された。この日は東条川疏水の要となっている鴨川ダム（東条ダム）が完成した昭和26年11月23日を記念したもの。昨年は加東市で、今年是小野市で開催された。

オープニングは女性音楽グループ「オレンチェ」による「東条川讃歌」と「東条川よありがとう」の歌。そして、東条川疏水PR映像が紹介された。陸、湖、空から眺めた疏水の光景は圧巻だった。続いて、小野、加東の4小学校の疏水学習の発表。ダムや池、水路などを实地に調査し、その歴史や役割、暮らしとのつながりなどをしっかり調べ、壁新聞などにまとめていた。子供達の驚きや感動が伝わってくるようだった。

2部では、建築、祭り、アート の3つの視点から疏水についてのリレートークが行われた。内藤正克氏（小野市）は流域の近代公共建築などについて、針木功氏（加東市）は西戸百石踊りの復活と保存



について、今村文彦氏（神戸芸工大教授）は疏水に関わるアートプロジェクトについて、それぞれ疏水文化について紹介した。

聴いていて、疏水をめぐり、流域の文化、身近な何気ない自然や歴史、伝統などの再発見、価値を見出し、発信していくこと、疏水を軸に住民協働による地域の価値の再発見、掘り起こし作業を継続的に行っていくことが大切だという感想をもった。

ダムやため池、水路網、そして田圃という壮大な水のネットワークは、稲作、米づくりのために築かれてきたものだ。水を引いて、土地を開き、田圃をつくって米をつくる。日本人はこの営みを続けてきた。その営みの中で、独特の文化を育み、守ってきた。決して農業者だけの農業施設ではない。水を源である山も、そして川といった自然も含めて疏水は日本人全体の共有物であるという認識を広げていき、みんなで守っていきたい。

議員活動ブログ「百聞百見」より

議会改革と副議長一年の歩み

(平成28年4月から29年6月9日までの議員活動ブログから抜粋)

兵庫県立大学入学式

2016年04月06日



5日（火）、神戸国際会館こくさいホールで举行された兵庫県立大学の入学宣誓式に出席した。

9時30分頃に会場に着くと、スーツ姿の新入学生らの長い列ができていた。10時

開式。文教常任委員長として壇上の席に着席して式だった。

開式の前に同大学のマンドリンクラブの演奏を聴いた。

式次第の冒頭、国歌斉唱が行われ、元大学の先生の先導で井戸知事、石川議長はじめ出席者全員で君が代を斉唱した。感無量だった。26年12月議会本会議で県立大学の入・卒業式での国歌斉唱を井戸知事に質し、その後、27年3月の卒業式から国歌斉唱が行われるようになった。わが自民党県議団では五島たけし先生はじめ先輩諸氏がこのことを訴えてきた経緯があり、今日の式典において国歌斉唱の場に居合わせたことはまさに感無量だった。

井戸知事は祝辞の中で、せめて英語で自由に話せるようになってもらいたいと注文した。創基 85 年、全国 4 番目の規模の公立総合大学である兵庫県立大学の更なる発展、前進を祈念するばかりだった。

文教常任委員会 大学生との意見交換会

2016年05月17日



16 日（月）、今日は 10 時 30 分から文教常任委員会が開かれた。内容は閉会中の継続調査事件で、「人権教育の充実について」であった。いつもと違っていたのは、インターネット

中継があることと大学生 20 名の傍聴があったことだった。人権教育課長からの報告、質疑が行われた。その他で、熊本地震への救援活動に関しする取り組みについての質問などが出て、1 時間余りで閉会した。今回の委員会をもって閉会中の継続調査事件も終了した。この 1 年間に、18 回の委員会、4 回の管内調査（県内）、1 回の管外調査（県外）を行ない、また、特定テーマの研究、県民との意見交換などを積み重ねてきた。報告書を議長に提出することになっている。

午後、県内国公立大学の 3、4 年生 20 名が出席し、傍聴しての感想、政治に対する見方などをテーマに県議会（議長、副議長、文教委員長、副委員長ら）と意見交換会が行われた。文教常任委員会傍聴の感想、政治に関する意見などを全員から聞き、意

見を交換した。傍聴体験は県議会を身近に感じる良い機会になったなどの感想が多かった。政治と金の悪いニュースばかりで、政治への不信をもつことが多く、やがて関心も低くなったという意見も多かった。大事なことが話し合われたり、決められたりしているので、もっとさまざまな方法で情報を発信していくことが大事だという意見もあった。



福田小4年生が県議会の議場見学

2016年05月28日



27日（金）、加東市立福田小学校の4年生が県庁、県議会の議場見学にやってくる。

10時過ぎ、小学生を本会議場で迎え、挨拶と県議会のしくみについて少し説明をした。本会議場では、広報担当職員が県議会のしくみや議場の設備などについて説明を行い、質問も受ける。議員席に座って、県会議員になった気分も。そのあと、議長席で記念写真を撮った。この見学を契機に兵庫県勉強に興味をもって進めてもらいたい。



民生・児童委員さんらが議場見学

2016年05月21日



20日（金）、今日は18日に続いて、地元加東市の民生・児童委員協議会の皆さんが県庁・議場見学に来られ、議場でご案内をした。2班に分かれ、滝野

地域、次に東条地域の順に見学が行われた。皆さんと議長席を囲んで記念撮影も行った。

午後2時から自民党の議員団総会が開かれ、6月議会で予定される議長、副議長、監査の議会役員選挙の候補者の選挙が行われた。議長候補に藤田孝夫議員（養父市選出・4期）、そして、副議長候補に私、藤本百男（加東市・3期）、監査委員候補に上田良介（美方郡選出・3期）が当選し、6月議会に臨むことになった。

県議会閉会 第124代副議長に就任

2016年06月11日



10日（金）、9時30分頃登庁。10時30分議員団総会。11時本会議が開かれ、上程議案について、委員会審査報告、討論、表決が行われ、可決。続いて、監査委員などの

人事案、請願、意見書案を可決した。

昼の休憩中に地元加東市からの傍聴団を出迎え、議場玄関で記念撮影。

午後1時本会議が再開され、議長辞職に伴い、議長選挙が、そして、副議長辞職に伴い副議長選挙が行われた。

その結果、新議長には藤田孝夫議員（養父市選挙区選出：自民4期）が当選し119代議長に就任。副議長には私、藤本百男（加東市選挙区選出：自民3期）が当選し、第124代副議長に就任した。副議長選の投票結果は、藤本45票、松田（公明）40票だった。

続いて、議会運営委員会、常任委員会、行財政構造改革調査特別委員会、関西広域連合議会議員、兵庫県競馬組合議会議員などの委員の選任、設置、選挙などが行われ閉会した。

閉会后、各会派、知事・副知事、新聞各社への挨拶回り、行革特別委員会、議運、各会派代表者会議、議会広報委員会などが開かれ出席した。そのあと、議会事務局職員への挨拶、石川前議長、上田前副議長への感謝状の伝達式に出席した。

ようやく副議長室に入り、今後のスケジュールなどを打ち合わせて、ようやく退庁。

濃密な一日だった。副議長としての第一日目。「日々進歩」をモットーに地に足をしっかりつけて歩んでいきたい。

就任あいさつ

お許しをいただきまして、一言ごあいさつ申し上げます。

ただいま議員各位の温かいご支持をいただき、栄えある兵庫県議会の第124代副議長にご選任いただき、誠にありがとうございます。ました。

私にとりまして、この上もない光栄であると同時に、その責任



の重大さを痛感し、身も心も引き締まる思いでございます。

議員各位のご厚情に対しまして、改めて心から厚く御礼申し上げます。

さて、県政を取り巻く諸情勢や県議会の果たすべき役割につきましては、先ほどの藤田議長のごあいさつにもありましたが、私としましては、二元代表制の一翼を担う本県議会の政策提言機能の充実・強化に努めるとともに、若い人への情報発信、そしてご高齢の方や障害のある方に配慮した情報発信に努めるなど親しみやすい開かれた運営に努め、県民の負託と信頼に応えてまいりたいと考えています。

とくに、地域創生元年の今年は、活力あふれる元気な兵庫づくりの実現に向けて力をもとより、微力ではありますが、議員各位の一層のご指導をいただきながら、経験豊かな藤田議長を全力で補佐し、歴代の先輩議員が築いてこられました歴史と伝統ある兵庫県議会の信頼を高め、県民福祉の向上と県勢の発展のため、全身全霊で取り組む決意であります。

また、井戸知事をはじめ当局の皆様、そして報道機関の皆様におかれましても、格別のご支援、ご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、先ほど職を辞されました石川前議長、上田前副議長には、そのご在任中、公正で円滑な議会運営だけでなく、議会の政策立案機能強化に大きな成果を挙げられるとともに、選挙期日と議員任期の「ずれ」の解消など諸課題の解決に向け全

力で取り組んでいただきました。そのご功績に対し、心から敬意と感謝を申し上げ、まことに簡単ではありますが、副議長就任に当たりましての私のごあいさつとさせていただきます。

上京、就任の挨拶回り

2016年06月16日



14、15日の両日、正副議長で就任の挨拶回りのために上京した。

14日（火）、神戸市議会の正副議長さんが就任のご挨拶に来られた。お互いに共通課題の解決に向けてこれから協力をしていくことなどを話し合った。

終了後、伊丹空港から空路東京へ。羽田到着後、兵庫県東京事務所、全国議長会事務局長を皮切りに、県選出衆議院議員事務所などを訪れ、就任の挨拶を行った。

15日（水）、早朝6時、あさの時間を利用して靖国神社に参拝。神社から宿舎への帰り道に細かい雨が降り始めた。

2日目は、県選出参議院議員事務所を回る。昼前には自民党本部へ。谷公一衆議院議員とともに谷垣幹事長を訪問した。午後は首相官邸に萩生田副官房長官を訪問し、続いて衆議院議長公邸に大島衆議院議長を訪ねた。夕方、羽田を発って伊丹へ。県



庁まで戻った。

15日は、舩添都知事が辞職を表明したというので、官邸や党本部にはメディア関係者の姿が多く見られ、参院選よりもこの件が報道を埋め尽くした。

選挙期日と議員任期の「ずれ」解消に向けて

2016年07月05日



4日(月)、午後3時30分には西宮市議会へ向かった。午後4時から、県議会と神戸市、西宮市、芦屋市の3市議会連絡会議が行われ出席した。選挙期日と議員任期の「ずれ」問題の解決に向けて、

昨年から重ねてきた協議の経緯等の確認と今後の進め方について協議を行った。

兵庫県地方議会協議会

2016年07月12日



11日(月)、午後、県庁で行われた28年度第1回兵庫県地方議会協議会に出席した。市議会議長会、町議会議長会、県議会正副議長と各会派政調会長が出席し、意見交換を行った。今

回はそれぞれテーマを設定し、その趣旨説明、意見交換を行った。

地域創生の取り組みについて、特に人口減への対策が話題になった。

兵庫県保健衛生大会、副議長室に絵を掛ける

2016年07月09日



8日（金）、加東市吉井の岸本さん宅へ。詩音さんの絵を副議長室に掲げるため、その絵を預かりにいった。祖母の尚美さんから絵と解説を預かり県庁に向かった。

絵は「縞馬とわたし」（30号）

と題された岸本詩音さんの自画像で、北はりま特別支援学校の高等部3年生の時の作。詩音さんの独特の自画像と大好きな縞馬が描かれている。

さっそく副議長室の壁に掛けてみた。絵を見た秘書課の職員は「存在感がある」「縞馬の瞳、視線を感じる」などと感想をもらしていた。副議長室に「眼」が入ったような感じだ。

午後1時、県公館へ。第60回兵庫県保健衛生大会に出席し、県議会を代表して祝辞を述べた。会場には加東市からも10数人の出席があり、そのうち2人の方が、知事感謝状と連合会会長表彰を受けられた。永年の保健推進員としての環境美化、保健衛生活動のご功績が認められたものだ。



全国都道府県議長会出席

2016年07月22日



19日、閉会中の農政環境常任委員会が行われた。耕作放棄田対策、山田錦生産について質問を行った。

午後、県選出国會議員を訪ね、議員任期のずれ解消についての取り組みの説明と協力要請を行った。

20日（水）、全国等道府県議長会に出席するため早朝、新神戸駅から新幹線で上京。

午前10時30分、都道府県会館で全国議長会農林水産環境委員会に出席、午後1時から同経済産業委員会に出席した。21日（木）、10時30分から昨日に続いて役員会に出席した。東京地方は朝から雨が降り、気温も低く、クーラーの必要もないぐらいだった。梅雨明けはまだ先のようだった。会議を終え、新幹線に飛び乗って帰神した。

ひょうご議友会の皆さんと歓談

2016年07月23日



22日（金）、10時登庁。
12時前に県公館へ。平成28年度 知事及び議長とひょうご議友会との意見交換会に出席した。
37人の議友会の先輩方と歓談。

皆さん健康法も実践されお元気でご活躍のご様子だった。

全国議長会・常任委管内調査

2016年07月29日



26日（火）から28日（木）まで、副議長公務で上京、そして農政環境常任委員会の管内調査で西播地区へと、会議と調査の3日間だった。

その間、神奈川県障害者福祉施設で殺人事件が起こり、27日には夏の高校野球兵庫大会で母校社高校が準決勝戦を戦った。

26日は早朝の出発。全国都道府県議長会の2つの会議（地すべりがけ崩れ対策、活動火山・大規模地震対策）に出席した。また、合間をぬって県選出国會議員を訪ね、要望活動を行った。

27日も引き続き、全国都道府県議長会の会議（太平洋新国土軸推進）に出席し、その後、国會議員への要望活動を行った。東京での公務を終え新幹線に乗ったのは午後5時前だった。そのまま姫路へと向かい、姫路泊。



28日、農政環境常任委員会の管内調査2日目に合流。家島の坊瀬漁協、家島漁協、いえしま自然体験センターを訪れ、意見交換や調査を行った。漁協関係者との意見交換では、魚価の低迷、



漁船リースの支援、後継者不足などの課題や組合の努力などの話題が出た。

母港社高校が準決勝で市立尼崎に健闘及ばず敗れた。甲子園まであと一步だったが、壁が立

ちはだかった。ここまでの健闘、善戦を讃えたい。

神奈川県の障害者福祉施設で殺人事件が起きた。深夜、施設に侵入し、入所している障害者を次々と刃物で殺傷した。犯人は元職員で、障害者の殺人を予告していたと報じられている。詳しい動機などはまだ明らかになっていないが、国内はもちろん、世界のニュースとなっている。衆議院議長公邸前でテレビ局がカメラ取材をしている場面に遭遇したが、あとで犯人が議長宛てに手紙を出していたことを知った。障害者福祉施設を訪れる機会は少なくない。身内が入所していたこともある。そうした施設で起きた今回の事件。悲しみ、怒りで、心が重く沈む。

農業改良普及事業－懇談と視察

2016年07月30日



29日（金）、加西農業改良普及センターへ。

11時から北播磨地域の選出県会議員と普及センターの懇談会が行われ出席した。

懇談会では、各部門の現状や

課題などが担当者から報告され、その後、懇談を行った。

午後、現場視察が行われ、加東市上久米の桃園、三田市沢谷のながしお農園を視察した。桃園では防蛾灯の設置効果や獣害対策、ながしの農園では大規模ないちご栽培施設での観光農園の取り組みなどを視察し説明を受けた。

兵庫県消防操法大会

2016年08月08日



7日（日）、今日も朝から猛烈な暑さの中、三木市にある兵庫県広域防災センターのグラウンドで第26回兵庫県消防操法大会が行われた。県下各地区大会を勝ち抜いてきた精鋭チームが出場し、小型ポンプ、ポンプ車の部で鍛え抜いた技を競った。開会式で県議会

を代表して挨拶をさせていだいた。国会、県会議員も多数出席し、選挙区のチームに盛んに声援をおくった。会場の各消防団の幟や旗にも気迫が込められていた。



第2回兵庫県地方議会協議会

2016年08月17日

16日（火）、事務所に寄ってから県庁へ。机上には決済文書



や書類が山積みになっていた。午前は議会事務局からの説明などを受ける。

午後1時30分、関西広域連合連携協議会が行われ出席。午後2時から第2回兵庫県地方議会協議

会が行われ出席した。会議では、前回に提起された、若者の地元定着や親子にやさしい兵庫、自立した地域づくりなどの課題について、県議会、市町議会から取り組みや提案などがなされ、意見交換を通して情報共有を行った。

「県議会リポート」の収録 県社協から政策提言

2016年08月18日



17日（水）午後、県庁でサンテレビで放送される「県議会リポート」の収録が行われた。これまで、4回正副常任委員長としてこのリポートに出演してきたが、今回は初回放送の冒頭部分で県議

会の紹介をすることになった。

インタビューは昨年から県立高校の高校生が行っている。今年は県立兵庫高校の放送委員会の鳴海天斗くん。副議長の出番（発言）は2回だが、やはり収録となると緊張してしまった。

※収録したインタビューは、9月3日（土）、午後5時45分からサンテレビで「県議会リポート」として放送された。事務

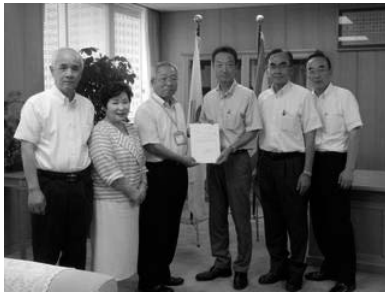
所でスタッフや関係者と視聴した。

この番組は、議会広報の一環として、そのしくみや活動を紹介するもので、第1回は県議会の正副議長、農政環境委員会の紹介が行われた。高校生の司会で、議長と一緒にインタビューに答えた。私は副議長の仕事、若者に関心を高めてもらいたいことなどを話したが、少し早口だったかなと思った。

午後2時30分、兵庫県社会福祉協議会の吉本会長から29年の政策提言を受けた。福祉人材の育成、確保、地域で支える体制づくりなどに加えて、相模原市の障害者施設で起きた事件に対する緊急提言もあった。

常任委員会 町村会要望 尖閣に迫る危機

2016年08月19日



18日(木)、10時30分から、農政環境常任委員会が開かれ、閉会中の継続調査事件として、環境に関する諸施策の調査を行った。私も再生エネルギー、環境学習について質問をした。太陽光発電は大きく伸びているが、新聞報道などには電力事業者の倒産なども起きていることや風力発電への注目が高まっていることもあり、県内における再生エネルギーの今後の予測、可能性を質した。また、加東市で開かれた「市民の集い」を例に、子供だけではなく、大人と共に環境を考え、意識改革を図っていくことが大切ではないかと指摘した。

午後2時20分、議長室で兵庫県町村会の戸田善規会長（多可町長）から県、国への要望を受けた。学校プールの改修や上下水道など老朽施設の改修への補助、パスポート交付を県民局でも行えるようなどについて意見交換を行った。

産経新聞朝刊の一面の「尖閣」「中国民兵100人」の見出しにどきとした。中国公船、漁船が尖閣海域に押し寄せ、領海侵犯を繰り返し、日本政府の嚴重な抗議に対しても「尖閣は中国の領土」と繰り返している中国だが、その漁船には中国政府の指示で民兵が乗り込んでいるという報道だった。以前から言われていることだが、まさに尖閣上陸を実行すべく着々と準備を進めていることがはっきりした。金メダル獲得ラッシュで沸く五輪報道だが、一方で国際ルールを無視して強引に領土拡大を進める中国の行動に目を光らせ、国民に警鐘を鳴らすこうした報道に我々もしっかりと目を向けていなければならない。

エメックス国際会議ーロシアで開催

2016年08月28日



第11回エメックス（世界閉鎖性海域環境保全会議）がロシアのサンクト・ペテルブルグ市で開催され、兵庫県議会訪問団の団長として私を含めて14名の議員で参加した。また、ロシア訪問では、サンクト・ペテルブルグ市の上下水道を担うヴォド・カナル社、日本センター、モスクワ市では日本文化センター、トリドール社を訪問し、日本文化の普及、企

業進出の現状と課題などを調査した。

兵庫県は極東のハバロフスクとの交流は長い歴史をもっているが、エメックスの会議がロシアで開催されるのは初めてのことで、ロシアのヨーロッパ部の都市を訪れるのも初めてだった。

主な行程は次の通り。

21日：関西国際空港発ーヘルシンキ着・発ーサンクト・ペテルブルグ着

22日：午前 サンクト・ペテルブルグ市上下水道公社ヴォド・カナル社調査

午後 サンクト・ペテルブルグ日本センター調査

夜 エメックスナイト出席

23日：午前、午後 エメックス会議参加
開会式、本会議、分科会

宿舎帰路、エルミタージュ美術館

見学、夜 金澤副知事との懇談会

24日：午前 サンクトペテルブルグ発ー
モスクワ着

午後 国際交流基金日本文化センター調査

Toridoll LLC 社調査

25日：モスクワ発ーヘルシンキ着・発ー関西空港へ

26日：関西空港着



サンクトペテルブルグ市はソ連時代のレニングラード。フィンランド湾に注ぐネバ河の河口に築かれた都で、ソ連第2の大都市



である。まさに閉鎖性海域の課題を抱える点でエメックス会議の開催地にふさわしいともいえる。

人口約550万の水を管理するヴォド・カナル社を訪れたのもそうした理由からである。サンクト・ペテルブルグ市、モスクワ市とも日本センター。日本文化センターを拠点とした日本文化の紹介、交流は盛んに行われており、ロシアの人々の関心も高いこともわかった。日本食のファストフード店であるトリドールは兵庫県加古川市を発祥とする企業である。世界展開を行っているが、ロシアにおける店舗展開では食文化のちがいをはじめ、スタッフや店舗の確保などでさまざまな課題に直面しながら工夫努力していることもわかった。今後の本県企業のロシア進出の参考になった。

県立の芸術文化施設を視察－文化振興議連

2016年08月31日



30日（火）、兵庫県議会文化振興議員連盟の県内芸術文化施設の視察が行われ、20名の議員が参加した。視察先は、県立考古博物館（播磨町）、県立歴史博物館（姫路市）、そして、世界文化

遺産の姫路城の3ヶ所。昼食は、稲美町のJ A兵庫南直売所「にじいろふぁーみん」だった。

考古博物館では、企画展「夏休みこども博物館」はじめ、館内の体験コーナーなどを見学し、体験を中心とした展示を視察。多くのボランティアに支えられ、充実が図られていた。好天で風もあり、展望台からの360度の眺望は素晴らしかった。

歴史博物館では、特別展「立体妖怪図鑑」の展示に惹き付けられた。ゴジラなどの怪獣も日本の妖怪の歴史の流れの中に置いて見直してみると納得できた。また、城郭展示についても詳しい説明を受けた。

姫路城は平成の大修理でさらに多くの集客があり、今日も外国人が目立った。天守閣に立つと心地よい風が吹き抜け、四方の景色が素晴らしかった。現在も工事が進められており、東小天守などの現場も視察し、漆喰の塗り替えや維持などについて専門家から説明を受けた。

天気にも恵まれ、充実した視察を行うことができた。また、県下最古のため池、天満大池に面した「にじいろふぁーみん」のレストランも充実した内容で、昼間は多くの家族連れで賑わっていた。

淡路夢舞台で近畿2府8県議会議長会議

2016年09月01日



8月31日（水）、県立淡路夢舞台国際会議場で、近畿2府8県議会議長会議が行われた。

出席者は、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、滋賀県、三重県、福井県、徳島県、鳥取県、

そして開催地の兵庫県の正副議長と全国都道府県議会議長会事務総長。会議は藤田兵庫県議会議長の挨拶、井戸知事の挨拶、議案審議、意見交換が行われた。

テーマは「国民一人ひとりが活躍できる社会の実現」で、保育士等の処遇改善はじめ、各議会から提出された議案のうち、関係のあるものについて説明や意見が出され、提出された17の議案は原案の通り議決された。今後、議長会議の議決として関係機関に要望を行う。

全国議長会からの報告が行われたのち、夢舞台の藤井社長から施設の説明が行われた。会議終了後、全員が展望台へ移動し、「百段園」や「奇跡の星の植物館」などを見学。天気もよく、展望台からは青い空と海を背景に施設全景を見渡すことができた。

その後、ウェスティンホテルで懇談会が行われ、金澤副知事が歓迎の挨拶を行い、懇親が図られた。次回開催地は和歌山県の予定。



道路愛護感謝状

2016年09月02日



9月1日（木）、午前、県社総合庁舎へ。加東土木事務所で加古川中流河川整備推進協議会の報告を受ける。続いて、道路愛護の大臣、県民局感謝状の

贈呈式に出席し、祝辞を述べた。

今回感謝状を受賞した団体は、国土交通大臣感謝状が「加東市花と緑の協会東条支部」、県民局感謝状が多可町中区森本自治会、西脇市高田井町つばみの会の3団体。

東条支部では、県道西脇三田線、県道社厚利線の約1500メートルの区間の道路の花壇、草引きなどを24年間にわたって行ってきており、その功績が認められたもの。代表の中埜さんは、雑草引きや水やりの苦勞などを語っておられた。

副知事、市町長会長らと地方分権推進を提言

2016年09月07日



6日（火）、日帰りで上京し、兵庫県地方分権推進自治体代表者会議の地方分権の推進についての提言を政府や自民党の関係に行った。

要請活動を行ったのは金澤和夫副知事、蓬莱務県市長会長（小野市長）、戸田善規県町村会長（多可町長）、杉本充章町議会議長会副会長（稲美町議会議長）の4名。谷公一衆議院議員とともに、地方創生の取り組み推進、地方税財政の充実・強化、地方分権改革の推進など17の項目について兵庫県からの提言を行った。

訪れたのは、富樫博之総務大臣政務官、林幹雄自民党幹事長代行、新藤義孝自民党政調会長代理、松本洋平内閣府大臣。私は議会を代表して、選挙期日と議員任期のずれの解消について、特例

法制定の地元総意を伝え提言を行った。

農政環境常任委管内調査 国際フロンティアメッセ

2016年09月09日



7, 8日の2日間、農政環境常任委員会の管内調査で東播・淡路地区を訪れた。

また、8日（木）の午前は、委員会調査を一時離脱して、副議長として神戸国際展示場で開催され

た国際フロンティア産業メッセ2016の開会式、兵庫県COEプログラム推進事業研究プロジェクト認定式に出席した。

午後、淡路で委員会調査に合流し、夜は県立フラワーセンター（加西市）で行われた北播政経懇話会の例会に出席という充実した日程だった。

管内調査先、副議長公務は次の通り。

7日：北播磨県民局（加東農林侵攻事務所、県民交流室）、農事組合法人「きすみの営農」（小野市）、東播磨県民局（加古川農林水産振興事務所、地域振興室）、にじいろふぁーみん（稲美町）

8日：宿所から国際フロンティア産業メッセへ。開会式、COE認定式、淡路家畜保健衛生所（南あわじ市）、福良漁業共同組合（南あわじ市）

調査を終えて、JR神戸駅から加古川駅、そして車で加西市へ向かった。北播政経懇ではゲスト講師の井戸知事の講演と懇親会

が行われた。

常任委員会調査では、きすみの営農で女性の活躍、福良漁港では3年とらふぐ、サーモンの養殖、淡路家畜保健衛生所では家畜などの検査場などを調査することができた。



また、産業メッセでは加東市の知人が出展しているブースを覗くこともできた。行程では幸い雨に遭わなかったが、各地で集中豪雨となり被害も出ている。台風シーズンはまだまだ続く。

G 7 保健大臣会合レセプション 加東市社協10周年記念大会

2016年09月12日



11日（日）、G 7 保健大臣会合の歓迎レセプションが神戸市の県庁近くの相楽園会館で開かれ出席した。

レセプションには塩崎厚労相、井戸兵庫県知事、久元神戸市長、大橋神戸商工会議所会頭をはじめ、県選出国會議員、県議会正副議長や健康福祉常任委員会の正副委員長、各会派代表、神戸市議會議員、県市病院関係者らが出席した。

各国代表が席につきレセプションが開会。井戸知事が挨拶と兵庫県の紹介を行い、続いて塩崎大臣が挨拶を述べた。そのあと、

大橋会頭の音頭で日本酒で乾杯。出席者は兵庫の食材でつくられた料理を楽しみながら挨拶をしたり歓談した。

午後からはポートアイランドで会議が行われる。神戸市内は空にはヘリコプター、道路の要所にはパトカーや警官が配置され、厳重な警戒が行われていた。

午後1時30分、加東市滝野文化会館で「加東市社会福祉協議会10周年記念福祉大会」が行われ出席した。大会では、オープニングで社高校JRC部の女子生徒らが手話で歌を表現し、手話言語条例のまちをアピールした。

10年の歩みを振り返る記録映像を見たあと、善行表彰・社会福祉功労表彰が行われた。続いて、記念講演が行われ、漫才師の島田洋七さんが「がばいばあちゃんが教えてくれたことー洋七流、無縁社会の生き方」と題して、自身の人生を振り返りながら、がばいばあちゃんと暮らした年月のエピソードを紹介しながらこれまで貫いてきた自分流の生き方を語った。笑いの連続で籠がはずれ、涙が出っ放しだった。しかし、その内容は肩肘張らず、ありのままの自分をさらけ出し、失敗も恥もユーモアに変えて生きてゆく洋七さんの逞しくしたたかな生き方であり、聞く者は笑いと元気をもらったように思った。

秋篠宮同妃両殿下をお迎えし

「敬老の日」制定50周年式典

2016年09月16日

15日（木）、「敬老の日」制定50周年記念式典が、発祥のまち多可町のベルディホールで行われる。

道中、西脇市と多可町の境
附近で、秋篠宮同妃両殿下の
奉迎のために横幕と日の丸の
小旗を持った日本会議北播磨
支部や地元有志の皆さんの姿
があり、一緒に奉迎することにし、皆さんと
一緒にお通りを待った。



やがて、両殿下の車列が見えた。スピード
を落とし、窓を開けて、両殿下が奉迎の列に
向かってお手を振って下さった。あっとい
う間のことだったが、皆、感動の一瞬だった。



多可町内でも各所に多くの人が日の丸の小旗で両殿下をお迎えし
た。

式典は午後1時開式。井戸知事の先導で両殿下が式場にお出ま
しになると出席者は大きな拍手でお迎えした。

井戸知事、戸田多可町長の挨拶のあと、秋篠宮殿下が「敬老の
精神を次の世代へ」とお言葉を述べられた。続いて、来賓を代表し、
加藤内閣府特命大臣、古屋厚生労働副大臣が祝辞を述べた。この
あと、地元中町中学校の女子生徒らが敬老のうた「きっとありが



とう」を斉唱。続いて、八千
代小学校の6年生の女子児童
が「おばあちゃんへの感謝の
手紙」を朗読した。

第2部では、「敬老文化の
まち」宣言が戸田多可町長に

よって行われた。続いて、養老孟司氏による記念講演が行われた。専門の解剖学を通して、老いや死、個性、生き方といったことについてユーモアを交えながら話された。最後は出席者全員で「きっとありがとう健康体操」で心身を伸ばして閉会した。

農政環境常任委員会

若手農林水産業者との意見交換会

2016年09月17日



16日（金）、10時30分、閉会中の農政環境常任委員会が開かれ、兵庫県みどり公社の経営状況等についての調査、9月定例議会に提出予定議案等の報告、閉会中の継続調査事件として、「自然環境の保全と再生について」と「野生鳥獣の保護管理の推進について」の調査を行った。質疑では、ツキノワグマ、イノシシ、アライグマの被害、駆除などについて委員から質問が出された。クマは目撃例が増えており、他県では襲われるなどの人的被害もでている。同僚議員からは北播磨でも目撃されており、対策の必要性がある。私からはイノシシによる農業被害が大きいこと、有効な対策などについて質問した。

午後、自民党県議団の行革委員会報告、議会運営委員会、自民党県議団総会と会議が続いた。午後3時半からは、自民党県議団政調会長室が主催する「若手の農林水産業者との意見交換会」が開かれ、県内の農林水産業で活躍する6人の若手の方からの発

表と意見交換が行われた。農業生産法人、トマト生産農園、農事組合法人の女性、林業会社、酪農乳業会社、漁協組合長の方々と、それぞれ、取り組みと課題について発表を聞かせていただいた。農林水産業を取り巻くきびしい状況をチャンスと捉え、経営感覚、先進的手法を武器に積極的に事業を展開している皆さんの意気込みが伝わってきた。出された課題に県政にどう対応し反映していくか、質疑も活発に行われた。次回は商工業関係が予定されている。

台風通過で大雨

2016年09月21日



20日(火)、今日は一日事務所。台風16号が近畿に接近し、午前から午後にかけて風雨とも激しくなった。台風が通過した宮崎県などで大雨のために大きな被害が出ている。延岡市では市街が冠水し

ているようすがテレビに映し出されていた。

加東市では、午前9時過ぎに避難準備が発令された。加東市のケーブルテレビで加古川に設置された監視カメラの画面を見る。

すぐ上流の西脇市板波の水位ポイントが基準になる。加東市に入って、上滝野の闘流灘、窪田の千鳥川との合流点、河高の油谷川との合流点、上田の樋門、大門橋での水位の状況を見ながら増水の様子を見る。インターネットでも県の河川監視カメラを通して東条川の状況を知ることができる。

午後3時には雨のピークも過ぎたが、水位はその後も上がり続け、闘流灘の岩が完全に見えなくなっていた。

車で現地へ。まず、吉馬川との合流点、次に闘流橋の東詰の畳屋さんの辺りを見る。ちょうど橋の上から川を見ている畳屋さんの姿があった。「ぎりぎりセーフや」の声にほっとするも、すでに水位は畑に迫っていた。午後5時過ぎのことだったが、雨も完全に上がり西の山の端から日も射していた。

加古川の河川改修を一日も早く実現すること。記録的な大雨が続く近年の状況では無堤地区はいつ被害が出てもおかしくない。被害が出てからでは遅い。

兵庫県高齢者の集い

2016年09月22日



21日（水）、台風は過ぎ去ったものの今朝もどんより曇っていた。登校見守りに立ち、事務所に寄ってから県庁へ。

今日は、午後から県公館で「兵庫県高齢者の集い」が行われた。

90歳以上で現在もお元気で活躍されている方々への特別表彰、長年老人クラブの活動を続けてこられた方々への表彰などが行われ、式典では県議会を代表して挨拶を述べさせていただいた。

加東市からも市老連の役員さん等が出席されており、休憩時間に会場で記念写真撮影。サークル活動の発表を見学した。

兵庫県食品衛生大会

2016年09月28日



27日（火）、午後2時30分、県公館で第25回兵庫県食品衛生大会が行われ、浜田知昭健康福祉常任委員長はじめ委員の議員とともに出席し、議会を代表してお祝いを申し上げた。大会

では食の安全安心を守る活動に貢献のあった方々に知事表彰、協会表彰などが贈られた。

県議会本会議一般質問（1日目）

2016年09月30日



29日（木）、朝から激しい雨が降り、加東市には大雨警報が発令された。

9時過ぎには登庁。10時本会議が開く。今日から一般質問が始まった。トップバッターは自民党の五島壮一郎議員

（1期：姫路市選挙区）。県政150周年事業として「県民の日」制定の提案をはじめ、多子型社会の推進、中小企業の労働生産性向上に向けた支援など5項目6問について質した。続いて天野議員（公明）が小中一貫教育の推進などについて質問した。

休憩ののち、午後1時、再開後は副議長が議長席にすわり会議

を進めた。副議長として初めて本会議の議事を進行した。議場見学等の機会以外に議長席から本会議場を臨むのはもちろん初めてのことだった。

午後の1番は自民党の山口晋平議員（2期：たつの市及び揖保郡選挙区）。待機児童の解消について、18歳選挙権を契機とした家庭・地域の学びの場の提供など6項目について質した。続いて、前田議員（ひょうご県民連合）が質問。初めての議長席での議事を無事進行することができた。

休憩ののち再開。ここから再び藤田議長が議長席に。本日最後に登壇したのは自民党の安福英則議員（2期：朝来市選挙区）。県下市町の保育料の実態について、近畿圏の高速道路料金体系についてなど6項目について質した。

散会后、文化振興議員連盟と各文化団体代表との意見交換会に出席した。12月4日には加東市で川柳大会が開催される予定だ。

また、来年1月に開催予定の議会広報についてのパネルディスカッションについて兵庫県町議会議長会事務局、兵庫ジャーナル社が来訪された。



夕方には、議長室で兵庫県商工会議所連合会の要望を受けた。経済発展の基盤となる道路整備、人口減少下での中小企業の経営支援など県、国への諸要望について懇談をした。

本会議（一般質問） 決算特別委員会設置

2016年10月04日

3日（月）、何となく蒸し暑い朝だった。8時30分には登庁しておらねばならず、7時過ぎには家を出る。すでに雨が落ち始めていた。

登庁後、議事課から説明を受ける。9時、議会運営委員会。9時30分自民党議員団総会。そして、10時本会議が始まった。

一般質問3日目、1番手は自民党の福島茂利議員（1期：神戸市兵庫区選挙区）。「ものづくり企業の活性化」、「商店街の活性化」など4項目7問について質した。続いて、維新の徳安議員が質問した。昼の休憩時に議員団総会。午後再開。今日も再開後の2人の質問を議長席で進行した。

自民党の吉岡政和議員（2期：西宮市選挙区）が登壇し、「次世代を担う若い世代に対する地域創生について」、地域創生教育の推進、男女混合名簿についてなど5項目6問について質した。つづいて、日本共産党のきた議員が質問し、最後に自民党の釜谷研造議員（7期：加古川市選挙区）が登壇し、「兵庫の地域創生への挑戦について」、「ふるさと兵庫の未来像について」など、人口減少にあって兵庫の未来をどう築いていくかを井戸知事に質した。2060年には128歳になる、という釜谷議員。兵庫のもてるポテンシャルを強調しつつ、最高齢議員ながら意気軒昂な質疑質問を展開した。

このあと、決算特別委員会が設置され、21人の委員が選任された。続き、議案、請願が各常任委員会に付託され、散会した。

引き続き、決算特別委員会が開かれ、自民党の高橋信吾議員が

委員長に、公明の谷井議員が副委員長に選出された。

その後、今日3回目の自民党議員団総会が行われた。明日は本会議は休会され、常任委員会が開かれる。

夕方には雨も上がった。しかし、台風18号が沖縄地方を北上しており、15日には近畿地方に接近する。

夜、ノーベル賞に日本人の大隅教授が決まったとのニュースが流れた。嬉しいニュースだ。

本会議で補正予算などを可決

2016年10月07日

6日(木)、台風も予想されたほどの雨風もなく、一夜が過ぎた。朝、登校見守りに立つ。

今日は妻と一緒に登庁。妻は10時から県民会館で開催された「全国手工芸コンクール in ひょうご作品展」(6日～9日、県民会館2F)に副知事夫人らとともに副議長夫人として出席した。

私は10時から議会運営委員会、10時30分から自民党議員団総会、11時から本会議に出席した。本会議では補正予算案、条例案などが賛成多数で可決された。続いて知事から新たに提出された教育委員の同意人事案が可決された。明日から決算委員会の審議が始まる。

昼に県庁近くの会場で看護を支援する議員の会と看護連盟との意見交換会に、続いて、午後2時から議会運営委員会に出席した。議会改革(議員提案条例、本会議、政務活動費などの改革案)について各会派からの意見が開陳された。今後も継続して協議を行っていくことになっている。

日本スポーツマスターズ1年前イベント

2016年10月11日



10日（月）、祭り明けの朝はぐっと冷えた。体育の日、この日は「晴れる」。東京オリンピックの赤と白のユニフォームの日本選手団の入場を学校の校長室のカラーテレビで視たのは小学

5年生だった。

午前中は稲刈り。午後、三木市志染町にある県立三木総合防災公園の屋内テニス場「ブルボンビーンズドーム」で行われる「日本スポーツマスターズ2017兵庫大会」の1年前イベント記念式典に出席した。

オープニングでは、リトルエンジェルバトンチームのバトンダンスが披露された。実行委員会の会長である井戸知事の挨拶、来賓が行われた。このあと、ゲストの衣笠祥雄さん（広島東洋カープ、鉄人）のトークショー。会場には野球少年達も来ており、自身の野球との出会いや野球を通して身に付けた生き方などを語った。今もエネルギッシュな衣笠さんだった。続いてくす玉開花、県下各種目開催市（10市）のマスコットキャラクターが登場し、のぼり旗が贈られた。最後に競技者代表として、サッカー代表選手が力強く決意表明を行った。大会は、来年9月15日（金）から19日（火）の期間に開催される。

今日は兵庫県ソフトボール協会の会長、県議会副議長としての出席だった。北播磨では三木市（ゴルフ、テニス、サッカー）、

加西市（軟式野球）が開催市になっている。

パラオ共和国から研修に

2016年10月12日



11日（火）、今朝も寒いほどだった。午前中は市内で用事を済ませたり、事務所で整理をする。昼過ぎに登庁し、副議長室で執務しながら決算特別委員会の企画県民部の質疑をテレビ中継で

見た。自民党の釜谷、奥谷議員らが地域創生や防災などについて質問を行っていた。

午後3時、議長室でパラオ共和国からガラス廃棄物処理、再生加工などの技術を学ぶために来日した研修生の訪問があった。島嶼国家のパラオでは廃棄ペットボトルを処理して油化し、これを燃やして電力をつくりガラス工芸品づくりを行おうというプロジェクトを進めている。藤田議長はまさに小さなパラオのような島で資源エネルギーの循環ができるようになることが大事なことで、再生ガラスがパラオの工芸品になることは素晴らしいとエールを贈っていた。

ストップ・ザ・無縁社会―県社福大会

2016年10月16日

15日（土）、今日は9時20分から、加東市立社小学校講堂（体育館）で社地域づくり協議会が主催する「長寿を祝う会」が開かれ、

75歳以上の長寿の皆さん約300人が出席した。社小児童の太鼓や保育園児の歌とダンス、爆笑ものまねショーなどで楽しい時間を過ごした。

10時には、加東市上滝野の滝野体育センターで行われ



た北播磨こども発達支援センター「わかあゆ園」の運動会に出席した。親子で入場、体操をしたあと、かけっこを行った。家族の応援の声や拍手を受けてがんばる子供達に声援を送った。

11時前に加東市山国の兵庫教育大学附属幼稚園へ。秋晴れの下、運動会が行われた。ちょうど親子運動遊びの最中だった。親と園児が組になって笑顔で体を動かしていた。4歳児、5歳児のリレーは迫力があつた。バトンパスも見事にきまっていた。

12時30分過ぎ、小野市民会館へ。第65回兵庫県社会福祉大会が行われ出席した。会場には県下各地から約1000名の関係者が出席し、功績のあつた個人、団体に対して知事、社会福祉協議会長の表彰が行われた。式では来賓を代表して祝辞を述べさせていただいた。第Ⅱ部ではダニエル・カールさん（タレント）が「人と人との繋がり」と題した講演を行った。山形弁をしゃべるアメリカ人のダニエルさんは、東日本大震災から立ち直る東北への支援への感謝と引き続きの支援を呼びかけたあと、日米の言葉、文化の違いを例に自身の体験をもとにしながら、コミュニケーションの大切さを話された。それにしても日本語がお上手なのにはあらためて驚いた。世界最高の単語「あれ」の話はおもしろ

かった。

母子寡婦福祉大会・はたらく車大集合

2016年10月17日



16日(日)、空はよく晴れ、田圃では稲刈りが最盛期を迎えていた。豊かな秋の風景を見ながら東条湖おもちゃ王国へ。昨日からおもちゃ王国の駐車場で日本最大級の「はたらくくるま

大集合 in かつう」が開催されている。

このイベントは震災復興支援チャリティーイベントとして開催されてきたもので今年で15回目。今年も会場にはさまざまな「働く車」が並び、体験試乗、記念撮影などが行われていた。昨日は好天にも恵まれ約1万2千人が詰めかけた。

今日も午前中から多くの家族連れで賑わい、本物の自衛隊や警察車両にも制服姿で乗れるとあって長い行列が出来ていた。県立人と自然の博物館の移動展示車では恐竜の骨格標本が人気を呼んでいた。昨日は神戸市立博物館も出演したとのことだった。

12時前には加東市上三草のやしろ国際学習塾へ。LOCホールで平成28年度兵庫県母子・寡婦福祉大会が開催され出席した。県下各地から約600名の参加者があり、感謝状の表彰、体験発表、大会宣言の決議などが行われた。式典では来賓として県議会を代表して祝辞を述べた。体験談は2人とも加東市の婦人共励会の若い会員で母子家庭となってからの子育て、仕事の自立などの

体験談に会場からは共感の大きな拍手がおくられた。

金澤知事は昨日は小野市、今日は加東市と2日続きで北播磨で行われた県関係の大会への出席だった。天気もよく、山田錦をはじめ北播磨路の秋の風景を満喫されたのではないかと思います。

地域安全兵庫県民大会

2016年10月20日



19日(水)、ウォーキングの途中、道路に捨てられたたばこの吸い殻の掃除をしている知り合いに出会った。吸い殻の散らばり具合から、車からまとめて捨てたのではないかと、思われ

る感じだった。

最近は余り見かけなくなったが、車の窓から火のついた吸い殻を捨てる人もいる。信号のある交差点付近の植え込みには空き缶や弁当がらが捨てられているのを今も見かける。自分の車の中はきれいに保つが外へはごみを平気で捨てる、という自分だけのことしか考えていない行為。これに対して、ほうきとちり取りを持ってきて掃除をする人もいる。どちらも誰も見ていないなかの行いが、「お天道様みてござる」である。

11時15分から兵庫県人事委員会から勧告の説明を受けた。3年連続の引き上げの勧告は四半世紀ぶりとのことだった。

午後1時教育委員会から来年度県立高校の学級数について説明を受けた。生徒数の減少により小規模学校がこれからも増えてい

く。

1時30分、県公館で行われた28年度地域安全兵庫県民大会に出席し祝辞を述べた。県下各地の防犯協会、ボランティアの皆さんが出席し、表彰や防犯講話が行われた。地域では防犯パトロールや通学時の見守り活動などでその姿をよく見かける。犯罪を抑止する力は警察への信頼と地域住民の犯罪を許さないという意識、その基盤となる地域の絆や何でも気軽に相談できる関係づくりだ。安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて大会宣言が採択された。

決算委員会中に大きな揺れ 県の対応素早く

2016年10月22日

21日(金)、今朝もいつものコースを歩く。棒振り、ラジオ体操、登校見守りもいつも通り。

9時過ぎには登庁。10時から決算特別委員会を傍聴。今日は総括審査が行われた。自民、公明、民進、維新の4会派の代表が総括質問に立った。午後の2時過ぎ、維新の小西委員が質問を始め、井戸知事が答弁を始めたその時、緊急地震予報が鳴り、数秒後、ぐらぐらと大きな揺れがきた。昼の休憩時に鳥取県で震度4の地震が起きたことをテレビのニュースで知っていたが、その鳥取県で震度6弱の地震が起きた。対応のために30分休会。再開後も小さな揺れを感じた。県庁3号館の7階の大会議室だったことも大きな揺れの原因だったかもしれない。井戸知事からは、午後3時には先遣隊がブルーシート1000枚を持って鳥取県へ向かったこと、太田県警本部長からもヘリコプター、レスキュー隊

が鳥取県に向かっているとの報告がなされた。隣県鳥取の地震発生への素早い対応だった。

兵庫県内では豊岡、姫路、淡路などで震度4の揺れだった。鳥取は地震が少ないところと思っていた。その鳥取で地震が起きた、と思いながら昼のニュースを見ていた。あらためて地震はいつ、どこで起きてもおかしくないんだということを思い知らされた。兵庫県に関係する山崎断層地震や南海トラフの大地震も同じ。備えはできているか、再点検が必要だ。

21日といえば、南あわじ市大見山の若人の広場で行われる全国戦没学徒追悼祭に参列するのが常だったが、今年は参列できなかった。別な機会に訪れ祈りを捧げたい。

近畿肢体不自由児者福祉大会が神戸で

2016年10月23日



22日（土）、神戸市勤労会館で第51回近畿肢体不自由児者福祉大会が行われ、開会行事に出席し県議会を代表して祝辞を述べた。

今回は兵庫県での開催となり、近畿2府4県から父母の会や関係者が出席し、「誰もが普通に暮らせる共生社会の実現」をテーマに講演や分科会などが行われた。

鳥取県では余震が続いている。報道では、これまで知られていない断層が動いたようだ。テレビでブルーシートの配布が行われている被災地のようすが報じられていたが、昨日いち早くシート

を持って駆けつけた兵庫県のシートも役だっているはず。過去の事例では同程度の揺れが起きることなので警戒が必要だ。

全国都道府県議長会に出席ー茨城県水戸市で

2016年10月26日



25日(火)、今日は茨城県水戸市で開催された第155回全国都道府県議会議長会定例総会に出席した。総会では、地方税財源の充実確保に関する決議など5つの決議、29年度政府予

算編成に関する提言などを可決した。写真は総会とその前に行われた役員会のもの。

総会后、記念講演が行われ、「革新的サイバニックスシステムによる社会変革・未来開拓への取り組みー重介護ゼロ社会への挑戦」の演題で、筑波大学大学院教授の山海嘉之氏が講演した。サイボーグ型ロボットHALの開発で知られる山海氏はロボットと人間の共働社会をめざし、つくば市にサイバー特区づくりを進めていることなどを紹介した。国際標準規格づくりのために自ら委員となるなどロボットの開発を実際の治療まで活かすための苦労も話された。

明日は県議会の本会議が開かれるため日帰りだった。

県議会閉会、政調懇話会・市町正副議長研修会

2016年10月27日



26日（水）、昨日は茨城県から最終便で神戸に戻り神戸市内泊。早朝に登庁し、副議長室で仕事。

一日の日程は過密だった。

8：30に議会事務局のレク。9：30各会派代表者

会議。10：00議会運営委員会。10：30自民党県議団総会。11：00本会議。12：15記者クラブとの意見交換会。13：00市町正副議長研修会（メリケンパークオリエンタルホテル）。13：40兵庫県議会政調懇話会。15：00自民党県議団の障害者福祉研究会の総会、続いて、議連の研修会。終了したのは午後4時30分を回っていた。実は昼食の時間が取れずオリエンタルホテルへの移動の車の中でお握りを一個食べたのみだった。

第333回定例県議会が閉会した。9月23日開会、34日間の会期だった。28年度補正予算約514億円、条例可決、27年度決算認定、北朝鮮のミサイル発射核実験への抗議決議、請願4件、意見書10件を可決した。21日の決算特別委員会中には鳥取中部の地震が発生した。また、今議会では、副議長として一般質問日の午後、議長席で議事を進行した。

今日の兵庫県議会政調懇話会は、経済産業省の井上博雄産業再生課長を講師に招き、「IoT、AI等の発展に伴う30～40

年先の日本の将来像」をテーマに講演いただいた。7月の全国都道府県議長会の経済産業委員会で同氏のお話を聴く機会があり、藤田議長の懇話会の趣旨に合うテーマとの意向で実現した。同氏は経産省で第4次産業革命を担当されており、演題にある社会変革の姿を日本と世界の動向を豊富な実例で示しながら話された。講演後、銀からの質問も活発で関心の高さを感じた。今後の政策立案に活かしていきたい。

市町正副議長研修会では来賓として祝辞を述べた。今日はスポーツ・音楽評論家の玉木正之氏の東京オリンピックに向けての講演だった。例年、県議会からも出席議員もあるが、今年は政調懇話会と重なり、副議長が代表して挨拶をした。(写真)

今日は蒸し暑い一日だった。窓を開けると車、工事の音が騒がしく、閉めると蒸し暑い。去年は10月いっぱいクールビズだった。もう期限を決めて服装を変えるのではなく、気温や体調、時と場所を自ら考慮した服装を選択するようにした方がよい。

自民党県議団専門調査会、商工会連合会との意見交換会

2016年10月28日



27日(木)、9時過ぎに登庁。今日は兵庫教育大学大学院の同窓会幹部の皆さんと学長さんが来庁され、一緒に井戸知事、高井教育長を訪問した。兵庫教育大学は教員養成、現職教

員の研修のために創設された大学院大学で、もうすぐ40周年を

迎える。毎年多くの現職教員が大学院に入学し、教育実践の腕を磨き直して、その数約1万人に達するとのことだった。私も同大学の附属中学校に勤務していた22年のうち、2年間大学院で研究させていただいた。

今日は閉会中の常任委員会が開かれており、産業労働常任委員会の様子を庁内テレビ中継で視聴する。その間、人事課、病院局から報告を受けた。昨日とは違って窓を開けると心地よい風が吹き抜けていく。副議長室で執務。

午後2時、自民党県議団専門調査会が行われ、元防衛相で拓殖大学総量の森本敏氏を講師に招き、「在日米軍」について、の演題で講演を聴いた。在日米軍の駐留経費についてその内容、他国との比較などを通して解説された。質疑では基地移転問題、日口関係などの議員からの質問にも詳しく応答された。

午後4時、市内で県商工会連合会と自民党商工議連との意見交換会に出席した。中小企業振興条例にもとづく事業評価の報告、商工会からの要望について、意見交換を行った。

朝、三笠宮崇仁親王殿下が薨去された。百歳というご長寿だった。古代オリエント史のご研究をしておられた。そのご本『帝王と墓と民衆—オリエントのあけぼの—』（光文社カッパブックス、昭和31年刊、150円）がある。戦後生まれの私には歴史学者としての三笠宮さまという印象が強かった。

農政環境常任委員会

2016年10月29日

28日（金）、今朝も登校見守りに立ち、県庁へ向かった。

10時30分から閉会中の農政環境常任委員会が開かれた。まず、「丹波ささやま農業協同組合における牛肉の不適正表示に対する措置について」の報告があった。JA丹波ささやま味土里館（篠山市）で、兵庫県篠山市産、または丹波篠山牛と表示して、そうではない牛肉を平成19年からこれまで約9.6トン販売したとして、食品表示法に基づく措置をとったというものだった。組合の食品表示制度に関する認識の欠如が主たる原因とされたが、不足する部位の肉を他の肉で補って販売したもので、故意といわれても仕方がない。

原産地の表示においては、一番長く飼養された国や県、市町村名を表示することになっている。篠山市産と表示しながら、篠山市外で最長飼養された牛の肉が篠山市産として表示されていたというもの。委員からは原因、措置、監督責任などについて質問が相次いだ。

このあと、閉会中の継続調査事件として、「農業生産基盤と農村環境の整備・保全」と「畜産の振興」について調査が行われた。私からは、ため池整備の調査・改修工事の進捗、東条川疏水ネットワーク博物館の推進、田んぼダムの効果について質問した。大豊議員も田んぼダムの取り組みをさらに積極的に進めるべきとの質問がなされた。

ところで、横浜で通学途中の小学生の列に事故車がつっこみ、1年生の男子が死亡するという事故が起きた。またしても・・・という残念な思いだ。通学の安全を守るためには、まず、安全な通学路を設定することが必要だ。できるだけ車が通らない道を通学路としたり、通学時間に通交規制をかけたりすることが行われ

ているが、見守りに立っているとそれでも乗り入れる車を見ることがある。このような事故で子供の命が奪われることを繰り返してはならない。

農政環境常任委員会の管外調査〈新潟、富山県〉

2016年11月03日



10月31日（月）から11月2日（水）の3日間、県議会農政環境常任委員会の管外調査で新潟県と富山県を訪れた。調査先と目的は以下の通り。



10月31日：株式会社「欧州ぶどう栽培研究所」（新潟市）《農業と観光の連携について》、新潟県議会（新潟市）《①田んぼダム、②新資源管理制度、③6次産業化、の取組について》

11月1日：トキの森公園（佐渡市）《生物多様性の保全について》、株式会社「佐渡相田ライスファーマーミング（佐渡市）《自然との共生をめざす米作り－朱鷺と暮らす郷認証米生産者》、佐渡市議会（佐渡市）《世界農業遺産、朱鷺と暮らす郷認証米制度、地産地消推進の取組について》

11月2日：くろべ漁業協働組合（富山県黒部市）《魚の消費拡大、6次産業化の取組について》

新潟市の海岸部、砂地の広大な畑にヨーロッパのようなブドウ畑が広がっていた。ワイン製造、レストラン、温泉施設があり、



県内外が訪れる人が多い。トキの森公園に向かう途中、数羽の野生のトキが田圃の上を舞う姿を見ることができた。公園でははるばる兵庫県但馬地方から訪れた団体に出会った。ゲージの中のトキ

をカラス越しだが間近に観察することもできた。その朱鷺の郷で米作りを展開する相田さん一家の取組みに感銘を受けた。佐渡市の世界農業遺産登録への取組みも大いに参考になった。くろべ漁協では、今年度の委員会特定テーマの漁業の活性化に参考となる、漁協による「魚の駅」の経営の取組を調査することができた。

憲法公布70年に思う

2016年11月04日



3日(木)は「文化の日」。「明治節」である。休日の歴史的由来を伝えるためには「明治の日」と改める方がよいと思う。朝、玄関に国旗を掲げて祝う。

11月3日といえば、文化勲章のニュースが定番。しかし、今年は憲法記事が目立った。というのも昭和21年11月3日、明治節に日本国憲法が公布され、今年は70年目にあたるからであろう。昭和21年当時はもちろんわが国は占領下にあった。GHQによる間接統治が行われており、そうした占領下に憲法改正(法的には大日本帝国憲法の改正)が

行われた。これはわが国の自発的なものではなく、GHQの強要で行われたことは誰でも知っている。占領政策と日本国憲法の制定過程をつぶさに調べれば、この憲法がGHQによる日本弱体化（日本の歴史、伝統、文化に基づいた制度、政治・経済、軍事などを破壊する）政策の遂行の目的でつくられ、強要されたものであることがわかる。国の根幹となる憲法の由緒来歴は正しくなければならない。

「押しつけられた憲法かもしれないが、内容は正しかった」という見解があるが、どんな小さな国の国民でもそんな憲法を誇らしく思うことはないだろう。また、11月3日、5月3日といった憲法制定の節目の日には、憲法の制定過程をもう一度振り返って考える日にしたい。

中小企業団体兵庫県大会

2016年11月11日



10日（木）午後2時過ぎに市内のホテルで開催された第58回中小企業団体兵庫県大会の表彰式に出席した。

兵庫県知事表彰賞、会長表彰などの表彰が行われたあと、県議会を代表して祝辞を述べた。

中小企業をめぐる経営環境は依然厳しい状況にあり、県としても中小企業振興条例を制定し、実効ある支援策を行っていることなどをお伝えした。

兵庫・岡山・鳥取三県議会正副議長会議（鳥取市）

2016年11月12日



11日（金）、12時前には鳥取市に向けて出発。

午後2時から、鳥取市内のホテルで、平成28年度兵庫・岡山・鳥取三県議会正副議長会議が開かれ、藤田議長と共に出席した。

この三県議会正副議長会議は昭和63年から、三県の連携を目的として行われてきた。

今年の議題は、周遊観光、鳥獣被害対策等。各県の取り組み、課題を報告し合い、意見交換を行った。

周遊観光では、鳥取県境港へのクルーズ船の訪日客を三県の内陸観光へ繋げられないか等について提案や意見交換が行われた。また、鳥獣被害対策では、捕獲シカの処理やクマ被害、カワウ対策などについて情報交換を行った。また、猟友会員の高齢化や若手の育成などについても課題を共有することができた。

会議の前に藤田議長から鳥取県へ地震見舞金10万円が贈呈された。これは県議会の議員醸出によるもの。

鳥取自動車道を使うと、加東市から鳥取市までの所用時間は約1時間30分。ずいぶん近くなった。風評被害で鳥取県の観光は大きな影響を受けている。隣県として、資材、人的な支援を行っているが、ぜひ、観光で鳥取県を訪れ支援をしていきたい。

藤田孝夫県議会議長就任を祝う会—但馬長寿の郷

2016年11月13日



12日(土)、事務所に寄ってから但馬へ向けて出発。今日は藤田孝夫県議会議長の就任祝賀会が養父市の県立但馬長寿の郷で行われた。

但馬の山々はまぶしい秋の陽光に照らされて赤や黄色に紅葉が光っていた。但馬長寿の郷には県関係者や地元支援者など約300人が出席し、祝賀の会が盛大に開催された。オープニングは議長と交友のあるチェロ演奏家が出演。井戸知事はインドのモディ首相の来県で出席できなかったが、金澤副知事が祝辞を述べた。私も県議会を代表しお祝いを述べさせていただいた。国会議員では鴻池参議院議員が出席しお祝いの言葉を贈った。また、地元養父市の広瀬市長、豊岡市の中貝市長も祝辞を述べた。

祝宴は郷の芝生広場で行われ、屋台で地元養父市、但馬の味覚を満喫させていただいた。広瀬市長にすすめられ、どぶろくをいただいた。地元の農業委員会の代表の方からはクマの被害についてのお話も聞かせていただいた。

広瀬市長は県政を身近に引き寄せてくれた藤田議長を、そして、中貝市長は田舎の価値を一貫して発信している藤田議長を高く評価し、出席者全員が藤田議長のさらなる活躍を祈った。

東京で都道府県議会議員研究交流大会

2016年11月16日



15日(火)、今日は午後から東京の都市センターホテルで第16回都道府県議会議員研究交流大会が行われ日帰りで出席した。

兵庫県議会からは私を含めて10名の議員が出席した。

この大会は全国都道府県議会議長会が主催し、都道府県議会議員が共通する政策課題などについて情報や意見の交流を行い、議会の機能の充実をはかることを目的としている。

主催者挨拶に続き、明治大学名誉教授の中邨章先生が「地方議会人の挑戦ー変化する首長と議会改革の成果」と題して基調講演を行った。

地方議会は「冬の時代」すなわち不祥事が続き、改革に取り組んではいるもののその努力はほとんど評価されず、関心も低い。そして、二代表制というものの、実際は強い首長、弱い議会になっている。そうした地方議会の現状から、変化の方向性を議員定数と報酬の適正化等を中心に話された。

続いて5つの分科会が行われ、第1分科会「議会の透明性の確保」に出席した。徳島県県、大阪府議会から議会改革の報告がなされ、意見交換を行った。政務活動費について質疑が集中したが、若者に開かれた議会づくりなどについても意見が出、今取り組んでいる議会改革について大いに参考になった。

大阪で13都道府県議会議長会議

2016年11月17日



16日（水）午後、大阪市に向かう。第225回13都道府県議会議長会議が大阪市内のホテルで行われ、藤田議長とともに出席した。

13都道府県とは、北海道、宮城、埼玉、千葉、東京都、神奈川県、静岡、愛知、京都、兵庫、広島、福岡、大阪。

会議は、各議会から提案された13議案が審議され採択された。これらの決議はそれぞれ関係機関に要望される。続いて、全国都道府県議長会の事務総長から当面の諸課題についての報告が行われた。

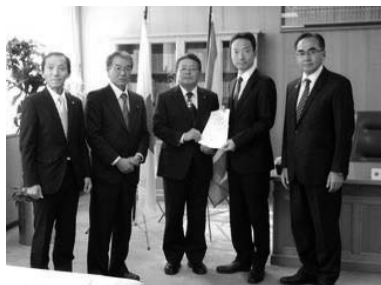


交流会では東京都議会、福岡県議会、大阪府議会の副議長さんらと同席となり、福岡駅前の道路陥没やオリンピック会場などの話も聞くことができた。また、千葉県匝瑳市（そうさし）選出の千葉県議長さんとは、宍粟市が西の横綱なら、うちは東の横綱と、読みにくい市の名前の話題も出た。

副議長室に新たに4枚の絵画—ぜひ鑑賞を

2016年11月19日

18日（金）、8時過ぎに家を出て、加東市吉井の岸本詩音さんのお宅に寄り登庁した。



副議長室には現在、詩音さんの絵が1枚掲げてあるが、新たに4枚をお借りすることになり、詩音さんの祖母の尚美さんからお預かりした。

10時、町議会議長会から29年度予算編成等への要望が議長室で行われた。県下12町の要望をまとめた要望書の内容について説明を聞き、懇談を行った。きびしい財政事情が続く中、地方が元気でなければ日本の元気も出ないとの認識で、国や県への要望をうかがった。

10時30分から農政環境常任委員会に出席。閉会中の継続調査事件として「豊かな森づくり」について調査を行った。今日は、冒頭に前回報告のあった丹波ささやま農協の牛肉不適正表示に対するその後の県の対応、造林事業（国庫補助）等の不適正事案について報告があり、県のチェック機能に問題はなかったのか等きびしい質問が続いた。

12時45分から自民党県議団の健康福祉部・農政環境部合同の管外調査の打合会に出席。そのあと、ゆっくり昼食をとる間もなく、県警はじめ当局から説明を受け、2時から自民党県議団の行革プログラムについての会議に出席。企画部案について説明を受けた。

ようやく詩音さんの絵をじっくり鑑賞。田中秘書と架ける位置などをあれこれ検討。「部屋が



楽しくなりましたね」との言葉に相づちを打った。動物と自分を描いた絵が5枚。確かに部屋が楽しくなった感じがする。長岡壯壽議員（自民・元副議長）にも見ていただいた。「いいね、ミュージアム」という言葉をいただいた。副議長室に用事で来られる方々はもちろん、絵を鑑賞しに気軽にお越しいただきたいものと思った。

ひょうご家庭応援県民大会

2016年11月20日



19日（土）午後、兵庫県公館でひらかれた「ひょうご家庭応援県民大会」に出席。家族の日写真コンクールの表彰と祝辞を述べた。家族、家庭は社会の基本単位。家族の日や写真コン

クールを通して家族のあり方や応援施策について考えるきっかけになれば。それには先ず、若い人が安心して家庭をもつことができる社会にしていかなければならない。

のじぎくの塔・島守の塔慰霊祭

2016年11月23日

20日（日）から22日（火）の3日間、自民党県議団の健康福祉部会と農政環境部会の合同管外調査が沖縄県で行われ、その一員として参加した。

21日（月）午後には、のじぎくの塔、島守の塔で行われた慰



霊祭に参列し、献花を行った。

突然降り出した雨の中での慰霊祭となったが、兵庫県からは、金澤副知事、兵庫県議会議員、神戸市長（代理）、市議会議長会長、兵庫県遺族会会員らが、また、沖縄県からも知事（代理）、県議会議員（代理）、遺族会、島田勲氏事績顕彰会会員らが参列し、沖縄戦で散華した英霊、島田勲知事ら沖縄県職員の御霊に祈りを捧げた。この日、遺族会の皆さんはのじぎくの塔の清掃作業を行い慰霊祭に臨まれた。



慰霊祭に先立ち、調査団は島田勲知事ら沖縄県庁職員が最後に籠もった「轟の壕」で調査を行った。島田勲氏事績顕彰会顧問の嘉数元副知事、会員から壕内で当時の状況などについて詳しい説明を受け、生存者が島田知事の最後の姿を見たという場所も見ることができた。

今回の主な調査先は次の通り。

20日：六次産業化の取組（読谷村、「御菓子御殿」本店）、環境



学習への取組（名護市、

21日：子育て支援（浦添市、市議会・男女共同ハーモニーセンター）、慰霊施設調査（糸満市、轟の壕）、のじぎくの塔・島守の塔慰霊祭

22日：子供の貧困対策（西原町、国立琉球大学内、大学コンサート）
—シアム沖縄）、人口対策、地域振興（那覇市、沖縄県議会）

議運・議会広報委員会・地方議員セミナー

2016年11月26日

25日（金）、今日「11.25」は三島義孝の特別な日。昭和45年の秋、社高校2年生だった。早稲田大学時代は11.25には三島由紀夫・森田必勝義孝の日に慰霊祭を行った。あれから46年が経った。

9時30分頃登庁。早速議会事務局からのレクが始まる。

10時50分、兵庫県自治体病院開設者協議会からの要望を議長室で受ける。国、県への要望、各公立病院からの要



望を受け懇談を行った。続いて、当局からの報告を議長とともに受けた。登庁してから息つく間もない。

午後、12時45分から各会派代表者会議、続いて、議会広報委員会、議会運営委員会が開かれた。12月議会の提出予定議案はじめ、議会改革の検討課題などについて各会派の意見などが交わされた。副議長が委員長を務める広報委員会では、SNSを活用した議会広報の取組みの検討、議会広報紙の表紙掲載作品（絵画）の選定などを行った。

2時30分から自民党県議団総会に出席。議運等の結果の報告、最終2カ年行革プランの企画部案への申し入れについて協議を行



った。

4時、神戸市内のホテルで、地方議員セミナーが行われ出席した。自民党県連幹事長の山本敏信県会議員が主催者を代表して挨拶、井戸兵庫県知事、久元神戸市長が祝辞を述べた。今日の講師は青山繁晴氏。参議院選への出馬の経緯、日本海のメタンハイドレートの開発、沖縄「白梅の塔」などの話題で、会場を回りながらのいつものスタイルで熱く語った（写真）。

兵庫県統計功労者表彰 統計グラフコンクールも

2016年11月30日



29日（火）、北播磨県民局へ。市内でイノシシの被害に悩む地区からの対策を求める声を届けた。事務所で事務整理をしたのち、昼ごろ県庁へ向かう。

午後1時30分、県公館で行われた平成28年度兵庫県統計

功労者表彰式に出席し、祝辞を申し上げた。知事表彰、知事感謝、各省の大臣表彰等、総計256名の方が受賞した。

また、統計グラフコンクールには2100人を超える応募があり、特選に選ばれた児童、生徒、学校などが表彰された。国勢調査での人口統計をはじめ、経済センサス、活動調査や毎月勤労統計調査など多くの統計調査が行われており、県政の貴重な基礎データとなっている。統計グラフコンクールの応募数は兵庫県が全

国2位ということだ。

兵庫県と神戸市の調整会議

2016年12月02日

12月1日（木）、午前10時30分、加東警察署で行われた年末特別警戒活動発隊式に出席した。一日警察署長に任命された本岡賢二氏（加東警察署友の会会長）が整列した署員に対し



て訓辞を行ない、その後、パトカー、白バイが早速市内の警備に出発していった。昨年は耐震工事中だったために仮庁舎での発隊式だったが、今年は本署で行われた。



昼前に登庁。12時30分から各会派代表者会議。午後1時30分からは、県公館で兵庫県・神戸市調整会議が行われ出席した。

県と政令指定都市の間で共通の課題や取組について協議を行うもので今回が初めてとなる。

三宮再開発、新長田の活性化などの都市の魅力づくり、インバウンドの拡大、中小企業支援の連携強化、県営住宅と市営住宅の連携強化などが協議された。神戸市は来年開港150年、兵庫県は再来年県創設150年を迎えることから、六甲山の開発や三宮の再開発などを促進していくことなどが話題となった。

兵議博士—県議会の広報PRキャラクター

2016年12月03日



2日（金）、今日も登校見守りから一日が始まった。立っているのは自宅から50メートルの交差点。社小学校へつながる「学校道」で、市街地などから通学班が通っていく通学路になっている。午前7時30分から約20分の間に10班が通っていく。高校生や兵教大の附属小の児童も通る。平成18年に退職してから

立ち始めたので、今年で11年目になる。その頃の小学生も成長して大学生や高校生になっている。

ところで、写真は「兵庫県議会広報PRキャラクター」の「兵議博士」のシールだ。サンテレビの議会広報番組などで活躍しているキャラクターで、今年度は議会広報でもっと広く活躍してもらおうと、広報紙やホームページなどをはじめ、議会見学に訪れる小学生にもシールを配布している。正副議長の名刺にもシールを貼っている。「これは何ですか」との質問も多く、議会広報キャラクターだと紹介すると珍しがられる。「兵議博士」の名前は公募で決まったもので、今後は議会広報のさまざまな場で一層活躍してもらうことになっている。

川柳まつりと童謡唱歌まつり—加東で日本の心

2016年12月05日

4日（日）、今日は加東市内でイベントが多く催された。

まず、朝は子ども会育成連絡協議会の「親善サッカー大会」が滝野運動公園で行われた。

昼過ぎ、滝野文化会館へ。加東市制10周年記念のふれあいの祭典、「兵庫県川柳祭り in 加東」が行われ、表彰式に出席した。



11月に審査会にも出席していたので入選作の作者に会うのが楽しみだった。私の役目は兵庫県議会議長賞のプレゼンター。投句参加者総数2601名。うち兵庫県は398名。一般が489名、ジュニアの部が2112名だった。今年の題は「国宝」「錦」「技」、ジュニアの部は「鮎」。文部科学大臣賞を紹介しよう。「清貧に生きて心に織る錦」。完璧との講評だった。

2時30分、コスミックホールへ。加東市制10周年応援事業「加東市童謡唱歌まつり」に出席した。出場全23チーム。老人会、婦人会、コーラスグループ、市議会、教職員（女性）、区長会、商工会女性部、民生委員会など市内外のさまざまな団体が参加。途中で挨拶をさせていただき、最後に童謡唱歌を歌い楽しむ会の



一員として出演、3曲とみんなで歌おう3曲を舞台上で歌わせていただいた。童謡唱歌は心の原点。懐かしい過去の情景や人を思い出すことができる。心が温かく、穏やかに、そして洗われるのが童謡唱歌だ。

第334回定例県議会開会 鷺尾弘志先生お別れ会

2016年12月06日



5日（月）、9時登庁。さっそく議会事務局のレク。続いて、議長応接室で全国都道府県議長会の表彰、県会議長表彰式が行われた。受賞者は

釜谷研造、原吉三、永田秀一、北川泰寿、いそみ恵子の各議員。

9時45分からは各会派代表者会議、続いて議会運営委員会、自民党県議団総会が分刻みで行われた。

11時から第334回定例県議会が本会議場で開会。議長挨拶に続いて、議席の一部変更、会期の決定、諸般の報告などが行われたのち、議案が上程され、井戸知事が提案説明を行った。提出された議案は県職員の月給と期末・勤勉手当引き上げなどの条例改正案、その他工事契約案など24件。また、知事など特別職の期末手当引き上げに合わせて議員の期末手当引き上げの条例改正案を自民党、公明党・県民会議、ひょうご県民連合（民進党）の3会派が議員提案した。

12時20分から本日2回目の自民党議員団総会。一般質問者の発表と質疑が行われた。同45分には三木市で行われる故鷺尾弘志先生のお別れ会に向かった。

鷺尾先生は去る10月2日に亡くなられた。今日は三木市文化会館でお別れ会が行われた。井戸知事ははじめ県関係者、衆参国会议員、県会議員、そして地元三木市の関係者ら大勢の人が出席し、鷺尾先生との別れをした。11期40年余、県会議員として兵庫

県、三木市の発展に尽くされた鷲尾先生の政治家の生涯と人柄を偲ぶ会となった。

兵庫県「ともしびの賞」贈呈式—県立美術館で

2016年12月07日



6日（火）、午後、県立美術館で行われた「平成28年度ともしび賞贈呈式」に出席し祝辞を申し上げた。

郷土の文化活動の向上に尽くされた個人、団体に贈られる賞で、

今回で42回を数える。今回は17名、4団体に贈られた。受賞者の中に中学時代の恩師や娘の嫁ぎ先の親戚の方の顔もあり、贈呈式のあとのティーパーティーでは話が弾んだ。

副議長就任祝賀会—やしろ国際学習塾で

2016年12月12日



11日（日）、今日はやしろ国際学習塾（加東市上三草）で藤本百男兵庫県議会副議長就任祝賀会が開かれた。

L. O. C ホールのフロア席には約350名の出席

者で満席。スタッフの皆さんは2階正面席に回っていただいた。

まず「東条川疏水の映像と歌」の映写。続いて、兵庫教育大学よさこい部「鬼灯」（32名）の若さ溢れる踊りが披露されオープン。国歌君が代斉唱で第一部の祝賀の式が行われた。

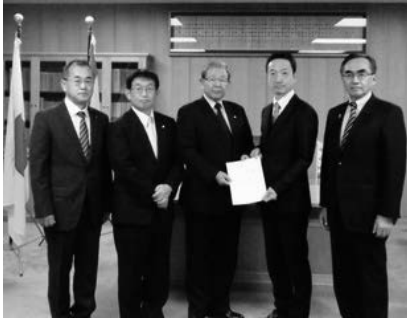
発起人の紹介、代表の酒井後援会長の挨拶、来賓の皆さんの挨拶が続いた。井戸敏三知事からはお祝いの歌の額入り色紙をいただいた。藤田孝夫県会議長、安田正義加東市長、谷公一衆議院議員（自民党県連会長）、藤井ひさゆき衆議院議員（国土交通大臣政務官）、末松信介参議院議員（国土交通副大臣）、鴻池祥肇参議院議員からご祝辞をいただいた。そのあと、後援会や教え子、孫から花束をいただいた。最後に私から謝辞を述べさせていただいて第一部の式が終わった。

続いて、3階大会議室で祝宴。新弦社の近藤節子氏の琴演奏で華やいだ会場。はじめに地元加東市の神結酒造の酒樽で鏡開きが行われ、藤井信孝加東市商工会長の発声で乾杯。日本酒と地元の加工グループの巻き寿司と赤飯でお楽しみいただいた。歓談の途中、東条川疏水の物語の歌の作者である土肥芳郎氏にお話いただいた。中村かよ子後援会副会長の閉会の言葉に続いて、最後に松本隆弘自民党県議団幹事長の先導で万歳三唱、お開きとなった。

大勢の皆さんにお祝いいただき、また、実行委員会の皆さんに支えていただいて副議長就任祝賀会を無事行うことができた。感謝の気持ちで一杯になった。今日を契機にこれからも日々進歩をモットーに「まほろばwith」の合言葉のもと頑張っていきたいとの決意を固めた日だった。

本会議 議会運営委員会 市長会要望

2016年12月13日



12日（月）、9時から議会運営委員会。続いて9時30分から自民党議員団総会。議運の結果などが報告された。そして、10時から本会議が開かれた。

一般質問の2日目。1番手は自民党の中田慎也議員（伊丹

市：1期）。「人口の自然増対策につながる切れ目のない子育て支援体制の充実について」など5項目について質した。次に北条議員（公明）が登壇。昼食後、12時15分から本日2回目の自民党議員団総会。議案、請願の態度等について協議。午後も一般質問が続く。午後の2人について議長席で議事を進行した。午後1番手は関口議員（維新）、次に大前議員（無所属）。そして休憩ののち再開。最後に自民党の永田秀一議員（南あわじ市：7期）が質問に立ち、井戸知事の俳句を紹介しながら、「伝統、文化の保存と継承について」など「香り高く」（ご本人いわく）6問を質した。一般質問が終わり、議案、請願が委員会に付託されて本日の会議が終わった。

4時、2回目の議会運営委員会。冒頭、石川委員長から「議員任期と選挙期日のずれの解消をめざす特例法」が衆議院に提出されたことが報告された。委員からは「おう」という声が出た。今後は法案成立に向けて県議会、関係市議会と連携を強めていくことになった。続いて議会改革の検討について協議が行われ、政務

活動費の額、書式、目標と評価方法などについて活発な意見が交わされた。

4時45分、議長室で兵庫県市長会の要望を受けた（写真）。

農政環境常任委員会 商工会青年部と議連の意見交換

2016年12月14日

13日（火）、10時、議長室で人事課のレク。10時30分、農政環境常任委員会が開かれた。今日は付託議案審査。当局説明のあと質疑が行われた。県立三木山森林公園の指定管理者に兵庫みどり公社を指定しようとするものに対しての質問が続いた。表決が行われ、付託議案は可決。また、11日に佐用町で発生した狩猟中の死亡事故についての報告があり、死亡事件という事態に対して、狩猟者等の対応などに質問、要望が続いた。

11時30分過ぎに閉会。そのあとは、副議長室で4時まで執務。昼に、議会事務局から衆議院に提出された「議員任期と選挙期日の解消」のための特例法の件について報告を受けた。地元関係議会等の一致した要望を受けて自民、公明、維新の議員提案でようやく法案提出というところまで実現した。あとは成立をめざして国会の動きに期待しながら、地元関係議会が連携をさらに強くしていきたい。

午後4時から兵庫県商工会の青年部連合会と県議会商工議員連盟との意見交換会が行われ出席した。県内各ブロックの代表者からの意見や要望が発表されたのち、議員との意見交換を行った。事業の承継、人材不足、起業支援等々地域の活性化を支える商工会青年部が直面する課題について双方から意見が活発に出された。

教育功労賞表彰式

2016年12月17日



16日(金)、10時30分、農政環境常任委員会。閉会中の調査事件の前に、JA丹波ささやまの牛肉不適正表示についての報告がなされた。継続調査事件は、食の安全安心確保と食品流通、農業改良普

及事業。担当課長から説明を受けたあと、質疑が行われた。その他、高病原性鳥インフルエンザ、クマ猟について質問が行われた。

午後2時、兵庫県公館に於いて、平成28年度教育功労者表彰が行われた。永年、県立大学、県立高校、小、中学校、特別支援学校、教育行政職において本県教育振興のために尽くされた方々に対してこの賞が贈られた。受賞者の中に地元小学校の校長先生や中学校教員時代の元同僚、よく知った先生の顔もあり、教員時代の懐かしい場面が浮かんできた。

今日は来日しているロシアのプーチン大統領と安倍首相の会談の成果が共同宣言にどのように現れるかに注目が集まった。北方領土に特別な制度をつくり共同経済活動を行うということになった。もちろん、平和条約の締結への第一歩と安倍首相は述べている。日露双方が領土の主権を主張しているなか、今後、特別な制度をどのようにつくっていくのかが気になる。大事なことは、北方領土は日本固有の領土であり、終戦直後にソ連軍が侵攻し、不法な占拠が続いているという現状を決して忘れてはならないこと

だ。70年経ってもそのことは1ミリも後退してはならない。国民運動として、教育の中でもしっかりと領土、主権に関する教育は行っていかなければならない。去年は「主権者」という言葉が18歳選挙権に関わってよく使われたが、主権者である国民には、北方領土の主権を確立するために行動する義務がある。安倍首相は自身の手で北方領土の問題を解決し、平和条約を締結すると述べている。その言葉に込められた決意を信じて応援していきたいと思った。

スマホサミット in ひょうご 芸文管弦楽団定期演奏会

2016年12月18日



17日(土)午後、神戸市内の農業会館で行われた「スマホサミット in ひょうご」に出席し、祝辞を申し上げた。

このサミットは県や県内の青少年育成関係団体が共催し、中高生を中心に自らインターネット利用の課題解決に向けて考え、取組を進めていこうという催しで、澁刺とした高校生の司会で進められた。今年の8月に県立いえしま自然体験センターで行われた「人とつながるオフラインキャンプ」の報告、標語の優秀作品の表彰、学校などでの取組の発表などが行われた。キャンプでメンターを務め県立大の学生や参加者の発表もあった。

3時には県立芸術文化文化センターで行われた第93回定期演奏会へ。今回のプログラムはハイドンの交響曲70番、ベートー

ベンのピアノ協奏曲3番、ブラームスの交響曲3番。指揮はクリスティアン・アルミンク、ピアノはクンウー・パイク（白建宇）。ピアノ演奏、管弦楽団の演奏に酔いしれた一時だった。来年2月の改修期間にはロビーイベントが企画されている。

行革特別委・西豪州ユースオーケストラ・私学振興

2016年12月20日



19日（月）、朝の登校見守りに立つ。

8時30分には県庁へ。10時から行財政改革特別委員会が開かれ陪席した。最終2カ年行革プラン（第一次案）について、

午前、午後にわたり質疑が行われた。企画部案からの修正を踏まえ、各委員からときにきびしい意見、質問が行われた。

途中、11時30分から県公館で開催された西オーストラリア州のユースオーケストラの演奏会に議長とともに出席した。兵庫県と友好関係を結んでいる西オーストラリア州には来年訪問団を派遣することになっている。4曲のうち、バイオリンの独奏によるチゴイネルワイゼンをすぐ間近で聴く機会を得、奏者の息づかい、素晴らしい音色に感銘を受けた。

昼過ぎ、副議長室に安田加東市長、藤尾加東市議会議長のお二人が訪ねて来られた。会議に出席のため県庁に来られたあとと寄って来られた。壁に展示してある加東市在住の岸本詩音さんの絵に話題が弾んだ。次は要望を持ってくるのでとの言葉もあった。

午後の行革特別委員会にも陪席。終了後、私学会館で行われた兵庫県議会私学振興議員連盟と兵庫県私学総連合の皆さんとの意見交換会に出席した。兵庫県の私学の現状や課題について報告を受け、少子化、学区改革、就学支援制度等について意見交換を行った。

選挙期日と任期のずれ解消特例法の早期制定要望

2016年12月27日



26日（月）午後1時30分から、県庁で県議会・3市議会連絡会が行われた。

この連絡会は「選挙期日と議員任期のずれ解消の特例法制定」に関して行われている

もので、今回、臨時国会において自民、公明、維新による議員立法として衆議院に法案が提出されたが、継続審査となったため、来年の通常国会において法案の早期成立を求めて県議会と3市議会の連携を固めていこうという趣旨で急遽行われた。今後、国会への要望活動を引き続き行うことや議会広報などを使って県民、市民への周知を行っていくことが確認された。地元議会、自治体などの総意としてその声を国会に届けていきたい。

県議会では午後、行革特別委員会が開かれ、一次案に対する各会派の意見開陳が行われた。

仕事始め—県新年交礼会や祝賀会

2017年01月05日



4日（水）9時登庁。まず、3号館7階大会議室で行われた議会事務局の仕事始式に議長とともに出席し、新年の挨拶を述べた。

11時から県公館で県関

係者の新年交礼会が行われ、県庁幹部職員、関係団体代表らが出席し、新年の挨拶を交わした。国歌斉唱に続き、井戸知事、藤田議長の年頭挨拶、金澤副知事の発声で乾杯、歓談、そして、私が閉会の挨拶を述べた。



12時、ポートアイランドの神戸国際展示場



で開催された県、神戸市、神戸商工会議所新年合同新年祝賀会に出席した。ここでも、国歌斉唱に続き、井戸知事、久元神戸市長、領事団代表が挨拶を述べ、鏡開きに続いて、家次会長が乾杯の発

声を行った。関係者が大勢出席され、それぞれに挨拶を交わした。



政調会1日目

2017年01月11日



10日(火)、9時30分には登庁。今日から29年度の重要施策、予算案に関する政務調査会が始まった。

午前10時から午後4時30分まで、昼の休憩をはさんで、企画県民部、健康福祉部、農政環境部、県土整備部の順に自民党大会議室で政調会。終了後、引き続き自民党県議団総会が行われ、議会改革案等について協議した。

議会改革(議運) 政調会2日目

2017年01月12日

11日(水)、8時30分に県庁着。議会事務局からレクを受け、9時から議会運営委員会が行われた。内容は議会改革。会派から提案のあった政務活動費の減額などの改革点について協議を行った。

10時、政調会2日目がスタート。今日は午前中に企業庁、警察。昼をはさんで、午後は企画県民部、産業労働部。昼の時間に日台親善議連の会議も。

政調会3日目

2017年01月13日

12日(木)、8時30分頃登庁。9時30分から自民党県議

団産業労働部会が行われ出席。10時から政調会が始まった。今日で3日目、最終日。午前は農政環境部、県土整備部（まちづくり）、昼食をはさんで、午後は病院局、教育委員会と、今日も一日県庁で29年度の重要施策と予算案のについて当局の説明、質疑が行われた。終了後、林業議員連盟の会議に出席し、加東へ。

青野原駐屯地新年互礼会

兵庫県私学総連合会新年互礼会

2017年01月14日



13日（金）、11時、陸上自衛隊青野原駐屯地・連合会の新年互礼会が大勢の関係者の出席の下、駐屯地体育館で行われた。

自衛隊員募集をめぐるきびしい状況、国防をめぐる厳しい状況の

なかで、国と国民を守る存在として国民からの信頼と期待の高い自衛隊を今年も応援していこうという熱い思いが充満する会だった。

14時過ぎには県庁へ。議会事務局、知事部局からのレクを受ける。外は晴れているが、冷たい風が吹き荒れている。

17時30分、私学会館で兵庫県私学総連合会新年互礼会が行われ出席した。超少子化、グローバル化、人工知能の進化等々加速度的な社会変化のなか、教育をめぐる状況は厳しいものがある。同時に教育の果たす役割、期待は大きくなる。兵庫県の公教育を公立学校とともに担う私立学校を活躍を期待する思いが語られた。

東条西小4年生が議場見学

2017年01月16日



16日（月）、10時30分には県庁到着。11時20分、東条西小の4年生11人と先生2人が県警本部の見学を終え、副議長室を訪問。

副議長室に飾っている岸本詩音さんの絵を観てもらおう。

岸本さんは東条西小の卒業生で、子供達の先輩にあたる。子供達と絵の前で記念撮影を行った。そのあと、本会議場の見学も行い、県議会のしくみなどを学習した。

午後1時から、産業労働常任委員会で特定テーマ研究の一環として大学生との対話が行われ、議長と一緒に傍聴した。人口減少時代の雇用をテーマに、大学生の就職希望、就活、県内企業等への就職などについて意見交換が行われた。兵庫県に愛着がないわけではないが、したい仕事に就くことが第一で、できれば将来県内に戻ってこれれば、という意見もあった。委員からはどのような働きかけが県内での就職につながるかといった観点の質問や県の取り組みについて意見交換もあった。自分も郷里を離れ、「花の都」東京で学んだ一人であり、一度はそうした体験をしてみたい気持ちもよくわかる。私はこの学生時代の7年間だけが郷里を離れての生活で、残りはべったりと生まれ育った土地に生きている。

1.17安全のつどい 加古川河川改修工事

2017年01月18日



17日（火）、阪神・淡路大震災から22年目の1.17。空はきれいに晴れていた。

8時30分頃登庁。副議長室で執務。
11時過ぎに1.17安全の日のつどい会場へ。

兵庫県をはじめ国や県、市町の関係機関、被災者、市民ら大勢の人が出席し、犠牲者の慰霊と災害への備え、安全な社会づくりを誓った。

午後3時30分頃、加東市大門地区へ。藤井ひさゆき国土交通政務官の現地視察が行われ、同行した。現在、市内を流れる加古川の河川改修工事が大門地区、下滝野地区の2ヶ所で行われており、工事を担当している国土交通省の政務官として、現地視察、説明会が行われたものだ。

2ヶ所とも現在河道掘削工事中で、県、加東市、地元住民ら大勢の人が担当官の説明を聞いた。念願の改修工事が始まり、築堤、新橋の架橋などの工事がこれから進められていくが、一層の促進を望むばかり。下滝野工事の現場では教え子が管理責任者として工事にあたっていた。頼もしい姿に嬉しくなった。

農政環境常任委員会・県商連新年互礼会

2017年01月20日

19日（木）、10時前に登庁。10時30分から農政環境



常任委員会が開かれた。まず、
29年産米の市町別生産数量目
標、29年度当初予算要求概要
についての2件が報告された。
次に閉会中の継続調査事件とし
て、「大気・水・土壌の保全対策

と環境影響評価の推進について」と「廃棄物対策の推進につい
て」調査した。兵庫県の大気や水などの環境は概ねよい状況にあ
る、ということだったが、PM2.5など注意を要するものもある。

午後、常任委員会が再開され、特定テーマ調査研究として、兵
庫県農業協同組合連合会専務理事から、水産業の振興と漁村の活
性化について聞いた。瀬戸内海と日本海という2つの海をもつ兵
庫県の農業の現状や課題について、データをもとに詳しい説明を
聞くことができた。また、専務理事は教育を通して魚食を広める
ことの重要性を強調された。

午前、午後の常任委員会の合間に市内で行われた兵庫県商店連
合会・兵庫県商店街振興組合連合会の新年互礼会に出席した。商
店街のにぎわい回復から兵庫の元気づくりをなどの話が弾んだ。

副議長室に絵の作者・岸本詩音さんが訪問

2017年01月21日

20日（金）、今日は、副議長室に飾っている5点の絵の作者
である加東市の岸本詩音さん（20）が祖母の岸本尚美さんと一
緒に副議長室を訪問することになり、一緒に県庁へ向かった。

11時に副議長室へ入っていただき、絵を見てもらった。部屋

が予想以上に広いことや窓から見える景色がよいことなどに驚いておられたが、何よりも5点の絵が副議長室を訪れる人々を楽しませていることを喜んでおられた。



その後、県議会議場、県公館を一緒に見学した。天気も良く、よい一日になった。

県町議会広報研究会

県政150周年記念の企画委員会

2017年01月24日



23日（月）、12時前に登庁。さっそく市町振興課からレクを受ける。午後1時から神戸市内で開催された平成28年度議会広報研究会に出席した。県下12町議会から広報委員会の議員らが出席し、議会広報（議会だより）について研修や意見交換を行った。

この研究会は昭和55年に始まり、37回を重ねる。まず、広報紙コンクールの表彰式が行われた。続いて、基調講演が行われ、県議会より私が、次に兵庫ジャーナルの黒



岩社長、甲南大学の中野講師がそれぞれの立場から20分ずつ講演を行った。その後、パネルディスカッションが行われ、12町議会の議会だよりをもとに編集や今後の方向性などについて活発な意見交換が行われた。私もパネラーとして加わったが、いずれの議会だよりもレベルが高く、よく工夫された編集内容になっているのに感心させられた。大雪の中、6時間をかけて新温泉町からも出席されていた。



午後5時から県庁向かいの職員会館で行われた県政150周年記念事業企画委員会に顧問として出席した。

平成30年に兵庫県が設置されてから150年になることを記念して県政150周年の事業について企画する委員会で今回はその発足、第1回目の会議だった。各界から12名の委員、顧問3名の15名が記念事業について、「頭を柔らかく」して150年を迎えるにあたってどのような企画が考えられるか自由に意見を述べ合った。

農政環境常任委員会調査－阪神地区の農と水産、環境

2017年01月26日

24日（火）、25日（水）の2日にわたり、農政環境常任委員会の管内調査が行われ、阪神地区の農業、水産業、そして環境の現場、県事務所などを訪れた。

行程、調査先は次の通り。

24日（火）①豊中市伊丹市クリーンランド（豊中市）ゴミ焼却施設・リサイクルプラザ、②阪神北県民局、阪神南県民センター（宝塚市）事務調査、③農協市場館パスカル三田1番館（三田市）農産物直売所

25日（水）④J A兵庫六甲高度環境制御栽培施設（神戸市北区）大型先端園芸ハ

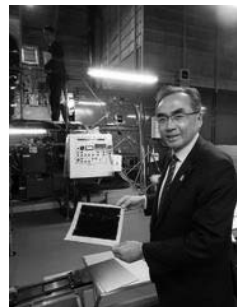


ウス、⑤株式会社ジェイエイファーム六甲（神戸市北区）農業の担い手不足を補完、⑥すまうら水産有限責任事業組合（神戸市須磨区）海苔養殖加工事業、⑦漁業取締船「はやたか」（神戸市垂水区）、⑧

神戸県民センター（神戸市中央区）事務調査

豊中市伊丹市クリーンランドでは、大阪空港に隣接した両市の市境につくられた施設で、最新の施設、環境学習設備を視察した。年間約1万人が訪れ、内約半分の5000人が両市の小学4年生という。

2日目の午前に訪れた神戸市大沢の高度環境制御栽培施設では、最先端の施設園芸を視察。トマト、イチゴの栽培現場を調査した。オランダから導入した施設園芸の技術をもとに日本の環境に応じたモデルを開発し、普及しようとしている。若い担当者の自信と誇り



に溢れた説明に頼もしさを感じた。午後のすまうら水産有限責任事業組合の海苔養殖加工施設の見学では、海苔養殖の協業化、最新乾燥設備などにより海苔養殖の明るい展望が拓けている現状を見ることができた。そのあと乗船した最新式の漁業取締船「はやたか」から海苔養殖場、もぐり船なども視察した。今年の子の出来も良好だという。

議会運営委員会―常任委員会の地方開催など

2017年01月28日

27日（金）、午後登庁。議会運営委員会が開かれた。議題は議会改革について。会派から提案のあった2点について協議。まず、議事録の適正化。具体的には資料をPDF化し議事録検索を可能にしては、という提案について、費用対効果の点で慎重な判断が必要であり、今後の課題とすることに。また、閉会中の常任委員会の地方開催については各会派が賛同。まずは実施し、検証していくことになった。大きな改革でもあり、詳細については今後詰めていくことになった。大きな改革であり初のことになる。

行革特別委員会・北播政経懇話会

2017年01月31日

30日（月）、10時前に登庁。10時30分から行財政改革特別委員会が開かれ傍聴した。今日は自民党をはじめとする各会派から最終の意見開陳が行われた。

最終2カ年の行革プランについて、昨年6月から調査を行ってきたが、今日が最終となる。行革は30年度に目標とする収支均

衡を実現し区切りとするも、震災復興の負債はまだ残り、厳しい財政状況が今後も続く。黒川委員（自民）からは、「ポスト行革の夢かなう兵庫」の姿をめざしてその助走というべき最終2ヶ年の行革



プランを、との要望が述べられた。山本委員長は調査を終えるにあたり、「万策尽きたかと思う場面もあったが」と委員会調査を振り返りながら、江戸幕府の幕政改革の例を挙げ、「夢かなう兵庫」をつくるために「万策尽きたと思う時は委員会調査の各意見を思い出して参考にしてもらいたい」と述べ、最終2カ年プランをつくってほしいと締めくくった。井戸知事は委員会調査を踏まえ、2月議会にプランを提出すると答えた。

午後1時、自民党建設部会が開かれ、太陽光発電設置に関する条例案の概要説明が行われた。2時からは自民党議員団総会。3時30分から林業振興議員連盟の会合に出席。午後4時から自衛隊兵庫地方協力本部長と防衛議員連盟の意見交換会に出席した（写真）。日本を取り巻く軍事情勢や自衛隊の取り組みなどについて意見交換を行った。

午後5時退庁。6時から加東市内のホテルで開催された北播政経懇話会の新春例会に出席した。

今日のゲストは加東市出身（滝野町新町）のJOC理事



の尾縣貢さん。スピーチでは、陸上との出会い、リオ五輪の日本選手団本部役員として参加したときの経験などを披露された。自身を育ててくれたのは豊かな自然に恵まれた故郷と好きなことをやらせてくれた両親の大きな愛情との話に感銘を受けた。尾縣さんの父上、尾縣齊さんには教師時代に地域学習を通してずいぶんお世話になった。尾縣齊さんの「ふるさとの子供達が大きくなって、たとえ故郷を離れても胸を張って故郷のことを語れる人間になってほしい」という言葉を今も忘れない。ご子息の貢さんのまさに願い通りの人となって活躍されている姿を目の当たりにして感慨一入だった。また、もう一人のゲスト、真鍋博さんのハーモニカの演奏も懐かしい。真鍋さんは現在四国に住まわれているが、それまでは社に居られ、お子さん達を中学で教えたこともあり、毎年の出会いを楽しみにしていた。

加東警察署術科始め・社高校生活科学科発表会

2017年02月01日



31日（火）、午前は、加東警察署の術科始め式、午後は県立社高校生活科学科の課題研究発表会に出席した。

午前10時、加東警察署の武道場。中村署長の開会の言葉に続き、来賓を代表して挨拶。さっそく、剣道の試合が始まった。気合いとともに鋭い打ち込みが交わされる。

剣士の息づかいも激しく伝わってくる真剣勝負。続いて柔道の試合。足払い、投げ、寝技と多彩な技の応酬が繰り広げられた。技

が決まると歓声と拍手が起きる。最後は逮捕術。犯人役の署員は柔道の試合にも出場していたが、疲れも見せず、酩酊状態で暴れる男を地でいっているのではと思うほどの好演技。女性警察官が見事に投げ飛ばして手錠をかける迫真の演技だった。強くなければ犯人は逮捕できないし、自身の安全も守れない。日頃の鍛錬こそ警察官への信頼と期待に応える基礎だ。今日の術科始めを契機にさらに鍛錬を重ねていきたい。

12時30分、県立社高校で生活科学科生徒手作りの松花堂弁当をいただく。そして、1時15分から3年生の課題研究発表会を参観した。

各グループの発表は3年間の実践に基づいた研究成果で、その内容、発表方法、作品など、どれも充実した内容の高いレベルのものだった。特に地元加東市特産の桃をつかった商品開発やフードデザイン工房 S e i c a の実践活動は地域との連携による元気づくりになっており、高く評価したい。また、県立やしろの森をフィールドにしたボランティア活動も充実したものになってきている。加東市初のご当地レトルトカレー（写真）「加東さん家のクッキングシリーズー桃ピューレキーマカレー」はできたばかりで、販売はこれからだ。



農政環境常任委員会但丹地区調査

2017年02月04日

2月1日（水）～3日（金）の3日間、農政環境常任委員会の



管内調査として但丹地区を訪れ、農林水産業について調査を行った。兵庫県北部では、先週の大雪でパイプハウスの倒壊など大きな被害が出ている。山間地にはまだ雪が残り、時折り雪も降る中、内容の濃い調査を行うことができた。調査の行程は次の通り。

〔1日〕①丹波田中畜産（篠山市）－肉牛の繁殖、肥育、食肉販売－、
②丹波県民局（丹波市）－事務調査－、③森林動物研究センター（丹波市）－野生動物の保全と管理－

〔2日〕④観音寺営農組合（豊岡市）－但馬第一号の中山間地集落営農法人、⑤チーム美方ルビー（香美町）－美方大納言小豆ブランド化の取り組み－、⑥春来「てっぺん」（新温泉町）－集落活性化の取り組み、⑦予防治山事業（香美町）－岩盤崩落斜面の山地災害復旧工事、⑧但馬栽培漁業センター・調査船「たじま」、⑨但馬県民局（豊岡市）－事務調査－



〔3日〕⑩朝倉さんしょの栽培・流通・加工現場（養父市）－朝倉さんしょの世界ブランド化－、⑪北部農業技術センター（朝来市）－事務調査・施設見学－、⑫道の駅「但馬のまほろば」（朝

来市) 一直売所組織「産直の会」
の運営など、⑬バイオマスエネ
ルギーb e 材供給センター朝来バ
イオマス発電所(朝来市) ー木質
バイオマス発電関連施設ー



北播磨夢会議 加東市公募美術展

2017年02月06日



5日(日)、朝から冷たい雨が降っている。
10時、市内松沢地区の初総会に出席し
挨拶をさせていただいた。今日で正月か
らの初総会回りもほぼ終わることになる。

12時30分、滝野図書館で開催され
ている加東市公募美術展へ。洋画部門に
岸本詩音さんの作品「修学旅行の思い出」
が入選したと聞いていたので楽しみにし

ていた。岸本詩音さんの絵は副議長室にも飾らせていただいている。

午後2時過ぎ、西脇市の複合施設M i r a i e (みらいえ) へ。
平成28年度北播磨地域夢会議が行われており、第2部の討論会
から参加した。第1部の基調講演にもとづいて、参加者の意見が
交わされた。北播磨地域の若者らの意見を中心に北播磨の地域創
生をどう打ち出していくか意見が出された。消防団、「講」など
を手がかりに、という提起や地域のことを知る広報に工夫を、と
いった意見もあった。ビジョン委員会が作成した「防災カレンダー」
が紹介された。リーダーの安田さんに聞いてみると、作成部

数が少ないのでもっと刷って学校や公的施設に置くべきと思った。
最後に金澤副知事がまとめを行った。

社小学校4年生の県議会議場見学

2017年02月07日



6日（月）、10時20分頃登庁。
10時30分、本会議場へ。

今日は加東市立社小学校の4年生
100人が2班に分かれて議場見学を行
った。

本会議場の議員席に座って職員から説
明を聞いた。質問も活発に行われ、中
には即答できない質問も出てきた。見学を
きっかけにして兵庫県の学習に意欲的に取り組んでほしいと思っ
た。引率の先生や児童の中にはよく知った顔も多く、毎朝の登校
見守りで挨拶を交わしている子供は私の顔をよく憶えてくれていた。

ひょうごの農とくらし研究発表会－豊かな食文化

2017年02月08日



7日（火）、早朝の神戸に雪が
舞った。

今日、2月7日は北方領土の日。
昨年12月のプーチン大統領訪
日で北方領土での日露共同経済
活動などが話し合われた。日本

固有の領土である北方領土の返還は日本国民の悲願である。終戦後のソ連軍による北方領土への侵攻、そして、現在も続く不法支配を私達は決して認めていないしその歴史を忘れてはいない。安倍首相は日露共同経済活動の道を開き領土問題解決への一歩を進めようとしている。そうした努力とともに歴史をしっかり子供達に教えていくことが大事だ。

12時に神戸新聞松方ホールへ。今日は平成28年度「ひょうごの農とくらし研究発表大会」(兵庫県・兵庫県生活研究グループ連絡協議会)が開催された。



県下各地の農山漁村で農林水産物の加工や直売所の経営などを通して地域の活性化に取り組んでいるグループの発表会で、コンクールの表彰や事例発表などが行われた。

大会に先だって、井戸知事や受賞者の皆さん等と受賞作品を昼食にいただいた。農政常任委員会で先週調査に訪れた但馬の朝倉さんしょの畑特産組合からは山椒ジェノベーゼが出されていた。ラビオリ、播州多可親子ずし、ほしいもなどまさに兵庫五国の豊かな食文化を堪能することができた。大会では県議会を代表して挨拶、議長賞の表彰などを行った。

会長の藤原たか子氏はマイスター工房八千代の代表。昨年秋の黄綬褒章の受賞をあらためてお祝いを述べた。

2月定例会1週間前の議運や団総会 県スポーツ優秀選手賞表彰式

2017年02月11日



10日(金)、8時15分登庁。道路の凍結もなく安全運転だった。さっそく、議会事務局のレク、スケジュール調整、人事課レクが続き、9時30分から議会運営委員会。定例会提出議案の説明、議会改革等の協議などを行った。続いて各会派代表者会議が行われ、そのあと県民生活課からレクを受けた。よう

やく午前が終わり昼食。窓がピューピューと音をたてている。県庁から山手の方を見るとよく晴れているが、吹き下ろしはきつそうだ。

午後1時50分から県公館で行われた兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰式、県体育協会表彰式、県障害者スポーツ協会表彰式に出席し、お祝いを述べた。会場の県公館大広間は出席の受賞者で満杯だった。県議会には党派を超えたスポーツ振興議員連盟をつくり、県内のスポーツ振興を支援している。2020年の東京オリンピック、21年の関西ワールドマスターズゲームズでの兵庫県出身選手の活躍が見たい。

午後3時30分から自民党県議団総会が行われ、議運の結果などが報告された。17時30分からは神戸市内で県議会防衛議員連盟の総会・研修が行われた。総会に続いて海上自衛隊阪神基地の山崎司令から海洋防衛について、大久保兵庫県防災監から県の

防災体制についての講演が行われた。

P T C A 実践発表

2017年02月13日

12日（日）午後1時過ぎ、滝野文化会館へ。今日は加東市連合P T AのP T C A活動実践発表会が行われ出席した。県教委播磨東教育事務所の小西副所長は挨拶の中で次期学習指導要領の内容にも触れ、教育目標を家庭や地域が共有することが挙げられており、学校と家庭と地域の一層の連携が求められることになると述べた。

実践発表の部では、社小P T Aと鴨川小P T Aが発表を行った。社小P T Aはバンド演奏で活動を紹介。これは初のことではないだろうか。社小は市内では大規模でP T Aの活動も活発だ。一方の鴨川小は小規模校。しかし、小規模校ならではの地域と密着した学習や行事を通したふるさとや伝統、豊かな自然への愛着を育む活動を紹介。感銘を受けた。地域創生の核心部分にはこうしたふるさと意識、誇りを育む活動がなければならない。この鴨川小と地域の連携によって紡がれてきた教育の蓄積こそ、その核心だ。

常任委員会・子育て応援ネット・日本版ネウボラ

2017年02月15日

14日（火）、10時前には登庁。10時30分から農政環境常任委員会が開かれた。諸報告（職員の不祥事、2月定例会予定議案、大雪被害等）に続いて、閉会中の継続調査事件として、「農協指導・農業金融・農業共済及び農協検査」について調査を行っ



た。農協改革が進む中、農協に対する県の指導などについての質疑があった。

午後1時、県公館で「子育て応援ネット全県大会」が行われた。オープニングではみすまる保育園の園児の素晴らしい合唱を聴いた。開会式では、議会を代表して挨拶を述べた。続いて、事例発表。加東市子育て応援ネットから三世代交流や子ども秋まつりなどの取り組みが友藤富士子会長によって行われた。少子化の日本で、よりよい子育て環境をいかにつくっていくか、県が進める地域祖父母モデル事業も一つのあり方だ。

2時30分から、健康福祉常任委員会の特定テーマ研究の調査を傍聴した。今日は学識経験者を招聘しての調査で、「妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援―各自治体の取り組み事例を含めて」の題で、東邦大学大学院看護学研究科の福島富士子教授の講演を聴いた。地域創生と少子化対策としての日本版ネウボラの取り組みについて、基本的な考え方から各自治体の具体的な取り組みまで、特に産前産後ケアの支援事業について詳しい話を聴くことができた。基盤としての社会的な繋がり、信頼関係・人間関係の再構築、親子家族の愛着形成などが実は大切だとの指摘はよく理解できた。

ひょうご神戸国際サミットレセプション

2017年02月16日

15日（水）、10時、加西市健康福祉会館で開催された東播

磨消費者団体協議会ひろば展に出席。東播磨となっているが、北播磨もエリアに入っている。

午後、登庁。議会事務局のレクやスケジュール調整をしたあと、ポートアイランドのホテルへ。2017ひょうご神戸国際サミットが開催され、今回は「スポーツを通じた交流」をテーマに兵庫県、神戸市、関西の各国総領事らが



意見交換を行った。私はレセプションからの出席だったが、挨拶のあと、イギリス、オーストラリア、ドイツ、フランス、イタリア、韓国、パナマ、インド、オランダの総領事と歓談することができた。皆さん日本語が流暢だったので大助かり。それぞれ兵庫県とも関係の深い国々であり、これから東京オリンピック・パラリンピック、

関西ワールドマスタースゲームズ、ラグビーワールドカップなどで訪日の外国人を如何に受け止めるとめるかなどについての話題が出た。

2月定例会開会

議場コンサートや大学生との意見交換など

2017年02月18日

17日（金）、8時30分には副議長室で議事課、総務課からレクを受ける。9時から議会運営委員会。そして、9時30分自

民党議員団総会と登庁して息つく間もなく会議が続いた。

10時前本会議場に入場。恒例の議会コンサートが開かれた。式は岩村力氏、演奏は兵庫芸術文化センター管弦楽団。傍聴席には一般の方、意見交換の大学生等で満席だった。モーツァルトの「フィガロの結婚」序曲、葉加瀬太郎の情熱大陸のテーマ、ヨハン・シュトラウスの喜歌劇「こうもり」序曲、そして最後に故郷（ふるさと）、アンコール曲はラデツキー行進曲だった。

11時本会議が開会。予算や条例など49件の議案が上程され、井戸知事が提案説明を行った。今議会は、3月24日までの36日間の予定。



12時10分から大学生との意見交換会が特別会議室で行われた。応募の県内大学に通う20人の大学生と議会傍聴の感想や議会、議員への要望などについて議長、副議長との意見交換を行った。議会

広報や人口対策などについての提案もあり有意義だった。

午後1時30分、議長室で来客。2時40分から行革審議会のレク、3時過ぎに農政環境常任委員会の特定テーマ調査に関する議員の意見交換へと急いだが、ちょうど閉会の挨拶が始まるところだった。何しろ今日はスケジュールが詰まりすぎて、議長はいつもここまでとはいかないがと言いながら学生諸君に今日のスケジュールを示したほどだ。3時30分から農産園芸課、新行政課、企業庁からの報告があった。

予定を終えて、元町6丁目の北播磨おいしんぼ館前で行われて

いる北播磨日本酒バルへ。北播磨の蔵元が出店を並べ、山田錦の名酒を神戸の人々に味わってもらった。加東の神結酒造のコーナーで安田市長とともに一杯。といっても私は車の運転があり、今日は甘酒を4杯いただいた。おいしんばん館では、北播磨県民局の県民交流室がかす汁とでんがくを提供。これがまた美味だった。県庁職員や毎年楽しみにしているというリピーターなど、大勢の人で賑わった。



滝野東小4年生が議場見学

2017年02月21日



20日（月）、今日は加東市立滝野東小学校の4年生約100人が議場見学にやってきた。会期中なので、傍聴席からの見学だったが、議場を見渡せるという点では見学に適している。説明を聞いてからの質問も活発だった。子供の観察力はなかなか鋭く、

議員席の机の下小さなスイッチも見逃さなかった。

本会議（代表質問）

2017年02月24日



23日（木）、8時30分登庁。10時から本会議が開かれた。今日は、自民、公明、県民連合、維新の代表質問が行われた。

まず、自民党の松本隆弘幹事長が登壇し、「29年度当初予算案について」をはじめ8項目について知事に質した。最後に知事選への去就について質したが、知事はもうしばらく熟慮したいと態度を明確にしなかった。また、松本幹事長の「ふるさと兵庫を担う人材の育成」についての質問に答えた高井教育長が具体例として社高校の生活科学科が加東市特産の桃を使ったレトルトカレーを開発したことを取り上げた。突然社高校の名前が出たのでびっくりしたが、地元の桃生産者の指導、協力のもとに桃の栽培を体験しながら取り組んできた生徒達の喜ぶ顔が浮かんだ。（写真はサンテレビの県議会中継放送画面）

本会議は午後3時で終わり、すぐに湊川神社へ。神道政治連盟兵庫県本部主催の時局講演会に出席した。講師は産経新聞前ソウル支局長の加東達也氏。氏は「韓国というリスクーいかに対処するか～無法国家での体験から」の演題で、自身の書いたコラム記事を巡って起訴され法廷に立たされた経験をもとに韓国という国

の「法治主義」の実態を語った。国民情緒法や大統領官邸内の「不通」と「忖度」など韓国特有の法や政治のシステムが今の韓国の不安定な状況を引き起こしている原因の一つでもある。ポスト朴政権の行方が気懸かりだ。コリアンリスクに対する覚悟が問われていると加藤氏は講演をしめくくった。加東市内の神社関係の皆さんも出席されており懇談をすることができた。

本会議（一般質問） 文化振興議連

2017年02月25日

24日（金）、10時本会議が開く。今日から一般質問が始まり、一番手に自民党の吉岡たけし議員（神戸市垂水区）が登壇し、「首都圏大学生の県内就職の促進について」をはじめ5項目6問について質した。続いて、越田議員（公明）が質問し、午前が終了。

午後の前半は藤田議長に替わって私が議長席にすわり議事を進行した。午後一番は自民党の伊藤傑議員（神戸市須磨区）。「虐待死ゼロに向けた取組について」など5項目6問について質した。続いて県民連合の向山議員が質問。休憩ののち、自民党の春名哲夫議員（宍粟市）が登壇し「特別支援教育について」をはじめ4項目6問について質した。

本会議終了後、環境整備課からレクを受け、続いて、文化振興議員連盟と当局との意見交換会に出席した。県立美術館でのエルミタージュ美術館所蔵品の展覧会など、29年度の主要事業について説明を受けた。

本会議 スポーツ振興議連

2017年03月04日



3日（金）、9時30分頃には登庁。10時から議会運営委員会が開かれ、今日の本会議の議事、議員報酬条例改正案等について協議した。

10時30分には自民党県議団総会が開かれ、議連の結果

などが報告された。

振鈴が鳴り11時に本会議が開かれた。平成28年度関係の補正予算案、条例改正案等38件について、委員会審査結果の報告、討論、表決が行われ可決した。

本会議が終わり、続いて県議会スポーツ振興議員連盟の研修会・総会が開かれた。恒例の議連による表彰が行われ、28年度に世界や日本レベルの大会で優秀な成績を挙げた、ウェイトリフティングの山本俊樹さん、水泳の幌村尚さん、水泳の白井璃緒さん、飛込の佐佐木那奈さん、フィギアスケートの三原舞衣さん、リオパラリンピック卓球の別所キミエさんの6人に表彰が贈られた。インタビューでは東京オリンピック、パラリンピックなどに向けて力強い決意が語られた。

県商工会議所連合会との意見交換会

2017年03月07日

6日（月）、午後3時過ぎに登庁。書類の決裁などを行い、4

時30分には神戸商工会議所で行われた、県・県議会と県商工会議所連合会の意見交換会に出席した。

家次会頭はじめ、尼崎、西脇、龍野、小野の各商工会議所から意見発表があり、これらの発言をもとに井戸知事、県議会との意見交換が行われた。地場産業振興、若手人材確保、インフラ整備、小規模事業所支援など直面する課題について要望や対応など活発な意見が出された。

ところで、北朝鮮がミサイルを発射したとテレビ画面に速報が出た。ニュースは「日本海に向けて」というが、これは「日本に向けて」というべきだ。事実、秋田県沖のE E Z内に着弾している。日本海の向こうには日本がある。「日本海に向けて」との言い方は、日本に向けて発射しているという事実を目をそらすものだと思う。アメリカ西海岸近くにミサイルが落ちた時、アメリカは「太平洋に向けて」と言うはずがないだろう。米韓合同軍事演習の行われる春に恒例のようにミサイルが発射されている。これに慣れてしまうと危機感が薄れてしまう。

3.11を忘れない

2017年03月12日

11日（土）、あの日から6年が過ぎた。6年前のこの日は県議会議員選挙に向けての活動の最中だった。事務所に帰り、テレビで見た津波の映像は目を疑うものだった。

今朝も歩いた。登校見守りが無い分、始動はいつもより早かった。9時過ぎには滝野文化会館へ。今日は28年度の加東市スポーツ賞の表彰式が行われ、お祝いを申し上げた。安田市長は挨拶



の冒頭で3.11東日本大震災の教訓を忘れないと述べた。

10時過ぎには東条公民館へ。市の子どもチャレンジ教室の「子ども茶会」の一年間の仕上げとなる「ありがとう茶会」が開かれた。指導を続けて来られた藤原茂子先生が卒寿を迎えられたのを機に今回を最後にしたいというお知らせをいただいていたので、途中からだったがお伺いした。日本の伝統文化のお茶、お点前を学ぶことで、思いやりの心や礼儀の大切さを子どもたちに伝えたいと話された。大事なことだ。

11時、東条湖おもちゃ王国へ。県内の児童養護施設などの子供達を招いて一日を楽しく過ごしてもらおうという「おもちゃ王国の休日」の開会式に出席し、挨拶をさせていただいた。今年で16回目を数え、約780名の親子、施設関係者が参加した。このうち、東日本大震災の被災地からの避難者も約110名が参加している。子供達はビンゴゲームや園内の乗り物、名物のカレーライスなどで一日を楽しんだ。この催しも偶然3.11の日に重なり、開会式の始めに全員で亡くなられた方々の冥福を祈った。

午後1時、西脇市内のロイヤルホテルで鹿島学園高等学校兵庫北はりま・ひかみキャンパスの卒業証書授与式が行われ、出席してお祝いを申し上げた。通信制のこの高校は私の事務所の向かいに事務局、教室があり、個別学習に登校してくる生徒と出会うこともあり、今日は晴れの卒業式とあって笑顔が並んだ。

朝から小雨がパラついたり、冷たい風も吹く一日だったが、帰

宅して、テレビの報道番組を見ながらあの日のことやその後毎年訪れていた被災地のことなどを思い出していた。阪神淡路大震災から22年目。そして東日本大震災から6年。その間も熊本地震など大きな被害が出た地震をはじめ、大雨、火山爆発、台風、大雪などによる自然災害が続発している。近いうちに必ず起こるとされている南海トラフの巨大地震、あるいは首都直下地震への備えは行われているが、まずは復興を加速させることが目下の課題であり、同時に震災の教訓を忘れないよう、そして、次の世代にしっかり伝えることが私達の責任でもある。明日、どんな災害が起こるか誰にも分からない。しかし、起きてもその時にどう行動し命を守るのか、を第一にして日々の心の備えをしておきたい。

音楽療法士認定証交付式、障害者アート鑑賞

2017年03月16日



15日（水）、11時頃登庁。12時20分頃には兵庫県立美術館へ。第12回兵庫県障害者芸術・文化祭美術工芸作品公募展が行われており鑑賞した。

作品の中には、4月に正副議長応接室で開催予定の障害者アート展に展示予定の作品もある。表彰式に出席する藤田議長と一緒に絵画、書道、写真、工芸作品など400点余りの作品を鑑賞した。正副議長応接室での展示が楽しみになる作品ばかりだった。

午後1時30分から美術館の近くにある兵庫県こころのケアセンターで行われた28年度兵庫県音楽療法士認定証交付式に



出席し、議会を代表してお祝いを述べた。今年は13名に認定証が交付され、今後音楽療法士として活動されることになった。兵庫県ではすでに365人の音楽療法士が認定されている。

引き続き行われた記念講演会では、「音楽はここを呼びさますー映画『パーソナル・ソング』から」を鑑賞しながら、3人の専門家（音楽療法士、医師）の話を聴くことができた。「音楽で記憶がつながり人格（自分）を取り戻すことができる」という実証を映像と講演で知ることができた。音楽は人間の脳の広い領域に刺激を与え、その人の魂、人格の根っこを取り戻すことができるという。感銘を受けた。

元県会議長中村敏明先生逝去

2017年03月20日

19日（日）午後、元県会議長の中村敏明先生逝去の報せが入った。96歳。加東郡選出県会議員として8期、昭和55年には第82代県会議長を務められた。兵庫県立嬉野台生涯教育センター、兵庫教育大学、播磨中央公園、県立教育研修所、県社総合庁舎などをはじめ、道路、河川、農業基盤整備事業など、その業績はふるさとに大きく輝いている。

夜、上三草のご自宅に伺い、先生のお顔を拝した。老衰とのこと。そのお顔は威厳に満ちていた。

中村敏明先生通夜 井戸知事、藤田議長がお別れの言葉

2017年03月22日

21日（火）午後6時から加東市のみのり祭典で行われた通夜式には、井戸知事、藤田県議会議長はじめ、県会議員、ひょうご議友会の元県会議員、藤井衆議院議員、自民党関係者や地元加東市、市議会、関係団体、支援者ら大勢の人が参列し、在りし日の中村先生を偲びながらお別れをした。井戸知事、藤田県議会議長がそれぞれお別れの言葉を述べた。8期32年の県会議員としてのご活躍、一筋に兵庫と加東の発展に尽くされた業績、まっすぐな性格などお人柄など偲ぶ言葉に、参列者はあらためて中村先生の刻まれた偉大な足跡に思いを抱いた。

淡路で自民党県議団政調会

—小泉進次郎議員が青年と語る

2017年03月21日



20日（月）、淡路島の淡路市しづかホールで、兵庫県議会自由民主党議員団28年度政務調査会が開催された。テーマは「日本の次世代を担う—小泉進次郎衆議院議員が青壮年らと語る。

老若男女よ、集まれ！ in 国生みの島・淡路」。県下各市町から行政、議会関係者はじめ、地元の自民党支持者ら約1000名が参加して盛大に行われた。今回の政調会の主催者である自民

党県議団政務調査会長の原テツアキ議員（淡路市選出）が挨拶に立ち、続いて金澤兵庫副知事、門淡路市長が挨拶を述べた。

第二部では、自民党農林部会長の小泉進次郎衆議院議員が「投票は18才から、演説会は0才からー政治参加は何才からでもできるー」と題して基調講演を行った。政治をもっと若い世代に開放し、新しい時代づくりに若者の政治参加を促していかなければ未来はない、との考えから自ら実践していることを紹介。また、農林部会長として全国の農業の現場を歩き、そこで出会った取り組み事例などを交えながら、日本の農業の課題、これからの方向について熱く語った。

第三部では、この一年間、政調会が取り組んできた若い世代との対話の集大成として、農業、商工業、ベンチャー企業の代表の発表と小泉議員、藻谷浩介氏が語る総括が行われた。モデレーターの藻谷氏と小泉進次郎氏、発表者の対話に会場全体が惹き付けられた。



3 3 5 回定例県議会閉会 井戸知事出馬表明

2017年03月25日



24日（金）、今日は学校の修業式。社小学校の児童の登校見守りも28年度は今日が最後になる。登校見守りに立ち始めたのは教師を辞めた平成18年3

月末から。もう11年になる。もちろん毎朝とはいかないが、当時小学校1年生だった子供は高校生になり、6年生だった子は大学を卒業したり、社会人になっている年齢だ。まだまだ元気なうちは見守りに立てる。

今日は9時30分登庁。10時議会運営委員会、10時30分自民党議員団総会のあと、11時に本会議が開かれた。28年度関係補正予算（繰越）を可決、続いて収用委員会委員の同意人事案を可決。次に請願6件のうち、5件が不採択、1件が継続審査となった。続いて、「林業施策の推進を求める意見書」など8件が可決され、「北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議する決議」が全会派一致で可決された。

閉会宣告の前に井戸知事が発言を求め、来る7月2日実施予定の知事選挙への立候補決意を表明した。

本会議閉会后、各会派への挨拶回り、議員団総会、記者クラブ意見交換、新行政課レクなどが続いた。一息ついたあと、介護保険課から説明を受けたり、机上整理をして4時過ぎには退庁した。2月17日に開会した第335会定例県議会は29年度予算、行革推進方策など県政を推進していくための重要な議案を議決して閉会した。

L P ガス災害時対応型バルク訓練 兵庫県150周年シンポ

2017年03月30日

29日（水）、10時から兵庫県立大学姫路工学キャンパスで災害時対応型バルク防災訓練が行われ出席した。



この訓練は、県立大にL P ガスのバルク（1 0 0 0キログラム貯蔵）が設置されたことで、平時は空調などにL P ガスが使用され、災害時にはこのガスを使って炊き出しや発電などを行い、避難所でのエネルギーとして活用することができるようになったことで、大学、地域防災、姫路市など関係者が連携して防災訓練を行ったものだ。

地震などの災害時には水や電気などのライフラインが破壊され、復旧するまでに相当の時間がかかる。その点、持ち運びに便利なL P ガスは命を守る砦としてこれまでも活用されてきた。避難所に指定されている公共施設などでバルク（固定のL P ガス大型貯蔵設備）を設置しておくことで、平時はもちろん災害時にはエネルギー源として炊事、発電などに即対応できるようになる。

今回の防災訓練ではガスコンロにつなぎ豚汁を、炊飯器につないでご飯を、そして発電機につないで照明を確保することができた。

L P ガス協会では自治体と連携協定を結び災害時などに出勤して対応している。加東市でもL P ガス発電機が設置されるという報道があったばかりだ。

災害時対応型バルクの説明はこれまでも度々受けてきたが、今回初めて実物を見、実際に使用する場面を見ることができた。予想していたより遙かに短時間で、簡単にガスを使用することができることをこの目で確かめることができた。

午後1時30分、県公館で、兵庫県政150周年記念先行事業

としてシンポジウムが開かれ、出席した。オープニングでは150周年を迎える兵庫の姿の映像が紹介された。井戸知事の挨拶のあと、田辺真人先生（園田学園女子大名誉教授）が「兵庫津から五国へ」と題して、「雄県兵庫の誕生と歩み」について基調講演を行った。先生は「兵庫」という地名の由来から日本史の中での兵庫の歩みを辿り、明治維新の中で、兵庫県の誕生と成立の過程を話された。先生は、兵庫県が全国の都道府県の中でも特異な成立過程をもつことを分かり易く話された。現在の兵庫県の多様性の由来を知ることができるお話だった。



兵庫県東播土地改良区総代会

2017年03月31日



30日（木）、午前9時過ぎに加東市役所へ。今日は2階大会議室で第70回兵庫県東播土地改良区の通常総代会が開催され、挨拶をさせていただいた。

東条川二期地区の調査は29年度も引き続き実施されることになっており、北播磨県民局が進めている東条川疏水ネットワーク博物館の活動もさらに取り組みを進めていくことになっている。ぜひ、この地域の貴重な水利システムを県民共有の資産として大切に守り、次の世代に継承して

いきたい。

午前、午後とも事務所に来客が続いた。年度末でもあり、退職や異動の挨拶もあった。

28年度もいよいよあと1日となった。

議会事務局で退職辞令交付

2017年04月01日



3月31日（金）、10時に加西市へ。加古川西部土地改良区の第50回総代会が行われ出席した。

昼前には登庁。午後1時45分から議会事務局の退職辞令交付

式が行われ、山本嘉彦事務局長に藤田議長から退職辞令が交付された。

副議長室で年度末の事務を行い、雨の降るなかを元町商店街にある「北播磨おいしんぼ館」へ。めあてのピーツジャム（うれしの生涯大学ピーツ広め隊）はとっくに完売していた。店頭においてある社高校Seicaがつくた加東市のご当地カレー「桃入りキーマカレー」をもって店長さんと記念写真。1回目の入荷分は売れて、2回目分が並べてあるということだった。



辞令交付式

2017年04月04日



3日（月）、10時前には登庁。今日は県庁新規採用職員らの辞令交付式が公館で行われ、その後議会事務局の辞令交付式が行われた。林局長、大谷次長はじめ事務局職員に対して辞令が藤

田議長から交付された。

今日は副議長室で執務。その間、来客、異動の挨拶などが相次いだ。県立博物館のひょうご歴史研究室の研究紀要の創刊号、第2号が届いた。播磨国風土記や赤松氏など身近な地域に養う最新の研究成果だけに興味深く読ませてもらった。

中国広東省から来県

公館で県体協会長・理事長会開催

2017年04月13日



12日（水）、9時30分頃登庁。10時前に中国広東省からの訪問団を迎えた。化粧品に関する調査のために来日、新潟県や兵庫県の取り組みを調査している。今年は兵庫県と広東州の

友好35周年の節目を迎えることや神戸ビーフなどに話が弾んだ。

午後1時30分、県公館で29年度兵庫県体育協会加盟団体会



長・理事長会が開かれ、県ソフトボール協会会長として出席した。今秋に予定されている日本マスターズ2017兵庫大会、東京五輪の翌年には、ワールドマスターズゲームズ2021関西が

開催される予定で、準備体制や取り組みなどが報告された。

中国古代鏡の展示館開館—県立フラワーセンターに

2017年04月14日



13日(木)、午後2時、加西市にある兵庫県立フラワーセンター内に建設された県立考古博物館加西分館の開館記念式典に出席した。



この分館は、加西市の千石唯司氏(加西商工会議所会頭)が蒐集した古代中国鏡のコレクションを県に寄贈し、県ではこれを展示公開して広く鑑賞できるようにするため建設したもの。井戸知事は挨拶の中で、経緯に

関わるエピソードを紹介し、特に古代鏡の歴史的、学術的な価値は正倉院レベルと、世界に向けて発信したいと述べた。

式典には文化振興議員連盟や文教常任委員、地元議員ら多くの

県会議員が出席するなか、副議長として祝辞を申し上げる機会を得た。ぜひ、多くの皆さんに鑑賞してもらいたいが、特に児童生徒に本物の銅鏡を間近に見てほしいと申し上げた。

考古博物館の和田館長は、コレクションの世界的価値にふれ、この分館が古代鏡研究のメッカとなるようにしたいと意欲を述べた。

千石氏夫妻に井戸知事から感謝状が贈られ、これに対して、千石氏は夢が実現して感無量だ。これからはこの分館をさらに多くの人に楽しんでもらえるように育てていきたいと述べた。

式典のあと、出席者らが分館内の展示を鑑賞した。古代中国の「夏」時代のものと考えられる鏡をはじめ、各時代の鏡が見やすく展示されていた。一枚一枚の鏡を見ながら、その輝き、文様、さらには彩色など、初めて見る古代鏡の神秘的な文様、美しさなどに圧倒された。

明日から一般公開となる。ぜひ、足を運んで中国古代鏡の世界に浸っていただきたい。

県議会で障害者アート展オープン

2017年04月18日



17日（月）、9時過ぎには登庁。今日は、県議会の正副議長応接室での障害者アート展のオープニングセレモニーが行われた。

3号館5階の正副議長応接室や廊下を展示会場とし、絵

画19点、書道8点、写真4点、工芸などの作品7点の38点の作品が公開された。

応接室では先に行われた美術・工芸作品展で、絵画、書道、写真の部で議長賞に選ばれた、3人の作者と家族、障害者団体、支援団体の代表の方を招いて正副議長と懇談が行われた。「その鯛の行方は、」を描いた四元雄飛さんは、これからも頑張って絵を描くと話し、「慈」を書いた岩元祐磨さんは、書道パフォーマンスもやる予定だとか。「宇宙」と名付けた石垣と空の写真の作者、今井寛さんは家族が天地を逆さまにして見ているところを見て、この作品を思いついたという。

今日から21日（金）まで作品展が行われる予定。正副議長室にも障害者アートが展示されているのでぜひご覧いただきたい。

11時から市内のホテルで第18回兵庫りぶるの会が行われ、県内の自民党女性部の黨員ら約360名が出席した。来賓の井戸県知事や久元神戸市長らも挨拶に立った。橋本聖子自民党参議院議員会長が記念講演を行い、女性議員としての自らの結婚、出産、子育て体験を交えながら、女性が活躍できる社会づくり、東京オリンピックを契機とした日本の経済、社会の活性化、健康づくり、オリンピック後の社会を展望した取り組みの必要などを熱く語った。アスリートとして、役員として何度もオリンピックの場を踏んでいる橋本聖子さんならではのエピソードが興味深かった。

県議会障害者アート展閉幕

2017年04月22日

21日（金）、10時過ぎには登庁。

エレベーターで5階正副議長室での障害者アート展を観るために来られた方と出会った。「こころのアート展」を通じて知ったこうべ市民福祉振興協会の方だった。また、県立北はりま特別支援学校の内藤校長先生も鑑賞され、特に副議長室に展示している同校の卒業生の岸本詩音さんの作品を感慨深く観ておられた。昼過ぎには兵庫教育大学附属中学校時代の教え子のお母さんも友人とお越しになった。また、昨日は神戸市内在住の社高校の同窓生も夫婦で鑑賞し、とてもよかったと電話ももらった。



今日が最終日ということもあり、午前中から多くの方が鑑賞され、延べ500人余りの人が訪れるという予想以上の盛況だった。生の声として、まずは作品の素晴らしさに感動した、次にこうした企画がなければ県議会に来ることはなかった、よい経験だったという声などを耳にした。この試みを契機として、さらに広く県民の皆さんに開かれた県議会をめざしたい。

今日の自民党県議団の総会に於いて、執行部の交替が行われた。新幹事長には加田裕之議員（神戸市長田区：4期）が、新政調会長には小西隆紀議員（篠山市：3期）が就任した。これに伴い、幹事長室、政調会長室の副幹事長や副政調会長ら新役員が就任し、新たな執行部体制で29年度のスタートを切った。

ところで、新聞報道もされたが、念願だった「議員任期と選挙期日のずれ」の解消へ向けた特例法案が今日21日の衆議院本会議で可決、参議院に送られ、本国会で成立の見通しとなった。大

きな前進だ。

日本会議北播磨－佐藤正久参議院議員が講演

2017年04月23日



22日（土）、今日は滝野文化会館（加東市下滝野）で日本会議兵庫北播磨支部の総会と講演会を行った。午前10時には支部役員が集合し、準備にあたった。

12時から総会。私は支部長として挨拶し、来賓の藤井ひさゆき衆議院議員、安田正義加東市長、藤原昭一県議会議員から挨拶をいただいた。来賓には、大豊康臣県議会議員はじめ加東、西脇、加西、多可の市町議会議員の皆さんに出席いただいた。

24年12月8日に設立総会、25年4月28日に第1回総会を開いて今年で5回目。また、記念講演会は26年の第1回百地章、2回八木秀次、3回ケントギルバートの各氏を招き憲法改正をテーマに行ってきた。4回目の今年は佐藤正久参議院議員をお



招きし「緊張高まる国際情勢と日本の防衛」と題し、喫緊の課題である防衛をテーマにお話いただいた。

約150名の参加者が佐藤氏の講演を熱心に聴き入った。佐

藤氏は大陸側から見た日本地図を示しながら、ロシア、中国から見た日本列島の軍事的な位置関係の持つ価値を指摘し、朝鮮半島情勢と自衛隊の態勢について語った。

「備えあれば憂いなし」の態勢で国民保護法に基づく訓練を実施することが重要だと指摘。特に兵庫県は日本海、北朝鮮に直接面していることをもっと強く認識すべきと話した。北朝鮮がミサイルを発射したことを察知して国民に知らせるまで3分、着弾するまでに数分しかないなかで如何に生命の安全を確保するか。まさに現実的な課題である。

憲法前文にいう「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」との国際情勢観で安穏と過ごしてきた日本だが、今、現実はいままでの逆の状況に直面している。国の独立、主権、国民の生命の安全を保持するための体制をしっかりと構築し、国民自身がその気概を持たなければ目的を達成することはできないことを改めて認識することができた。

7月17日には日本会議兵庫県本部の総会を西脇市で開催することになっており、記念講演には竹田恒泰氏を予定している。北播磨から誇りある国づくりを発信していきたい。

広島で13都道府県議長会議 伊丹で県市議会議長会総会

2017年04月28日

26日（水）、新幹線で広島県へ。呉市の海上自衛隊呉総監部に池太郎総監（海将）を表敬訪問した。同総監部の岩崎幕僚長が



同席され、兵庫県の防災や阪神基地隊の活動を通しての県や議会との交流など、日頃からの協力に感謝するとともに、南海トラフ巨大地震などへの備えについても意見交換を行った。雨の中を総監部の施設なども見学させていただいた。戦時中の地下作戦室が今年の夏には公開の予定と聞いた。

午後、広島市内のホテルで第226回13都道府県議会議長会議が行われ、兵庫県議会を代表して出席した。今回の会議では「議員提案条例に関する取り組みについて」をテーマとし、各議会の発表と意見交換が行われた。兵庫県議会ではこれまで2件の議員提案政策条例を制定しており、議員提案のプロセスについても申し合わせをつくり、現在県産木材の利用促進に関する条例づくりに取り組んでいることなどを報告した。わが県の取り組みに対する質問もあり、活発な意見交換になった。会議後も、出席の



議長、副議長さんらと情報、意見交換を行うことができた。

27日（木）、午後1時30分、伊丹市内のホテルで開催された第253回兵庫県市議会議長会総会に出席し、兵庫県議会を代

表してご挨拶を申し上げた。地域創生本格化の実施と議会の役割などについて、県議会の議会改革などを紹介した。

県公館で自殺対策セミナー

2017年04月29日

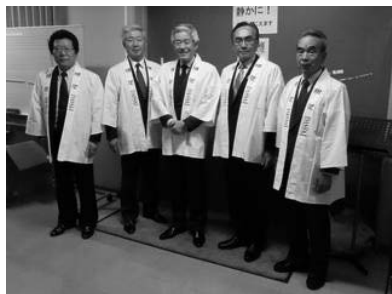
28日（金）、10時には登庁。決裁文書がたまっていた。11時から県公館で行われた「いのち支える自殺対策トップセミナー in 兵庫」（主催：厚労省、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク、兵庫県）に出席し、基調講演、各論講演を聴講した。平成28年の自殺者数は21897人。3万人を超えていた2000年代はじめに比べると減少しているが、自殺率はアメリカやイギリスなどの先進国の2,3倍とまだ高いのが現状だ。「誰も自殺に追い込まれることのない”生き心地の良い兵庫”をめざして」のテーマにそって、国、都道府県、市区町村の自殺対策の推進計画、推進センターづくりについて、県下各市町の首長、担当者、支援グループなどの代表が出席し、講演を聴いた。

今日は4月28日、主権回復の日だ。しかし、国の独立と平和が今、朝鮮半島情勢の緊迫などによって危機に立っている。主権の重みを考える日だが、明日から大型連休が始まる。

獺祭の幟が立つ藤田地区—村米契約10周年

2017年05月01日

30日（日）午後、やしろ国際学習塾へ。「地域のチカラ」フェスティバルが開かれた。そのオープニングは日本酒「獺祭」（だっさい）の旭酒造（山口県）会長の櫻井博志氏や加東市藤田地区



の藤田山田錦部会の杉本会長らと鏡開き。このフェスティバルは、旭酒造と藤田地区の村米契約10周年を記念して行われたもので、櫻井会長の講演や地域を舞台に活躍する音楽家などが

演奏を披露する。

櫻井会長は講演の中で、酒米の王様、山田錦の主産地である兵庫県の特A地区に指定されている藤田地区と村米契約を行い、最高の品質の日本酒づくりに取り組んできた思いと歩みを熱く語った。会場では「獺祭」の販売も行われ、休憩中には行列もできる人気だった。

写真は鏡割の前に舞台裏で櫻井氏らと撮したものと、パンフレットの写真。

6月議会へ向けて―議運や議員団総会、研修など

2017年05月09日



大型連休明けの8日(月)、朝少し歩き、登校見守りに立ってから、9時30分頃には登庁。6月議会の1ヶ月前で議院運営委員会はじめ各会議や議員研修などが行われた。

各会派代表者会議では県議会サテライトゼミの受け入れについて実施計画が議長から伝えられた。引き続き、議会広報委員会が

開かれ、今年度の広報計画などを協議した。議会広報の配布方法などについて意見が出された（写真）。

11時から議会運営委員会が開かれ、6月定例県議会の日程、予定議案、議運や常任委員会の会派別委員の割り振りなどが協議された。また、閉会中の常任委員会の地方開催、議員任期の特例法について、国会での成立後の県議会での議案上程について「あり方検討会」の開催などが話し合われた。

午後も自民党県議団総会、議員政策法務研修が続いて行われた。この法務研修会は議員提出条例に取り組んでいるなか、全国都道府県議会議長会法制執務アドバイザーであり、元衆議院法制局で法律を作る立場にあった浅野善治氏（現大東文化大学大学院法務研究科教授）を講師に、その豊富な経験をもとにした条例制定における課題や注意点等について講演していただいた。法律や条例をつくるという作業について、議員自身の実感、感性を活かしながら、まず取り組みを進めていくことが大事なことであることを強調された。

終了後、日印友好兵庫県議会議員連盟の設立総会が行われた。今日も黄砂が飛ぶ一日だった。

議員任期特例法が成立

2017年05月13日

12日（金）、今日、午前の参議院本会議で、念願だった議員任期と選挙期日のずれ解消の特例法が成立した。阪神淡路大震災の影響で任期と選挙がずれ、いわゆる「2ヶ月の空白」が生じたままだった。

この不正常が状態を解消するために、足掛け3年がかりで地元関係議会が連携して取り組みを行い、国、政党、国会議員等へ特例法制定の要望を続けてきた。議員提案により、4月に衆議院を通過、今回ようやく参議院で可決され成立した。

県議会では、特例法の成立を受けて、6月議会で、次の選挙で選ばれる議員の任期を2ヶ月短縮し、3年10ヶ月とすること等を定めた議案を提出し、議決することになる。私もそうだったが、4月の統一地方選挙で当選し、議員としての任期が始まるのが6月という、「議員予定者」の2ヶ月があった。議員としての立場も報酬もないこの空白の2ヶ月が平成35年からなくなることになった。

今回の特例法の成立は、県民市民の声を受け、まず地元関係4議会、首長が一致し、地元総意として、国への働きかけを行ってきたことが、政党、国会議員を動かし、議員提案による特例法制定への動きにつながったといえる。自民、公明、民進、日本維新の賛成で可決にいたった。汗をかいていただいた県選出国会議員の皆さんに感謝したい。

夜、加東市内で兵測協東播支部の総会・懇親会に出席した。この特例法の成立も報告させていただいた。夜になって雨が降り出した。明日はいろいろ行事が予定されているのにうらめしい雨だ。

加古川改修事業滝野地区着工式典

2017年05月15日

14日(日)、天気は快晴、風も心地よく、庭の若葉がまぶしく光る。

午後3時過ぎ、加東市下滝野地区の加古川河川敷へ。加古川河川改修工事滝野地区着工式が行われた。加東市、国交省、兵庫県、地元地区住民ら関係者が出席し、工事の無事を祈り、鍬入れ式を行った。



開式の前には地元滝野地区の和太鼓グループの子供達が演奏。式では安田加東市長が式辞を述べ、末松国交副大臣、藤井政務官が国交省を代表して挨拶。続いて、渡海衆議院議員、足立参議院議員、私、三石兵庫県理事が祝辞を述べた。この後、工事概要の説明が行われ、最後に西山滝野地区代表区長が期待の言葉を述べた。

今後10年かけて、滝野地区2.7キロにわたり、高さ4メートルの堤防を築く。そのために130戸の立ち退きが必要となり、地元地区の皆さんの協力を得ながら工事が進められる。式のあと、地元下滝野の神結酒造の日本酒で鏡割り、関係者が着工を祝うとともに工事の無事を祈った。

叙位伝達 代表者会議や議運、議員団総会

2017年05月17日

16日（火）、10時半、県議会事務局と故中村敏明県議会議員の正五位の叙位の伝達のため、加東市上三草のお宅に伺った。先生の御遺影の前で、ご子息に位記をお渡しした。中村敏明先生の奥様からは、県会議長時代の思い出話なども聞かせていただき、



「今日の叙位を主人もさぞ喜んでいるでしょう」との言葉をいただいた。

12時過ぎに登庁。1時から議会事務局のレクを受け、2時、各会派代表者会議、2時15分から議会運営委員会が開かれた。常任委員会の県内出張開催の件が了承された。午後3時からは自民党議員団総会が開かれ、各会派代表者会議・議運の結果の報告や、議会役員候補の選挙手続き等についての説明が行われた。午前中行われた議運の選挙期日と議員任期のあり方検討会の報告もなされた。国会での特例法の成立を受け、兵庫県議会への適用を行うための議案提案等が検討された。

農政環境常任委員会 県功労者表彰

2017年05月18日



17日（水）、今朝も定番コースを歩く。そして登校見守りに立った。

昨夜から今朝にかけて秋篠宮眞子内親王殿下のご婚約の報道が続いた。テレビ画面にテロップが流れたときには「ええっ！」と驚きと喜びが一緒になって叫んでしまった。嬉しいニュースに家族との話も弾んだ。お相手は大学時代の同級生とのこと。実におめでたいことだ。眞子内親王殿下は、お小さい頃から成年となられるまでのご様子を皇室報道などで見

続けてきただけに、ご婚約の報道はやはり嬉しく、驚きだった。

9時30分過ぎに登庁。決済やスケジュール調整などの事務を行い、10時30分から農政環境常任委員会に出席した。閉会中の調査事件として、「豊かな再生と水産業・浜の活性化について」、「漁港・漁村の整備について」について、当局の説明と質疑が行われた。日本海と瀬戸内海をもつ兵庫県は全国有数の豊かな水産県であり、質問も相次いだ。私も内水面漁業について、アユの遡上が可能な河川環境づくりなどについて質問した。今年の農政環境常任委員会は「漁業」を特定テーマに掲げて管内、管外調査でも漁港や水産業、漁業関係施設をよく調査した。17回の委員会、4回の管内（県内）調査、1回の管外調査、そして、特定テーマ研究に関する調査、討議などを重ねてきた。

午後1時過ぎ、県公館へ。今日は29年度兵庫県功労者表彰が行われ、各分野で功労のあった人々が表彰を受けた。私も先輩同僚議員らと共に県政功労の部門で表彰を受けた。誠に身に余る光栄であり、これまで自分を支えて下さったすべてのの方々に感謝の気持ちでいっぱいになった。これを契機に、気を引き締めて、これからも精進し、県政推進のために頑張っていきたい。式には加東市関係や教育関係などつながりの深い方々もあり、お互いの受賞を祝福しながら懇談した。

地方議会協議会 議員団総会で議長候補選出

2017年05月23日

22日（月）、11時から県庁議長応接室で、29年度第1回兵庫県地方議会協議会が行われた。出席者は市議会議長会会長



の岩下西宮市議会議長、町議会議長会会長の岡本佐用町議会議長、とそれぞれ事務局長。今回は、「議員任期特例法について」と「閉会中の常任委員会の地方開催について」などを議題として協議

を行った。

県町村会総会 県議会・三市議会連絡会

2017年05月24日



23日（火）、9時30分頃登庁。10時にアメリカ合衆国ワシントン州からのお客様を正副議長でお迎えした。元ワシントン州上院議員のカレン・フレーザーさん。兵庫県とワ州は50年以上の友好関係にあり、今回は神戸開港150周年を機に来

日され、知事、県議会議長を訪問されたもの。私も同席し、安田加東市長からのメッセージとプ加東伝の助グッズのプレゼントをお渡しした。フレーザーさんはオリンピア市と友好都市である加東市にも過去に訪問されている。昼食もご一緒し、今後の関係発展に向けて話が弾んだ。

13時30分、市内のホテルで開催された兵庫県町村会定期総会に出席してお祝いを述べた。県下12町の首長さんはじめ関係者が出席し、戸田会長から自治功労表彰が行われた。

16時、県議会に於いて、神戸市会、西宮市議会、芦屋市議会の連絡会が行われ、選挙と任期のずれ解消のための特例法の成立の報告、適用に向けた各議会の取り組みなどについて協議を行った。各議会とも6月議会での議決をめざして準備を進めている。

県政150周年記念事業企画委員会

2017年05月25日



24日（水）、10時から県公館で行われた「県政150周年記念事業企画委員会」に議会代表、顧問として出席した。前回の委員会での協議を踏まえて、基本方針案が作成され、担当部

署から説明が行われた。その後の協議では、各委員がそれぞれの分野から、提案された企画などについて活発な意見を述べ、時間が足りないほどであった。それだけ、150周年への期待が膨らんでいるということだと感じた。

県町議会議長会総会など

2017年05月26日

25日（木）、10時前には登庁。議会事務局のレクを受け、10時15分から「選挙期日と議員任期のあり方検討会」に出席。続いて、議会運営委員会が開かれ、6月定例会の提出議案、日程等について協議が行われた。また、「選挙期日と議員任期のずれ」解消の特例法の適用について議案等を協議した。6月1日の定例



会開会日に議運の発議で提案され、表決が行われる予定だ。表決は特別な議案であるため、記名投票になる見込み。

午後1時、自民党議員団総会。途中退席し、神戸市内で行われた兵庫県町議会議長会総会に出席し、お祝いを申し上げた。午後4時30分から加東市内で行われた北播磨地域政策を語る会に出席した。北播磨県民局の29年度の主な施策について説明を受け、懇談を行った。

青野原駐屯地創設41周年—迫力の訓練展示

2017年05月29日



28日(日)、9時30分過ぎ、陸上自衛隊青野原駐屯地へ。今日は駐屯地創設41周年記念の式典と駐屯地まつりが行われた。隊員、車輛などの観閲のあと、音楽隊の演奏、チアダンス(兵教大)やよさこい踊り(篠山)などが披露された。お待ちかねの訓練展示では、桜台に侵入した敵部隊を迎撃するため、戦車、装甲車、ミサイル、自走砲、ヘリなどが出動し、迫力ある攻撃

を展開し、掃討作戦は完了した。戦車砲は会場の空気を振る寄せた。12時30分から体育館で懇親会が開かれ、ご指名により乾杯の発声を行った。

ひょうご科学技術協会学術研究助成金贈呈式

2017年05月30日



29日（月）、今日は人間ドック。8時前には加東市民病院へ。検査は11時頃にはすべて終わった。

午後3時に登庁。議会総務課のレク、自民党政調会長室での打合せなどをし、午後4

時から県庁近くのラッセ・ホールで行われた「ひょうご科学技術協会の29年度学術研究助成金贈呈式」に出席し祝辞を述べた。

昨年は文教常任委員長として出席し、研究発表も聞かせていただいた。内容は専門的なのでとても理解が及ばないが、県内の大学や研究機関などで基礎的、独創的なテーマで地道に研究を行っている研究者へ支援をするものだ。今年は185件の応募があり、35件が助成の対象となった。

県議会で大学サテライトゼミ

2017年06月01日

31日（水）、11時30分登庁。今日は議会改革の一環として取り組んでいる県議会での大学サテライトゼミが行われる。



午後1時30分から、関西福祉大学（赤穂市）の社会福祉を学んでいる15名の学生らがゼミの先生とともにまず本会場などの見学と議会のしくみについて議会事務局から説

明を受けた。

続いて、2時から7階会議室においてゼミが開かれ、「上郡町における山上集落への生活支援の実践的取り組み」の発表を行った。指導教官の溝端教授が司会、解説をしながら、移動販売車とらいあんぐる号で山上集落を巡回しながら生活支援に取り組んだ結果見えた課題などを発表した。その後、出席議員との意見交換会が行われた。議会からは正副議長その他、大学の地元選出の長岡壮壽議員ら8名が出席し、活発な意見が行われた。



4時過ぎ、副議長室で兵庫県150周年のちまわり企画委員会が行われ、先の企画委員会で出た意見などを参考にまとめられた企画案について説明を受けた。

事務所にもどり、事務整理をして今日一日を閉じた。いよいよ明日から6月議会が開く。議員任期の特例法の適用について議案が提出され、採決が行われる。特別決議だ。歴史的な瞬間をお見のがしなく。

全会一致で議員任期特例法の適用を議決

2017年06月02日



1日（木）、9時前に登庁。当局のレクを受け、10時から議会運営委員会。続いて10時30分自民党議員団総会。そして、11時、第336回定例県議会が開会した。会期は6月9日ま

での9日間。知事から暴力団排除条例の一部改正案など11件の議案が提出され、提案説明が行われた。

次に議員提出の議案、「議会の議員の任期の特例」が上程され、提出者の石川憲幸議運委員長が提案説明を行った。石川議員は阪神淡路大震災によって生じた選挙期日と議員任期のズレ、いわゆる空白の2ヶ月問題の経緯、解消に向けての関係議会、地元自治体の一致した決意と国への働きかけを行ったことなどを述べ、その結果国会で議員任期の特例法が制定されたことを受け、兵庫県議会にその適用を議決する必要があると説明を行った。震災の負の遺産を解消するこの議決を呼びかけた。

採決は特別の議決として、議員数の4分の3以上の出席、その5分の4以上の同意が必要となり、議長により記名投票を行うこととなった。各議員に白票、青票の札が配られ、白票は賛成、青票は否決を示す。議員は点呼に応じて順次投票を行った。この札が使用されるのは31年ぶりと聞いている。結果、投票数86票、うち白票86票、青票0票で全員賛成で可決された。期せずし

て議場は拍手が湧き起こった。まさに歴史的瞬間であった。この議決により、議員任期の開始を今の6月11日から、震災前の4月29日とすることになり、そのため、次の統一地方選すなわち31年の選挙では、議員任期は4年より2ヶ月短い3年10ヶ月となることを前提とした立候補、投票ということになる。これにより、35年の統一地方選挙で正常な状態が実現することになる。

阪神基地潜水艦公開・県建築事務所協会50周年

2017年06月03日



2日（金）、10時前に海上自衛隊阪神基地隊へ。今日は潜水艦の特別公開が行われた。うずしお型潜水艦「うらしお」。説明を受けたのち、乗艦し、艦内を見学した。潜水艦は二度目だったが、艦内の剥き出しの機器類、機械類、そして通路などの狭さにあらためて驚いた。日本の海の守りの最前線で活躍する潜水艦。い

ざという時には敵艦船を一撃で沈めてくれる頼もしい存在だ。乗組員の夏服の白がまぶしく爽快だった。隣に掃海艇「つのしま」が停泊していた。

午後3時40分、神戸市内のホテルで行われた兵庫県建築士事務所協会の29年度総会・創立50周年記念式典に出席しお祝いを申し上げた。耐震工

29年度通常総会 創立50周年記念
一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会



事が急がれるなか、安全安心の確保について建築のプロである建築士の皆さんの一層のご協力をお願いするとともに県産木材の利用促進についてもお願い申し上げた。

日本スポーツマスターズ100前イベント

井戸知事県政報告・日本会議兵庫女性の会

2017年06月04日



3日（土）、9時30分、三木総合防災公園陸上競技場へ。日本スポーツマスターズ2017兵庫大会の100日前イベントが行われ出席した。

実行委員会の会長である井戸知事が挨拶を述べ、そのあと、ゲストの北澤豪（元サッカー日本代表）らとともにカウンタダウンボードの除幕を行った。ボードには「100」の数字が光っていた。続いて、選手代表決意表明、マフラータオルを手に持って、サッカー教室に参加する地元少年少女サッカーチームの子供達らとともに参加者全員が記念撮影を行った。

10時30分、小野市商工会館へ。井戸知事の県政報告会が行われ地元北播磨選出の県会議員らとともに出席した。会場は満席、立ち見も出るほどで、蓬萊務小野市長、藤原昭一県会議員の挨拶に続





いて、井戸知事が約40分にわたり「新兵庫への挑戦」を熱く語った。

午後1時30分、神戸市の生田神社会館へ。日本会議兵庫女性の会主催の第9回教育講演会が開催され出席した。出席県会議員を代表して挨拶を申し上げた。講師は白駒妃登美氏。「歴史を学べば希望が生まれる」と題して約90分にわたり講演。白駒氏は、がんを好きな歴史の本を書くことで克服し、その後は学校などで、日本の素晴らしい歴史に誇りを持てるように体験談などを講演したり、執筆活動を行い、講演は年200回を超え、執筆も6冊になっている。講演では、最後の沖縄県知事島田叡さんやエルトゥールル号を通したトルコとの秘話なども紹介し、日本人の生き方の基盤に歴史や道徳性があると話された。

東播磨南北道路北工区起工式

2017年06月05日



4日（日）、午後1時前、東播磨南北道路北工区起工式式典会場の加古川市八幡町の下村地区へ。小野市から加古川へ通じるこの道路は加古川市立平岡東小学校に勤務していた2年の間、

毎日通勤のために走った道だ。懐かしい景色を見ながら会場へ。爽やかな風が吹いて心地よい。

東播磨南北道は加古川市と小野市、すなわち東播磨と北播磨を結ぶ南北の大動脈となる道路だ。すでに南工区は開通しており、八幡ランプから国道175号までの北工区の完成が待ち望まれるなか、その起工式が行われた。



既成同盟会の会長の蓬莱小野市長が責任を持って用地買収、確保を行うと宣言し、末松国土交通副大臣、藤井政務官、渡海衆議院議員はこの南北道は長年の願いであると強調。釜谷県会議員（東播磨道議連会長）はその経済効果の大きさを強調した。

この南北道が完成すれば、加東市から加古川中心部まで30分以内になり、北播磨総合医療センター、加古川医療センターまで20、30分以内になり、まさに命の道となる。また、南北県道の渋滞が解消され、通勤は飛躍的に短縮される。北播磨に住んで、臨海部に勤めるという暮らしが快適に実現することにもなる。播磨臨海道路の整備が進めばさらに物流が活発になるだろう。

本会議（一般質問日）

2017年06月08日

7日（水）、雨。いよいよ梅雨入りだ。今朝も7時30分には県庁へ向かう。

9時議会運営委員会、9時30分自民党議員団総会。10時から本会議が開かれた。



一番手は岡つよし議員（自民：加古郡選挙区）。「ふるさと意識の醸成につながる県政150周年記念事業について」をはじめ6項目7問について質した。続いて公明の松田一成議員が質問。昼の休憩



時に議員団総会。

午後は議長席で、維新の高橋みつひろ議員、共産党の入江次郎議員の2人の質問の議事を進行した（写真）。休憩ののち、本会議が再開され、一般質問の最後は、自民党の原テツアキ議員（淡路市選挙区）が登壇し、「地域祖父母モデル事業」など7項目について質した。これで質疑質問が終局し、議案

が常任委員会に付託された。続いて請願4件が常任委員会に付託された。明日は常任委員会が開かれる。

6月定例会閉会

—新正副議長選出・議員提案条例も

2017年06月10日

9日（金）、9時過ぎには登庁。10時議会運営委員会、10時30分自民党議員団総会、そして、11時本会議が開かれた。

本会議では、暴力団排除条例改正案、明石市の中核市指定の同意案、監査委員、収用委員の同意人事案、そして議員提案の「兵

庫県産木材の利用促進に関する条例」案などの採決が行われ、いずれも可決した。商業地域、近隣商業地域での暴力団事務所を排除する条例は全国初となる。県産木材利用促進条例は議員提案の政策条例として制定された。また、「北挑戦によるミサイル発射に対する漁業者の安全確保を求める意見書」が決議された。



休憩ののち、午後1時から本会議が再開され、議長辞職、直ちに議長選挙が行われ、黒川治議員（尼崎市選挙区、自民党4期）が選出された。続いて、副議長辞職、直ちに選挙が行われ、高橋しんご議員（神戸市東灘区選出、自民党3期）が選出された。議長選では副議長としての最後の議事進行を務めた。そして、副議長退任の挨拶を壇上で述べ、黒川新議長と握手を交わして議長席を交代した。

思い起こせば、昨年の6月議会で副議長に選出され、今日の日まで、あっという間の1年間だったが、議会改革の取り組みを進めることができたことが一番の感慨だ。議員任期のずれ解消をはじめ、常任委員会の地域開催の決定、正副議長応接室での障害者アート展、大学生のサテライトゼミ開催など藤田孝夫議長の下で開かれた議会づくりに取り組むことができた。議長をはじめ、各議員に感謝の思いを込めて、新正副議長へバトンを渡した。

本会議終了後、各会派控室に挨拶回り、そして新旧正副議長とともに井戸知事、金澤、荒木両副知事に挨拶、懇談を行った。そ

の後、副議長室から4階の自民党控室の新しい席に1年ぶりに戻った。

3年目は、議員定数等調査特別委員会の委員、自民党農政環境部会長として初心に立ち戻って精進していきたい。

兵庫県議会副議長 藤本百男退任挨拶



副議長を退任するにあたり、一言お礼のごあいさつを申し上げます。

昨年6月、第332回定例兵庫県議会におきまして、議員各位の温かいご支援を頂き、栄えある歴史と伝統に輝く兵庫県議会第124代副議長の要職に就任させていただき、今日まで大過なく務めさせていただきました。

この1年間を振り返りまして、豊かな経験と識見優れた藤田議長をはじめ、先輩、同僚議員の温かいご支援、ご協力を賜り、重責を果たすことができました。皆様の温かいご厚情の賜物と心から深く感謝を申し上げます。

また、井戸知事をはじめ、県当局の皆様方には、終始変わらぬご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。この場をお借りし、厚くお礼を申し上げます。

副議長在任中は、県議会の代表として、各行事や会合等への出席、外国からの訪問者との交流、全国都道府県議長会での他府県の正副議長等との意見交換など貴重な経験をさせていただき、県議会の権能と信頼をより一層高めるため、藤田孝夫議長とともに

誠心誠意務めて参りました。

昨年8月には、兵庫県議会エメックス会議訪問団の団長として、13名の議員とともに、ロシアでの第11回世界閉鎖性海域保全会議に出席し、会議参加者との意見交換を行うことで、環境保全に関する知見を深め合い、国際交流を図ることができました。

広報委員会の委員長としては、県民の皆様にとって、より身近で開かれたものとなるよう、「大学生との意見交換会」や「正副議長応接室等での障害者アート展」等の新たな試みにも取り組みました。

兵庫県議会は、政務活動費の領収書や報告書等のインターネット公開をはじめ、ルール of 厳格化や情報公開に加え、政策立案機能の強化等で全国トップクラスの議会改革を進めていることで注目をされておりま

す。そうした中、去る5月12日に「議員等任期の特例法」が成立し、本定例会開会日の議決を以って、選挙期日と議員任期のズレが解消されることになりました。県議会の全会派と関係する3市が足並みを揃え、地域の実情に応じた法案を国に求め、それが実現したことは大変意義深いものであります。

これからは、地域創生の実現に向け、県議会が地域の声を吸い上げ、知事の政策と調和させることがますます重要となります。

今後は、150周年の節目を迎える県政の将来を見据え、これまでの経験を活かし、今年度から開始する常任委員会の県内各地での開催をはじめとした「兵庫県議会の活性化」や「地域創生の実現」、「ふるさと兵庫の発展」のために、全力を注いでまいりたいと考えております。

議員各位をはじめ、関係機関の皆様方には、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げ、私の退任のあいさつに代えさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。

藤本百男議員活動の記録

(平成28年4月1日～平成29年6月9日)

平成28年

—4月—

- 4月1日(金) 加東消防署東条分署開庁式
嬉野素真水墨画会「まほろばWith18号」発刊
- 4月2日(土) コスミックホールの新しい出発式 青野原駐屯地観桜会
- 4月3日(日) 加東市消防出初式 社分団出発会日
- 4月4日(月) 加東事務所 市内桜名所見学
- 4月5日(火) 兵庫県立大学入学式
- 4月6日(水)
- 4月7日(木) 登校見守り開始(新学期) 東播磨グラウンドゴルフ協会総会
- 4月8日(金) 市内小中学校入学式、社高校入学式
- 4月9日(土) 加東市たびーら出発式 加東市商工会青年部総会
三草ふれあい広場わくわく探検 加東エコ隊総会
- 4月10日(日) 河高地区、上滝野・光明寺地区運動会 鴨川の郷桜まつり
- 4月11日(月) 県立北はりま特別支援学校入学式 加東市いずみ会総会
- 4月12日(火) 県庁政務調査 加東土木事務所長来所
- 4月13日(水) 市内団体等回り 加東事務所
- 4月14日(木) 県庁政務調査 熊本地震発生
- 4月15日(金) 加東市グラウンドゴルフ 自民党各種友好団体セミナー
- 4月16日(土) 鴨川小参観 北播磨自衛隊父兄会総会
コスミックホール音楽演奏会 加東市異業種交流会総会
- 4月17日(日) 清水桜まつり 地域再生会議：石破大臣講演(西脇市)
- 4月18日(月) 文教常任委員会 兵庫県ソフトボール協会役員懇談会
- 4月19日(火) うれしの学園生涯大学入学式 加東事務所
- 4月20日(水) 自民党加東市支部役員会 加東事務所
- 4月21日(木) コスモス会移動総会見送り 加東事務所
- 4月22日(金) 自民党議員団総会 県教育総合会議傍聴
- 4月23日(土) 日本会議北播磨支部総会・憲法講演会
鹿島学園高校入学式 青峰会総会
- 4月24日(日) 北播磨城郭研究会 J Aみのり女性会総会
ボーイスカウト募金激励
- 4月25日(月) 兵庫教育大学と社高校連携協定調印式 加東土木事務所来所
- 4月26日(火) 人間ドック
- 4月27日(水) 県庁政務調査 美しい憲法をつくる県民の会役員会

Ⅱ 議員活動ブログ「百聞百見」より

- 4月28日(木) 北播政経懇話会 教育を考える会(神戸)
兵測協東播支部総会
- 4月29日(金) 早起会 高岡地区体育 秋津百石踊り
- 4月30日(土) 加東事務所
- 5月 —
- 5月1日(日) 加古川川開き神事 初日会
- 5月2日(月) 加東事務所
- 5月3日(火) 花まつり・鮎まつり(滝野)
- 5月4日(水) うれしのフェスティバル(県立嬉野台生涯教育セ)
- 5月5日(木) 朝光寺鬼踊り法会
- 5月6日(金) 加東事務所
- 5月7日(土) 市内回り 事務所
- 5月8日(日) 兵庫県民体育大会開会式 加東市更正保護女性会総会
- 5月9日(月) 自民県議団総会
- 5月10日(火) 加東事務所
- 5月11日(水)
- 5月12日(木)
- 5月13日(金)
- 5月14日(土) 第49回日本女子ソフトボール1部リーグ豊岡大会(但馬)
内藤兵衛政経セミナー(西脇市)
- 5月15日(日) 加東事務所
- 5月16日(月) 文教常任委員会 大学生との意見交換会
自民議員団総会 教育懇談会
- 5月17日(火) 北播政経懇話会(県立フラワーセンター)
- 5月18日(水) 民生・児童委員協議会議場見学
東播磨消費者団体協議会総会(加西市) 兵測協懇談会
- 5月19日(木) 加東市老人クラブ連合会総会 後援会役員会
- 5月20日(金) 民生・児童委員協議会議場見学 自民議員団総会
- 5月21日(土) 加東市文化連盟総会 やしろ歴史民俗研究会総会
- 5月22日(日) 加東市家庭バレーボール連盟大会 地方議員セミナー(神戸市)
- 5月23日(月) 加東事務所 兵庫県宅地建物取協会総会・懇談会(神戸市)
- 5月24日(火) ひょうご科学技術協会学術研究助成金贈呈式・研究発表会
- 5月25日(水) 和心書道会作品展 北播磨地域政策を語る会
- 5月26日(木) 北播磨建設業協会総会 加東事務所
- 5月27日(金) 加東市立福田小議場見学
自民県議団行革WT勉強会 自民党議員団総会
- 5月28日(土) 兵教大附属幼稚園研究会 加東市陸上競技選手権大会

加東市花と緑のまつり－花き盆栽展

加東市シルバー人材センター総会

加東警察署友の会設立総会

5月29日(日) 新生兵庫をつくる会・井戸知事県政報告会(加東市)

5月30日(月) 兵庫県釣針協同組合総会 末松信介政経セミナー

5月31日(火) 県庁政務調査 後援会役員打合せ

—6月—

6月1日(水) 兵庫県LPガス協会定時総会

6月2日(木) **第332回県議会(開会)** 文化振興議連理事会

6月3日(金) 兵庫県防衛懇話会(神戸市) 自民党県連委員会

6月4日(土) 日村豊彦議員お別れ会(豊岡市出石)

6月5日(日) 青野原駐屯地創設40周年記念式典 朝起会

6月6日(月) 加東土木事務所来所

6月7日(火) 本会議(代表質問) 県議会水産議連とJF組合長との意見交換会

6月8日(水) 本会議(一般質問)

6月9日(木) MOA議連研修会(神戸市)

6月10日(金) **本会議(閉会) 第124代副議長就任** 兵庫県保育交流会

6月11日(土) 兵庫県自衛隊父兄会総会(西脇市) 河高地区歴史展

6月12日(日) 加東市消防操法大会 たかがい恵美子を励ます会(神戸市)

6月13日(月) 加東農林振興事務所来所 正副議長引継ぎ

加東市経済懇話会設立総会

6月14日(火) 神戸市議会正副議長挨拶 上京就任挨拶回り

6月15日(水) 引き続き挨拶回り

6月16日(木) 各会派代表者会議等

末松信介を励ます福祉のつどい(神戸市)

6月17日(金) 農政環境常任委員会 芦屋市議会正副議長挨拶

県庁稲門会(神戸市)

6月18日(土) 自民党兵庫県連大会 加東市まとい会・消友会総会

大豊康臣後援会発会式

6月19日(日) 加東事務所

6月20日(月) 加東市内回り 加東事務所

6月21日(火) 就任挨拶回り

6月22日(水) 参院選公示 登庁 就任挨拶回り

6月23日(木) 就任挨拶回り

6月24日(金) 劉素真水墨画展(県民会館) 登庁 就任挨拶回り

6月25日(土) 加東市ふれあいパラリンピック みのもりJA総代会

6月26日(日) 福田地区ふれあい敬老会 やしろ歴民研例会

Ⅱ 議員活動ブログ「百聞百見」より

- 6月27日(月) 兵庫県商店連合会総会 芦屋市長挨拶
- 6月28日(火) 兵庫県農業会議総会 末松信介候補加東市内遊説
- 6月29日(水) 自民党政談演説会(神戸)
- 6月30日(木) 加東事務所

— 7月 —

- 7月1日(金) 末松信介事務所 後援会役員会
- 7月2日(土) 市内こども園・保育園七夕まつり
- 7月3日(日) 加東市制10周年記念人権啓発講演会
- 7月4日(月) 県会・三市議会連絡会(西宮市)
- 7月5日(火) 末松信介選挙車同乗(加東市)
- 7月6日(水) 加東事務所
- 7月7日(木) 加古川改修促進期成同盟総会
- 7月8日(金) 兵庫県保健衛生大会(県公館)
- 7月9日(土) 末松信介街頭行動(神戸市内)
- 7月10日(日) 北播消防操法大会 参院選挙投票日
- 7月11日(月) 兵庫県地方議会協議会
- 7月12日(火) 加東事務所・作業
- 7月13日(水) ひょうご議友会役員との懇談 議会事務局との意見交換
- 7月14日(木) 加東事務所・事務整理
- 7月15日(金) 北播磨県民局来所 自民党県議団文教部会(県庁)
- 7月16日(土) 三草ふれあい広場防災訓練 親学学習会 平池まつり
- 7月17日(日) 資料整理
- 7月18日(月) 小田毅先生受賞祝賀会(神戸市内)
美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会総会・講演会
- 7月19日(火) 農政環境常任委員会
- 7月20日(水) 全国都道府県議長会(東京)
- 7月21日(木) 全国都道府県議長会(東京)
- 7月22日(金) ひょうご議友会意見交換会 県庁執務
- 7月23日(土) 加東事務所
- 7月24日(日) 緑の回廊囲碁大会 加東市文化財展
- 7月25日(月) 県庁執務 神戸商工会議所懇親会 上田天神祭
- 7月26日(火) 全国都道府県議長会(東京)
- 7月27日(水) 全国都道府県議長会(東京)
- 7月28日(木) 農政環境常任委員会管内調査2日目(西播)
- 7月29日(金) 加西農業普及所 後援会・党支部役員会
- 7月30日(土) おいしいごはんを食べる運動(県公館)
すいかまつり じぞう祭り

7月31日(日) 社五区公民館改修完成内覧会

— 8月 —

8月1日(月) 加東事務所

8月2日(火) 加東事務所 青野原駐屯地盆踊り

8月3日(水) 産業労働委員会管内調査 加東市花火大会 加東LC例会

8月4日(木) 政務調査会 新行政課説明

8月5日(金) 政務調査会 兵庫の公教育を考える会

8月6日(土) わかあゆ園夏まつり 市内地区盆踊り

8月7日(日) 兵庫県消防操法大会 社地区区長会

8月8日(月) 県庁 県市長会要望 土地改良団体要望

8月9日(火) 議会事務局説明

8月10日(水) 加東事務所

8月11日(木) かとう市民のつどい(環境)

8月12日(金) 加東事務所

8月13日(土) 加東事務所

8月14日(日) 市内盆踊り

8月15日(月) 市内盆踊り

8月16日(火) 第2回兵庫県地方議会協議会 市内盆踊り

8月17日(水) 県議会リポート収録 県社協29年度政策提言

8月18日(木) 農政環境常任委員会 町村会要望 市内盆踊り

8月19日(金) 北播磨地域づくり懇話会(北播磨県民局)

8月20日(土) 加東市子どもチャレンジ教室・ゆかた茶会

8月21日(日) 第11回世界閉鎖性海域環境保全会議出席のためロシア訪問出国

8月22日(月) ♫ サンクトペテルブルグ市

8月23日(火) ♫ サンクトペテルブルグ市

8月24日(水) ♫ モスクワ市

8月25日(木) ♫ モスクワ市

8月26日(金) 帰国

8月27日(土) 未来をひらく少年会議(嬉セ)加東市夏のおどり

8月28日(日) 織物感謝祭(西脇市機殿神社)

オカリナ・コンサート(LOCホール)

8月29日(月) 各会派代表者会議、議会運営委員会、広報委員会、議員団総会

8月30日(火) 文化振興議員連盟県立文化施設視察

8月31日(水) 近畿2府8県議会議長会議(淡路夢舞台)

— 9月 —

9月1日(木) 道路愛護感謝状贈呈式(北播磨県民局) 天神八朔祭

9月2日(金) 加東市老人クラブ滝野支部グラウンド・ゴルフ大会 初日会例会

Ⅱ 議員活動ブログ「百聞百見」より

- 9月3日(土) 県議会リポート放送（サンテレビ）
- 9月4日(日) 上福田地区ふれあい敬老会
憲法改正の発議を求める兵庫県民集会（神戸）
- 9月5日(月) 東条川疏水について講演（うれしの歴史探訪倶楽部）
- 9月6日(火) 上京（兵庫県地方分権推進自治体代表者会議として）
- 9月7日(水) 農政環境常任委員会管内調査（東淡）
- 9月8日(木) 国際フロンティア産業メッセ2016開会式、
兵庫県COEプログラム研究プロジェクト認定式
農政環境常任委員会管内調査（東淡）
北播政経懇話会（加西市）
- 9月9日(金) 加東事務所
- 9月10日(土) 加東市内中学校体育大会 日本女子ソフトボールリーグ尼崎大会
- 9月11日(日) G7保健外相会議歓迎レセプション
加東市社会福祉協議会10周年記念式典
- 9月12日(月) 自民党と各種友好団体との意見交換会
- 9月13日(火) 自民党と各種友好団体との意見交換会
- 9月14日(水) 県立社高校体育大会 各会派代表者会議
- 9月15日(木) 「敬老の日」制定50周年記念式典（多可町） 上組太鼓保存会
- 9月16日(金) 農政環境常任委員会 議会運営委員会
自民党団総会 自民党と若手農林水産業者との意見交換会
- 9月17日(土) 加東市内小学校運動会
- 9月18日(日) 米田地区ふれあい運動会
- 9月19日(月) 鴨川地区体育祭
- 9月20日(火) 台風16号近畿最接近（市内現地状況視察）
- 9月21日(水) 兵庫県高齢者の集い 日本会議北播磨支部例会
- 9月22日(木) 加東事務所
- 9月23日(金) **第333回定例県議会（開会）**
- 9月24日(土) 市内保育園、こども園運動会
兵庫教育大学連合研究科20周年記念式典
- 9月25日(日) 全国車いすマラソン（篠山市） 東条山田錦の里探訪ウォーク
加東市山田錦乾杯まつり 加東市吟剣詩舞連合発表会
- 9月26日(月) 黒川治県議セミナー
- 9月27日(火) 兵庫県食品衛生大会 後援会役員会
- 9月28日(水) 本会議（代表質問）
- 9月29日(木) 本会議（一般質問）
- 9月30日(金) 本会議（一般質問）

—10月—

- 10月1日(土) 日本酒で乾杯(姫路) 市内保育園、幼稚園運動会
木梨神社秋祭宵宮 上鴨川住吉神社秋祭宵宮
- 10月2日(日) 市内幼稚園運動会 上滝野春日神社秋祭 鷺尾弘先生通夜式
- 10月3日(月) 本会議(一般質問) 決算特別委員会設置
- 10月4日(火) 農政環境常任委員会 決算特別委員会傍聴
- 10月5日(水) 加東事務所
- 10月6日(木) 本会議 議会運営委員会 看護を支援する議員の会
- 10月7日(金) 加東事務所 上組前夜祭
- 10月8日(土) 加東市小学生陸上競技記録会 市内保育園運動会
佐保神社秋祭宵宮
- 10月9日(日) 佐保神社秋祭本宮
- 10月10日(月) 日本スポーツマスターズ2017兵庫大会1年前記念式典
- 10月11日(火) パラオ共和国訪問団(県庁)
- 10月12日(水) 兵庫川柳祭 in 加東の選考委員会(市役所)
- 10月13日(木) 北播政経懇話会
- 10月14日(金) 加東事務所
- 10月15日(土) 兵庫県社会福祉大会 社地域長寿を祝う会 兵教大附幼運動会
- 10月16日(日) 兵庫県母子寡婦福祉大会 はたらくくるま大集合
ひろのが丘30周年記念式典 加東市家庭バレーボール連盟大会
- 10月17日(月) 加東事務所
- 10月18日(火) 加東L.C.例会 加東事務所
- 10月19日(水) 地域安全兵庫県民大会 県人事委員会勧告報告
- 10月20日(木) 加東事務所
- 10月21日(金) 決算特別委員会(総括審査) 鳥取中部地震発生
- 10月22日(土) 河高コスモスまつり 下滝野敬老会 やしろ歴史研定例会
- 10月23日(日) 加東事務所
- 10月24日(月) 後援会・自民党支部役員会 加東事務所
- 10月25日(火) 第155回全国都道府県議会議長会定例総会(茨城県)
- 10月26日(水) **第333回定例県議会(閉会)**
兵庫県議政調懇話会 市町正副議長会研修会
- 10月27日(木) 自民党県議団専門調査会 兵庫教育大学大学院同窓会知事訪問
- 10月28日(金) 農政環境常任委員会
- 10月29日(土) 加東市秋のフェスティバル
- 10月30日(日) 加東市秋のフェスティバル 太鼓屋台大集合
- 10月31日(月) 農政環境常任委員会管外調査①

—11月—

- 11月1日(火) 農政環境常任委員会管外調査(新潟県)
- 11月2日(水) 農政環境常任委員会管外調査(富山県)
- 11月3日(木) 沢部地区コスモスまつり 加東事務所
- 11月4日(金) 加東事務所
- 11月5日(土) 北播磨ふるさとフェア スポーツ祭「ばかちから」(加東市)
- 11月6日(日) 加東市文化連盟祭 加東市ふれあい球技大会
- 11月7日(月) 各会派代表者会議、議運、関西広域連合協議会
- 11月8日(火) 県庁 神戸商工会議所新会頭来訪
- 11月9日(水) 加東市自衛消防競技大会
- 11月10日(木) 中小企業団体兵庫県大会
- 11月11日(金) 鳥取・岡山・兵庫三県議会連絡協議会(鳥取市)
- 11月12日(土) 藤田孝夫県議会議長就任祝賀会(養父市)
- 11月13日(日) 河高地区敬老会 加東フィル・混声合唱団特別演奏会
- 11月14日(月) 加東土木事務所長説明(加東事務所)
- 11月15日(火) 全国都道府県会議議会議員交流会(東京都)
- 11月16日(水) 全国13都道府県議会議員会議(大阪市)
- 11月17日(木) 加東事務所 L O Cホール打合せ
- 11月18日(金) 農政環境常任委員会 兵庫県町村議会要望 新生ひょうごの会
- 11月19日(土) ひょうご家庭応援県民大会 加東市金婚を祝う会上組保存会
- 11月20日(日) 自民党県議団健康福祉・農政環境合同管外調査(沖縄県)
- 11月21日(月) 自民党県議団健康福祉・農政環境合同管外調査(沖縄県)
- 11月22日(火) 自民党県議団健康福祉・農政環境合同管外調査(沖縄県)
- 11月23日(水) 東条川疏水の日シンポジウム 加東市地域子供秋まつり
- 11月24日(木) 加東事務所
- 11月25日(金) 地方議員セミナー(神戸) 議運、議会広報委員会
- 11月26日(土) 東条地域ミニ文化祭
- 11月27日(日) 東はりまみんよう大会 社高校 S e i c a イノシシ被害対策要望
- 11月28日(月) 地域経済懇話会
- 11月29日(火) 兵庫県統計功労者表彰式
- 11月30日(水) 兵庫県赤十字有功章等贈呈式 祝賀会実行委員会

—12月—

- 12月1日(木) 加東警察署年末警戒発隊式 兵庫県・神戸市調整会議
- 12月2日(金) 加東事務所
- 12月3日(土) 加東事務所
- 12月4日(日) 兵庫県川柳祭 i n 加東 加東市童謡唱歌まつり
子連協サッカー大会

- 12月5日(月) **第334回定例県議会（開会）**
鷲尾弘志元県会議長お別れ会
- 12月6日(火) 平成28年度ともしびの賞贈呈式（県立美術館）
- 12月7日(水) 加東事務所 加東土木事務所長来所
- 12月8日(木) 本会議（代表質問） 宅建政治連盟との意見交換会
- 12月9日(金) 本会議（一般質問）
- 12月10日(土) 第10回加東市福祉まつり 道の駅とうじょう感謝祭
- 12月11日(日) 副議長就任祝賀会（やしろ国際学習塾）
- 12月12日(月) 本会議（一般質問） 議会運営委 県市長会要望県庁巳年の会
- 12月13日(火) 農政環境常任委員会 県商工会青年部幹部との意見交換会
- 12月14日(水) 加東市赤穂義士祭 加東土木事務所長来所
日本会議北播磨支部懇親会
- 12月15日(木) **本会議（閉会）** 自民県議団「大学生との意見交換会」
政務活動費第三者委員会意見交換会 園田女子大学インカレ祝勝会
- 12月16日(金) 農政環境常任委員会 教育功労者表彰式
- 12月17日(土) スマホサミット in ひょうご 芸文管弦楽団定期演奏会
- 12月18日(日) 加東事務所
- 12月19日(月) 行革特別委員会 私学振興議員連盟との意見交換会
- 12月20日(火) 加東事務所
- 12月21日(水) 加東事務所 兵測協との意見交換会（神戸市）
- 12月22日(木) 加東L.C.クリスマス訪問（加東市内） 加東事務所
- 12月23日(金) 加東市ロードレース大会 加東市冬の祭り（市役所広場）
- 12月24日(土) 加東事務所（年末事務整理）
- 12月25日(日) 加東事務所（年末事務整理）
- 12月26日(月) 県議会・三市議会連絡会（県庁） ※行革特別委員会
- 12月27日(火) 市内回り（加東） 加東事務所
- 12月28日(水) 加東農林振興事務所長・々土木事務所長来所 県庁
加東市消防団年末特別警戒発団式 事務所仕事納め
- 12月29日(木) 加東事務所 市内回り
- 12月30日(金) 加東事務所 市内回り
- 12月31日(土) 大晦日 持寶院お参り

平成29年

—1月—

- 1月1日(日) 元朝式（朝起会） 初総会回り
- 1月2日(月) 初詣（佐保神社他） 寺年賀
- 1月3日(火) 市内各地区初集会回り 社農会初集会

Ⅱ 議員活動ブログ「百聞百見」より

- 1月4日(水) 県庁仕事始め 県・神戸市・神商議合合同新年交礼会 初日会
- 1月5日(木) 伝の助かるた大会 書き初め大会 新年保育のつどい
- 1月6日(金) 日本会議北播磨新年役員会
- 1月7日(土) 加東市新春交歓会
- 1月8日(日) 加東市新成人の集い 和太鼓演奏会 各地区初集会回り
- 1月9日(月) 加東市商工会10周年記念式・講演会 各地区初集会回り
- 1月10日(火) 自民党政調会 加東L.C. 新年例会
- 1月11日(水) 自民党政調会 自民党県議団新年会
- 1月12日(木) 自民党政調会 やしろ商業開発新年会
- 1月13日(金) 青野原駐屯地・連合会新年互礼会 兵庫県私学総連合会新年互礼会
- 1月14日(土) 加東事務所
- 1月15日(日) 加東伝の助マラソン大会 各地区初集会回り
- 1月16日(月) 東条西小学校4年生議場見学 産業労働委員会傍聴
- 1月17日(火) 1.17ひょうご安全の日のつどい 加古川改修現地説明会
- 1月18日(水) 各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党加東市支部役員会
- 1月19日(木) 農政環境常任委員会 県商連新年互礼会
- 1月20日(金) 岸本詩音さん副議長室・議場等見学 青峰会新年会
- 1月21日(土) 大阪府ソフトボール協会創立70周年式典
- 1月22日(日) 市内各地区初集会回り
- 1月23日(月) 県町議会広報研究会 県政150年企画委員会
- 1月24日(火) 農政環境常任委員会管内調査(阪神地区)
- 1月25日(水) 農政環境常任委員会管内調査(阪神地区)
- 1月26日(木) 県立社高校体育科課題研究発表会
- 1月27日(金) 議会運営委員会 後援会役員打合せ
- 1月28日(土) やしろ歴史民俗研究会
- 1月29日(日) 加東市軟式野球協会総会 市内各地区初集会回り
- 1月30日(月) 行革特別委員会 北播政経懇話会
- 1月31日(火) 加東警察署術科始式 県立社高校生活科学科研究発表会

— 2月 —

- 2月1日(水) 農政環境常任委員会管内調査(但馬丹波)①
- 2月2日(木) 農政環境常任委員会管内調査(但馬丹波)②
- 2月3日(金) 農政環境常任委員会管内調査(但馬丹波)③
- 2月4日(土) 第6回親学学習会(社福祉センター)
- 2月5日(日) 北播磨地域夢会議 市内地区初集会挨拶 加東市公募美術展
- 2月6日(月) 加東市立社小学校議場見学 兵庫の教育を考える会
- 2月7日(火) 29年度ひょうごの農とくらし研究発表大会(神戸市)
- 2月8日(水) 自由民主党加東市支部29年移動総会(鳥取県)

- 2月9日(木) 加東事務所
2月10日(金) 議運、県スポーツ賞表彰式、防衛議連総会・研修会
2月11日(土) 河高八幡厄神祭 上久米大日祭 加東市人権を考える市民の集い
2月12日(日) 加東市連合PTCA発表会 神結酒造蔵まつり
社高校Seica
2月13日(月) 加東事務所 県庁 自民党県連
2月14日(火) 農政環境常任委員会 子育て応援ネット全県大会
2月15日(水) 東播磨消費者団体協議会 ひょうご・神戸国際サミット(神戸市)
2月16日(木) 加東事務所
2月17日(金) **第335回定例県議会(開会)**
大学生との意見交換会 播磨日本酒元町バル(神戸元町商店街)
2月18日(土) 加東市高齢者大学閉講式 加東市いけばな展
近畿ソフトボール協会
2月19日(日) 加東市ふれあい球技大会(卓球)
2月20日(月) 滝野東小学校議場見学
2月21日(火) 加東事務所
2月22日(水) 本会議 議会運営委員会 東播磨路会
2月23日(木) 本会議(代表質問) 神道政治連盟懇親会(湊川神社)
2月24日(金) 本会議(一般質問) 文化振興議員連盟
2月25日(土) 日本会議兵庫北播磨支部移動研修会(滋賀県)
2月26日(日) 加東事務所
2月27日(月) 本会議(一般質問)
2月28日(火) 本会議(一般質問)

—3月—

- 3月1日(水) 本会議(一般質問) 予算特別委員会
3月2日(木) 農政環境常任委員会 各会派代表者会議
3月3日(金) 本会議 議会運営委員会
3月4日(土) 加東市酒米生産者大会 加東市長杯中学親善野球大会
3月5日(日) 加東市長杯ジュニア空手選手権大会
県ソフトボール協会常任理事総会
3月6日(月) 神戸商工会議所・県・県議会意見交換会(神戸市)
3月7日(火) うれしの学園生涯大学修了証書授与式
3月8日(水) 自民党支部・後援会合同移動研修会①
3月9日(木) 県立社高等学校校評議員会 加東事務所
3月10日(金) 加東市立東条中卒業式 自民党県議団総会
3月11日(土) 加東市スポーツ賞表彰式 ありがとう子供茶会
おもちゃ王国の休日 鹿島学園高校卒業式

Ⅱ 議員活動ブログ「百聞百見」より

- 3月12日(日)
3月13日(月) 自民党支部・後援会合同移動研修会② 各会派代表者会議
3月14日(火) 加東事務所
3月15日(水) 音楽療法士認定証書授与式 日本会議北播磨支部学習会
3月16日(木) 予算特別委員会総括審査
3月17日(金) 全国高校女子ソフトボール選抜大会開会(加古川)
3月18日(土) 自民党県連総務会(神戸市) 童謡唱歌を歌い楽しむ会
3月19日(日) 加東事務所 道の駅とうじょう
3月20日(月) 自民党県議団一日政調会(淡路市)
3月21日(火) 中村敏明元県会議長逝去
3月22日(水) 農政環境常任委員会 本会議 議運
3月23日(木) 農政環境常任委員会 中村元県会議長通夜式
3月24日(金) **本会議(閉会)** 中村敏明元県会議長告別式
3月25日(土) 新定老人会総会 増田正一氏叙勲祝賀会
3月26日(日) 加東市リサイクルヤード完成式 加東市文化連盟芸能部会発表会
スモス少年少女合唱団演奏会
3月27日(月)
3月28日(火) 北播政経懇談会
3月29日(水) 県立大学バルク防災訓練視察 県政150年シンポ 自民党県連
3月30日(木) 東播土地改良区総代会
3月31日(金) 加古川西部土地改良区総代会 県議会事務局退職者辞令交付式

—4月—

- 4月1日(土) 加東事務所
4月2日(日) 加東市消防出初式 社分団出発会 告別式(朝来市)
4月3日(月) 県議会事務局辞令交付式 鴻池議員と語る会(尼崎市)
4月4日(火) 加東L.C.例会
4月5日(水) 加東事務所
4月6日(木) 東播磨グラウンド・ゴルフ協会総会 県庁
4月7日(金) 登校見守り開始(新学期) 加東事務所(来客)
4月8日(土) 青野原駐屯地観桜会 鹿島学園高校入学式
三草ふれあい広場ワクワク探検 加東市商工会青年部総会
4月9日(日) 鴨川の郷桜まつり 社一区花見
4月10日(月) 市内小中学校入学式、社高校入学式 三草川工事箇所視察
4月11日(火) 県立北はりま特別支援学校入学式 兵庫教育大学附属中学校入学式
4月12日(水) 県庁(中国広東省訪問団) 県体協会長・理事長会(県公館)
4月13日(木) 県立考古博物館加西分館開館式 兵庫教育大学附属幼稚園入園式
4月14日(金) 加東市グラウンドゴルフ協会総会

- 加東市いずみ会総会 加東市商工会女性部総会
 4月15日(土) 北播磨自衛隊家族会総会 上滝野地区老人会総会
 4月16日(日) 河高地区運動会 鴨川桜まつり(清水寺)
 豊簗洋会25周年記念式
 4月17日(月) 県議会障害者アート展オープン 兵庫りぶるの会
 4月18日(火) 農政環境常任委員会 香港フィル公演(大阪)
 4月19日(水) 県庁(加東市農林課来庁)
 4月20日(木) 加東事務所
 4月21日(金) 自民党県議団総会
 4月22日(土) 日本会議北播磨支部総会・記念防衛講演会
 加東市異業種交流会総会
 4月23日(日) みのりJ A女性会総会 善龍院落慶法要・稚児行列
 4月24日(月) 古代鏡博物館見学
 4月25日(火) うれしの学園生涯大学入学式
 4月26日(水) 海自呉方面総監部訪問 13都道府県議長会(広島市)
 4月27日(木) 兵庫県市議会議長会総会(伊丹市)
 4月28日(金) 自殺対策セミナー in 兵庫(公館)
 4月29日(土) 早起会 高岡地区体育 加西市制50周年記念式典
 4月30日(日) 地域のチカラフェスティバル(やしる国際学習塾)

—5月—

- 5月1日(月) 加古川川開き神事 初日の会
 5月2日(火) 加東L.C.家族例会(京都)
 5月3日(水) 鮎まつり・花まつり(加東市滝野地域) 石川前議長御母堂通夜
 5月4日(木) うれしの春のフェスティバル(生涯教育センター)
 5月5日(金) 朝光寺鬼まつり 中村哲関学大教授退職祝賀会
 5月6日(土) 日本神話の会学習会(小野市)
 5月7日(日) 加東市親善ソフトボール大会 加東市更正保護女性会総会
 5月8日(月) 議運 議会広報委員会 自民党議員団総会 議員政策法務研修
 5月9日(火)
 5月10日(水)
 5月11日(木)
 5月12日(金) 加東事務所 議員任期特例法参院可決成立
 5月13日(土) 加東市高齢者大学開講式 加東市文化連盟総会
 日本女子ソフトボール1部リーグ第2節尼崎大会
 5月14日(日) 加古川改修工事滝野地区着工式
 5月15日(月) 加東事務所
 5月16日(火) 叙位伝達(故中村敏明元県会議員) 議運、議員団総会

Ⅱ 議員活動ブログ「百聞百見」より

- 5月17日(水) 兵庫県功労者表彰 農政環境常任委員会
5月18日(木) 美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会
加東市同和教育研究協議会総会
5月19日(金) 加東事務所
5月20日(土) 三草小の茶摘み 加東市連合PTA総会
5月21日(日) 社農会の池普請
5月22日(月) 兵庫県地方議会協議会 自民党議員団総会
5月23日(火) 兵庫県町村会総会 兵庫県議会・三市議会連絡会
米国ワシントン州元上院議員来訪
5月24日(水) 兵庫県150周年事業企画委員会
5月25日(木) 議運、自民党議員団総会、北播磨の地域政策を語る会
5月26日(金) 加東市商工会総代会 加東交通安全協会総会
5月27日(土) 加東市花と緑のまつり 東播磨文化団体連合会総会
第70回加東市陸上競技会兼中学校陸上競技大会
加東市シルバー人材センター総会 やしろ歴史民俗研究会総会
5月28日(日) 青野原駐屯地創立41周年式典
5月29日(月) ひょうご科学技術協会学術研究助成金贈呈式
5月30日(火) 北播磨建設業協会定時総会 兵庫県商工会連合会懇親会
5月31日(水) 県議会サテライトゼミ (関西福祉大学溝端ゼミ)

—6月—

- 6月1日(木) **第336回定例県議会（開会）**
文化振興議員連盟役員会 議員任期特例法の適用を議決
6月2日(金) 海上自衛隊阪神基地隊特別公開
兵庫県建築事務所協会50周年式典
6月3日(土) 日本スポーツマスターズ100日前イベント
井戸知事県政報告会（小野市）
日本会議兵庫女性の会教育講演会（神戸市）
6月4日(日) 東播磨南北道路起工式（加古川市）
6月5日(月) 各会派代表者会議 自民党加東市支部幹事会
6月6日(火) 本会議（代表質問） 議会運営委員会 自民議員団総会
6月7日(水) 本会議（一般質問） 議会運営委員会 MOA議連総会
6月8日(木) 加東市事務所
6月9日(金) **本会議（閉会） 正副議長退任 議新正副議長就任**
議員定数等調査特別委員会



◆著者紹介

藤本 百男 ふじもと ひゃくお

- 昭和28年10月31日 兵庫県加東郡社町社生（現加東市社）
- 兵庫県立社高等学校、早稲田大学法学部卒業
- （国公立学校教員）兵庫教育大学附属小学校、同附属中学校教諭（社会科）、
兵庫県加古川市立小学校、滝野町立滝野東小学校教諭
- 神戸商科大学・兵庫県立大学非常勤講師（兼職）
- 兵庫教育大学大学院修士課程修了（教育学修士）
- 社町史編纂委員
- 平成19年4月 兵庫県議会議員初当選
農政環境常任副委員長、総務常任副委員長
- 平成23年4月 同 2回目当選
自民党県議団副政調会長、副幹事長、文教部会長
健康福祉常任委員長
- 平成27年4月 兵庫県議会議員3回目当選
文教常任委員長 自民党県議団文教部会長
第124代兵庫県議会副議長（平成28年6月11日～29年6月9日）
議員定数等調査特別委員 自民党県議団農政環境部会長
- 自民党加東市支部支部長、日本会議兵庫北播磨支部支部長
加東軟式野球協会会長、兵庫県ソフトボール協会会長
県立社高等学校尚友会会長、兵庫県釣針協同組合顧問等
- 県政シリーズⅠ「東条川疏水ネットワーク博物館関係」
県政シリーズⅡ「終戦70年 慰霊を考える 加東市内の忠魂碑・慰霊塔」
県政シリーズⅢ「ふるさと加東の道標・道路元標」

県政資料 ふるさと加東の歴史再発見シリーズ IV

—**加東四国霊場の里**—
—**議会改革の一年**—

発行日 平成29年7月吉日

著 者 兵庫県議会議員 藤 本 百 男

発行所 藤本百男事務所

〒673-1431 兵庫県加東市社1491-1

TEL(0795)43-8270 FAX(0795)20-6675

印刷所 株式会社吉本宝文堂

〒675-1343 兵庫県小野市来住町883-2

TEL(0794)63-4011 FAX(0794)62-5252

非売品